

2025

消 防 年 報

能代山本広域市町村圏組合
消 防 本 部

は し が き

この年報は、消防行政の合理的な運営と消防力の充実強化のための資料とし、あわせて令和6年中における火災の実態や消防、救急活動の現況等を広く一般に紹介し、消防行政に対する理解を深めると共に、防火思想の高揚を図るため作成したものであります。

本書の統計は、暦年としたが、表中特に年月日を明示したものは、その時点での現況であります。

令和7年4月

能代山本広域市町村圏組合消防本部

目 次

広域市町村圏の概要	1
常備消防のあゆみ	1
広域消防の変遷	2
能代消防の変遷	4
二ツ井消防の変遷	9
三種消防の変遷	13

総 務

消防本部・署所庁舎の所在地・概要	16
組管内の人口、世帯数、面積及び管内図	17
消防本部・消防署の組織	18
令和6年度一般会計当初予算	19
職員配置状況	20
職員年令状況・職員勤続年数状況	21
職員研修状況	22
令和6年度 消防本部(署)幹部一覧	23
職員の特殊技能その他資格習得状況	24
令和6年度の主な事業	25
消防本部行政事務分掌表	26
消防署行政事務分掌表	28
分署行政事務分掌表・出張所行政事務分掌表	29

予 防

令和6年中 広域管内火災発生状況	30
過去5年間、火災覚知別調	31
過去10年間 年別火災状況比較表(市町別)	32
過去10年間 年別及び原因別火災件数表(市町別)	33
令和6年中 月別及び出火時刻別件数表(広域及び能代市)	34
〃 (藤里町、三種町、八峰町)	35
火災による死者数の推移	36
防火対象物防火管理一覧表	37
防火対象物階層別一覧表	38
過去10年間 建築同意及び通知数(広域及び市町別)	39

特殊建築物建築同意事務処理件数及び面積調べ（広域及び市町別）	4 0
月別建築同意事務処理件数調べ（広域及び能代市）	4 1
〃（藤里町、三種町、八峰町）	4 2
建築同意事務用途別処理状況（広域）	4 3
防火対象物・危険物施設査察状況	4 4
危険物関係申請及び届出等受理件数	4 5
市町別危険物施設状況	4 6
消防関係法令等に係る申請、届出件数	4 7

警 防

消防機械配置状況及び性能表・署別の配置状況表	4 8
能代消防署内訳	4 9
二ツ井消防署内訳	4 9
三種消防署内訳	5 0
八峰消防署内訳	5 0
機械器具保有状況	
各車保有照明資機材	5 1
林野火災用保有機械器具の署別保有状況	5 2
救助資器材保有状況	5 3
消防自動車等出場状況（能代消防署・二ツ井消防署）	5 4
〃（三種消防署・八峰消防署）	5 5
ポンプ自動車の道路運行及び所要時間状況（能代地区）	5 6
〃（二ツ井地区）	5 8
〃（藤里地区）	6 0
〃（琴丘地区）	6 1
〃（山本地区）	6 2
〃（八竜地区）	6 3
〃（琴丘・山本地区－上岩川分署）	6 4
〃（峰浜地区）	6 5
〃（八森地区）	6 6
気象観測地の位置・気象状況・年別火災警報・注意報発令状況	6 7
各気象表	
月別気象表	6 8
能代消防署の気象（有感地震回数）	6 9
二ツ井、三種、八峰消防署の気象	7 0
事故別救助活動出場車両数	7 1
過去5年間 救助活動出場件数	7 1

消防水利の状況	7 2
---------	-----

救 急

令和 6 年救急業務活動概要	7 3
市町別出動件数	7 4
〃 搬送人員	7 4
〃 不搬送件数	7 4
署所別出動件数	7 5
〃 搬送人員	7 5
〃 不搬送件数	7 5
月別救急活動状況	7 6
年齢別搬送人員・不搬送内訳状況	7 7

通 信

消防本部通信系統図	7 8
消防緊急通信指令施設（機器構成）	7 9
〃 （回線構成）	8 0
防災行政無線及び防災システム	8 0
無線通信施設・装置	8 1
1 1 9 番通報受信件数①	8 3
〃 ②	8 4

消防団関係

消防団員数・機械等配置状況	8 5
正副団長名簿	8 6
消防団員年報酬及び費用弁償等調	8 7

災害記録

明治以降大火災及び特殊火災記録	8 8
近世水・火・震災記録	9 3
昭和 2 4 年・3 1 年能代市大火概要	1 0 2
〃 能代市大火災図	1 0 3
昭和 5 8 年日本海中部地震災害概要	1 0 4

広域市町村圏の概要

当広域圏は秋田県北西部に位置し、東は出羽丘陵の森林地帯、西は日本海に面し、海岸沿いの一体は整然とした「風の松原」と呼ばれる地域を中心にする砂防林、南は房住山を主体になだらかな丘陵地、そして北には世界自然遺産である「白神山地」が連なり管内を見下ろしている。また管内の中央には東北地方を縦断する奥羽山脈に源を発する1級河川米代川が東西に流れ日本海に注ぎ、下流部には能代平野と広大な台地が広がり、大部分が農地として活用されている。

気候は、四季の移り変わりが明瞭で、対馬暖流の影響により、年間の平均気温は10度前後と温暖なものの、冬は低温で日本海側特有の北西の強い季節風が吹き、降雪日数は平均70日程度ある。

管内の中心である能代市は米代川下流部に広がる能代平野に位置し、古くは日本海交易の要港で秋田杉の集積地として繁栄し、明治中期以降、多くの製材工場が建ち東洋一の「木都能代」としてその名を馳せた。平成18年3月21日には米代川上流部に隣接する秋田杉の産地である二ツ井町と合併し新「能代市」が誕生した。

沿岸北部に位置する八峰町は、八森町と峰浜村が合併し、平成18年3月27日に誕生。面積の約8割が森林で占められ、町の広大な森林の一部は白神山地を形成し、秋田白神県立自然公園に指定されているエリアもある。また、自然豊かで起伏に富んだ八森地区の海岸も八森岩館県立自然公園に指定されている。

南部の三種町は、平成18年3月20日に琴丘町、山本町、八竜町の三町が合併して誕生し、房住山に源を発する三種川がほぼ中央を流れ、八郎湖へと注いでおり、東部の丘陵地から西部の平田地までゆるやかに傾斜した地勢となっている。

北東部に位置する藤里町は、県内唯一、世界自然遺産白神山地の登録地を有し、広大なブナ原生林は容易に人を寄せつけないほどの自然を保っている。

常備消防のあゆみ

昭和46年4月1日、琴丘町、山本町、八竜町を構成町とし山本郡南部地区消防一部事務組合が発足、昭和46年5月1日、二ツ井町、藤里町を構成町とし二ツ井町藤里町消防一部事務組合が発足、昭和47年4月1日には能代市、八森町、峰浜村を構成市町村とし能代地区消防一部事務組合が発足した。

平成18年3月1日に、この三つの一部事務組合が合併し、構成人口99,182人として、新たに能代山本広域消防としてスタートすることとなる。

現在は、市町村合併により能代市、藤里町、三種町、八峰町の1市3町で構成されている。

広域消防の変遷

- 平成18年 3月 1日 能代山本広域市町村圏組合消防本部が設立され発足。これにより能代市及び山本郡内 1 市 6 町 1 村の常備消防及び救急に関する業務を共同処理する。消防職員の定数219名。
- 平成19年 4月 1日 特別救助隊発足（隊員 1 3 名）
- 平成19年 9月14日 ニツ井消防署藤里分署 2 B 救急自動車を高規格救急自動車に更新、運用開始
- 平成19年 9月17日 能代消防署 2 B 救急自動車を高規格救急自動車に更新、運用開始。
（高規格救急車 3 台体制）
- 平成19年 9月17日 東能代出張所へ高規格救急自動車を日中配備開始
- 平成20年 2月 1日 通信指令施設を改修整備し、構成市町全域の 1 1 9 番受信・指令業務一元化、運用開始
- 平成20年11月18日 ニツ井消防署藤里分署消防ポンプ自動車（CD-1型Cタイプ° CAFS600ℓタンク付）更新、運用開始
- 平成20年11月18日 八峰消防署消防ポンプ自動車（CD-1型Cタイプ° CAFS600ℓタンク付）更新、運用開始
- 平成21年 4月 1日 消防職員条例定数 2 2 4 名。
- 平成21年 4月 1日 東能代出張所へ高規格救急自動車を常時配備開始（消防隊兼務）
- 平成21年 7月30日 女性消防職員採用に伴う庁舎一部改装工事
- 平成21年 8月10日 能代消防署指令車更新、運用開始
- 平成21年10月 1日 能代消防署 2 B 救急自動車を高規格救急自動車に更新、運用開始
（高規格救急車 4 台体制）
- 平成22年 4月 1日 消防職員条例定数 2 2 3 名
- 平成22年10月 4日 能代消防署指令車更新、運用開始
- 平成22年10月 4日 能代消防署多目的車更新、運用開始
- 平成22年10月25日 能代消防署消防ポンプ自動車（CD-I 型Cタイプ）更新、運用開始
- 平成22年11月 1日 三種消防署 2 B 救急自動車を高規格救急自動車に更新、運用開始
（高規格救急車 2 台体制）
- 平成23年 4月 1日 消防職員条例定数 2 1 6 名
- 平成24年 1月11日 ニツ井消防署 2 B 救急自動車を高規格救急自動車に更新、運用開始
（高規格救急車 2 台体制）
- 平成24年 4月 1日 消防職員条例定数 2 1 5 名

平成24年 4月 4日	能代消防署救助工作車（Ⅱ型）更新、運用開始
平成24年11月 3日	八峰消防署水槽付消防ポンプ自動車更新、運用開始
平成25年 4月 1日	消防職員条例定数 2 1 4 名
平成25年11月26日	東能代出張所消防ポンプ自動車（CD-1型CAFS800 ^{リタンク付} ）更新、運用開始
平成26年 4月 1日	消防職員条例定数 2 1 3 名
平成26年10月 3日	能代消防署災害機動搬送車導入、運用開始
平成26年10月14日	八峰消防署高規格救急自動車更新、運用開始
平成27年10月 9日	能代消防署高規格救急自動車更新、運用開始
平成27年10月28日	三種消防署消防ポンプ自動車（CD-1型CAFS800 ^{リタンク付} ）更新、運用開始
平成28年 5月 1日	消防救急デジタル無線設置工事実施、運用開始
平成28年 9月 2日	三種消防署高規格救急自動車更新、運用開始
平成28年10月12・13日	平成28年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練、能代市において開催
平成28年12月14日	二ツ井消防署水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型 CAFS 付）更新、運用開始
平成30年12月27日	能代消防署はしご付消防ポンプ自動車更新、運用開始
平成31年 4月22日	指揮隊運用開始
令和 2年 2月 7日	能代消防署化学消防ポンプ自動車Ⅱ型更新、運用開始
令和 2年11月12日	二ツ井消防署指令車更新、運用開始
令和 2年11月12日	二ツ井消防署藤里分署指令車更新、運用開始
令和 2年11月16日	向能代出張所高規格救急自動車更新、運用開始
令和 3年 3月22日	能代消防署指揮隊車更新、運用開始
令和 3年11月11日	東能代出張所高規格救急自動車更新、運用開始
令和 3年11月29日	二ツ井消防署藤里分署高規格救急自動車更新、運用開始
令和 4年10月26日	三種消防署高規格救急自動車更新、運用開始
令和 5年 3月20日	三種消防署上岩川分署消防ポンプ自動車（CD-1型 CAFS600 ^{リタンク付} ）更新、運用開始
令和 5年10月 5日	二ツ井消防署高規格救急自動車更新、運用開始
令和 5年12月21日	向能代出張所水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型 CAFS 付）更新、運用開始

能代消防の変遷（旧能代地区消防本部及び旧能代市消防団）

明治 8年 9月	能代の消防組創設。能代港町上町にある名刹長慶寺住職深川仏彦及び一等巡査鈴木重治郎の兩人発起により消防組を組織し、これを長慶寺の名を象どり長組と名付け小頭加賀竹松以下45名、当時の分屯所長は沢田通助。
明治22年12月	県の通達により町会において消防組設置規則を制定
明治27年 5月	県令第37号により消防組規則細則制定される。 これにより一番組、二番組、三番組を能代消防組第1部、第2部、第3部と改称腕用ポンプ各1台を保有
明治27年 7月14日	消防組給与規定を制定
大正10年 4月	消防組第4部創設、ガソリンポンプ1台配置 小頭に佐藤勇和治、副小頭に児玉辰五郎を任命
昭和 4年 6月	第4部常備消防部となり、自動車ポンプ1台購入配置、小頭以下14名に補充員4名と改組。長根町能代警察署隣にポンプ置場、詰所等を新築。
昭和 4年10月	鉄骨望楼竣工（高さ30m）、貯水池600石入4ヶ所、300石入44ヶ所竣工。 この頃消防の強化を図り消防後援会、補充消防隊、少年警備団、火災予防組合等を組織。
昭和14年 4月	勅令第20号により消防組を解散、能代警防団と改組、常備消防部外5ヶ分団編成で発足、当時の消防組員は組頭以下120名。
昭和15年10月	隣接の榊村、東雲両村の合併に伴い旧東雲警防団を第6分団、同榊警防団を第7分団とする。
昭和15年10月 1日	市制施行
昭和17年 4月	扇渕村の合併に伴い同警防団を第8分団とする。
昭和17年 6月24日	纏神社建立

纏神社由来

日吉神社境内にある纏神社は、昭和14年に消防が団旗をいただくまでの間、過去幾星霜にわたり消防の荣誉ある象徴であった纏を称え、それを鎮火守護神として祀る神社である。昭和17年に新社殿を建立し、6月24日に鎮座祭を挙行し、以後この日を例祭日とした。

しかし、昭和24年2月20日の第1次大火で類焼し、昭和36年6月24日に再建（ブロック造平家建）後、昭和57年12月8日改築竣工（鉄筋コンクリート造平家建）したものである。

ちなみに、神社例祭等の営みは、消防の幹部として現に在籍、または、かつて在籍した方々からなる講中によって行なわれている。

昭和21年 4月 警防団を改編し、能代市消防団として発足（定員465名）

昭和24年 2月20日 第1次大火発生（別添図面参照）

昭和24年10月 1日	消防組織法により能代市消防団常備消防部を分離し、自治体消防となる。 能代市消防本部及び消防署を設定、定員46名、自動車ポンプ3台購入、第1分団から第5分団まで各々自動車ポンプ1台配置、第6分団向能代、竹生、第7分団機織、長崎、第8分団鹹渕各班に各々ガソリンポンプ1台配置、又第6分団向能代、竹生、朴瀬、落合、第7分団大内田、第8分団道地各班に各々腕用ポンプ1台を配置、外腕用ポンプ2台保有。
昭和24年12月	能代市若松町に消防本部、署の新庁舎竣工
昭和25年 2月	市内に新たに火災予防組合が結成される。
昭和25年12月	能代市火災予防組合連合会設立。（防火地区数13、組合数197） 能代市消防職員の定数改正により52名となる。
昭和27年 1月	気象観測及び天気予報業務を開始
昭和27年	初めて可搬動力ポンプ購入し消防団に配置、以後逐次分団各班に配置する。
昭和29年 8月	タンク車1台、能代市火災予防組合連合会から寄贈され署に配置（市民号）
昭和30年 4月	檜山町、鶴形村、浅内村、常盤村との合併に伴い、第9分団、第10分団、第11分団、第12分団とする。
昭和31年 3月20日	第2次大火発生（別添図面参照）
昭和32年 6月	峰浜村の一部、鳥形、比八田、外荒巻との合併に伴い第13分団とし、能代市消防団は工作分団他13ヶ分団、定員737名となる。
昭和32年11月	上水道敷設により初めて上水道消火栓が設置される。
昭和34年 4月	能代市火災予防組合連合会3ヶ年計画として、火災報知機の設置寄贈運動を推進
昭和35年 3月	中短波消防無線局開局
昭和36年11月	能代市火災予防組合連合会、第1分団～第5分団地域及び第7分団地域の一部に火災報知機を設置、寄贈する（受信機2基、発信機120基）
昭和40年 4月 1日	能代市火災予防組合連合会防火地区数改定（防火地区数14、組合数205）
昭和41年 9月20日	救急業務開始。日本消防協会から救急車1台寄贈される。
昭和41年12月 2日	東能代出張所竣工（職員7名）
昭和42年 3月	無線機超短波に切替
昭和42年 4月 1日	能代市消防職員の定数改正により53名となる。
昭和42年11月 1日	化学消防ポンプ自動車購入し本署配置
昭和45年 4月 1日	能代市消防職員の定数改正により55名となる。
昭和45年 5月	能代ロータリークラブから救急車1台寄贈され、救急車2台となる。
昭和45年 9月	消防団機構改革により団本部、工作分団外15ヶ分団編成、定員640名

昭和47年 4月 1日	能代地区消防一部事務組合が発足。これにより能代市、八森町、峰浜村の三市町村の常備消防及び救急に関する業務を共同処理する。 能代地区消防職員の定数72名。
昭和47年 7月 9日	大洪水、大雨により米代川、中川原堤防が決壊、この外市内全域に亘って被害あり、（雨量158.5mm 能代地区消防署観測）住家流失17棟、全壊12棟、床上浸水869棟、床下浸水430棟、非住家流失43棟、倒壊56棟、浸水612棟
昭和47年 9月20日	救助隊を編成、隊員12名（兼務）
昭和47年10月30日	梯子車（屈折はしご付消防ポンプ自動車高さ16m）運用開始
昭和47年11月 6日	北部分署庁舎竣工（職員12名、タンク車 1 台、普通車 1 台、広報車 1 台）
昭和48年 9月 1日	消防本部及び消防署の機構改革、消防長及び消防署長が専任となる。
昭和48年10月 5日	職員定数増により増員 2 名分、分署勤務職員14名となる。
昭和49年 2月27日	能代地区消防職員の定数改正により84名となる。
昭和49年 6月 1日	能代地区消防職員の定数改正により86名となる（北部分署救急要員 2 名増）
昭和49年 7月 5日	北部分署に救急車 1 台を配置、運用開始
昭和49年11月20日	向能代出張所竣工（職員 7 名、タンク車 1 台）
昭和52年11月 1日	能代市消防団第 7 分団地域から大内田、坊ヶ崎等の区域を分離、第16分団を新設。
昭和52年12月10日	電話の普及拡大に伴い火災報知機の使命終り、125基を撤去
昭和52年12月12日	東能代出張所移転新築竣工
昭和53年 3月31日	本部新庁舎建設用地取得
昭和54年10月20日	能代市火災予防組合連合会防火地区数改定（防火地区数16、組合数239）
昭和55年 4月 1日	消防本部の組織等に関する規則の改正により予防設備係を置く。 消防署の組織等に関する規程の改正により予防普及係を置く。 能代市消防団第 6 分団地域から竹生、須田、栗山、小土、天神前地域を分離、第17分団を新設。
昭和56年 2月 4日	秋田県農協共済連から救急車 1 台寄贈。北部分署へ配置
昭和56年 8月31日	望楼勤務廃止（市街地の高層化及び電話の普及率拡大のため）
昭和56年 9月 1日	本署救急車 3 名乗車とする。
昭和57年10月28日	能代市緑町に消防本部、署の新庁舎竣工
昭和57年11月 1日	新庁舎において業務開始
昭和57年12月 8日	まとい神社改築竣工（鉄筋コンクリート造、平屋建33㎡）

昭和58年 4月 1日	消防本部の組織等に関する規則の改正により調査係を廃止し、危険物係を置く。
昭和58年 5月26日	12時00分18秒・日本海中部地震発生（別添参照）
昭和58年 6月 1日	能代市消防団にラッパ隊設立（隊員20名）
昭和58年 9月 7日	県消防防災課から災害対策用として救助艇1隻、北部分署に配置。
昭和59年 6月 1日	能代地区消防職員の定数改正により89名となる（北部分署救急要員3名増）
昭和59年 9月20日	能代市防災無線開設、消防本部及び各出張所に移動局設置
昭和59年12月 6日	能代地区消防職員の定年60才に議決（施行60年3月31日）
昭和59年12月10日	西消防出張所竣工（12月17日業務開始、60年1月28日竣工式）
昭和59年12月20日	消防救急指令装置運用開始
昭和60年 4月 1日	能代地区消防職員の定数改正により96名となる（西消防出張所要員7名）
昭和61年 4月 1日	防災同報無線（本機市役所）遠隔装置運用開始
昭和62年 8月21日	日本消防協会から救急車1台寄贈、本署へ配置
昭和63年12月26日	北部分署庁舎増築竣工
平成 3年 4月 1日	梯子車更新（40m級はしご付消防ポンプ自動車）運用開始。
平成 3年11月 1日	能代市消防団に木遣り隊、まとい振り隊設立。（隊員各10名）
平成 4年 4月 1日	能代地区消防職員の定数改正により102名となる。（週44時間体制に伴い6名増員、北部分署勤務員21名）消防署、組織等に関する規程の改正により救急救助係を置く。
平成 5年 5月18日	救急救命士法の制定により初の救急救命士誕生
平成 6年 2月21日	秋田県農協共済連から救急車1台寄贈、北部分署へ更新のため配置
平成 6年 4月 1日	能代地区消防職員の定数改正により114名となる（週40時間体制に伴い1名増員、北部分署勤務員23名）
平成 7年 4月 1日	高規格救急自動車運用開始
平成 7年 9月 1日	救助工作車（小型クレーン付）運用開始
平成 8年 4月 1日	能代地区消防職員の定数改正により115名となる（北部分署勤務員24名）化学消防ポンプ自動車更新運用開始
平成 8年12月26日	秋田県震度情報ネットワークシステム運用開始に伴い、緑町・本署敷地内に震度計を設置。
平成 9年 3月17日	消防本部、署の増築竣工
平成 9年 4月 1日	消防署の組織等に関する規程の改正により教養監察係を廃止し、庶務係を置

く。消防緊急通信指令施設運用に向け、能代地区消防職員の定数改正により116名となる。

- | | |
|-------------|---|
| 平成 9年 8月 1日 | 規程により水難救助隊を編成 |
| 平成10年 4月 1日 | 消防本部の組織等に関する規則の改正により通信指令室及び通信指令係を置く。
消防緊急通信指令施設運用開始。併せて秋田県沿岸北部におけるブロック内（二ツ井藤里地区・山本南部地区・五城目町・湖東地区・男鹿地区）各消防本部の代表消防本部として、携帯電話からの119番通報受信及び転送業務開始。 |
| 平成10年 7月21日 | 秋田県消防防災航空隊救助隊員派遣に伴い、能代地区消防職員の定数改正により117名となる（11年 4月 1日施行） |
| 平成10年10月 8日 | 第78回全国消防長会財政委員会、当市において開催 |
| 平成10年10月20日 | 東能代出張所水槽付消防ポンプ自動車更新、運用開始 |
| 平成11年 4月 1日 | 秋田県消防防災航空隊発足に伴い、職員 1 名を派遣する。 |
| 平成12年 7月 1日 | 西消防出張所水槽付消防ポンプ自動車更新、運用開始 |
| 平成12年 9月 1日 | 北部分署に高規格救急自動車を配置、運用開始 |
| 平成13年 6月20日 | 高規格救急自動車運用開始（本署 2 台体制） |
| 平成13年 6月23日 | 多目的救助艇運用開始 |
| 平成14年 8月29日 | 消防情報システム整備事業運用開始 |
| 平成14年 9月 1日 | 3ヶ国語（英語、中国語、韓国語）の通訳ボランティアを委嘱し、外国人からの119番通報に対応するシステムを構築。 |
| 平成14年 9月 3日 | 秋田県総合防災訓練、当市において開催 |
| 平成14年12月 9日 | 本署水槽付消防ポンプ自動車更新、運用開始 |
| 平成15年12月 9日 | 向能代出張所水槽付消防ポンプ自動車更新、運用開始 |
| 平成16年 4月 1日 | 消防本部の組織等に関する規則の改正により救急救助係を廃止し、救急課及び救急係、警防課救助係を置く。 |
| 平成16年12月 4日 | 日本テレコム株式会社の電話加入者からの119番通報に対応するため消防緊急通信指令施設に接続。0時00分から運用開始。 |
| 平成18年 2月28日 | 能代地区消防一部事務組合解散 |

ニツ井消防の変遷（旧ニツ井藤里地区消防本部）

- 昭和46年 5月 1日 ニツ井町藤里町消防一部事務組合が発足、ニツ井町消防団常備消防部に勤務していた職員13名を任命、23名を新規採用し、ニツ井藤里地区消防本部、消防署をニツ井町消防団常備庁舎に設置、ニツ井藤里地区消防署藤里分署を藤里町消防団自動車分団庁舎に設置、消防車両、消防機械器具、各種装備品等はそれぞれ消防団に配置されていたものを一部事務組合に無償で貸与及び譲渡され、組合消防業務を開始消防本部2名、消防署21名、ポンプ自動車3台配置、分署13名、消防ポンプ自動車2台配置
- 昭和46年 5月 1日 無線局免許許可 ふたついしょうぼうほんぶ
- 昭和46年 7月28日 指揮車ニッサンバン、消防署配置（昭和53年12月廃車）
- 昭和46年10月26日 消防ポンプ自動車（ニッサンBS-I型 A-2級）購入、消防署、藤里分署各1台配置（平成2年11月、平成5年10月廃車）
- 昭和46年12月22日 藤里分署庁舎新築移転（鉄骨平屋建）
- 昭和47年 2月 1日 無線局免許許可 ふたついしょうぼうふじさと
- 昭和47年 3月28日 日本損害保険協会より救急車（トヨタ2B型）寄贈、消防署配置（昭和56年1月廃車）
- 昭和47年 4月 1日 政令指定を受けて救急業務開始、職員定数条例改正により7名増員し、定数43名
- 昭和47年 7月 8日 大洪水、大雨により、8日に荷上場字中島地内の米代川堤防が決壊、9日には薄井の同堤防が決壊した。
9日9時までの総雨量は、素波里ダムで623mm、駒ヶ岳で787mm、藤琴で719mmの豪雨となり、米代川の最高水位は、9日にニツ井町で7.68m、富根で7.25m、藤琴川は8日の3.58m
被害状況は、ニツ井町で住家全壊31棟、半壊20棟、床上浸水1,173棟、床下浸水254棟、非住家被害1,140棟、水田・畑の流失埋没・冠水・浸水1,147ha、被害総額2,043,590千円
藤里町では住家全壊4棟、半壊4棟、床下浸水64棟、非住家被害3棟、水田・畑の流失埋没・冠水・浸水272ha、被害総額808,056千円
- 昭和47年10月 4日 消防ポンプ自動車（ニッサンBS-I型 A-2級）購入、消防署、藤里分署各1台配置（昭和62年11月、平成5年10月廃車）
- 昭和47年12月11日 消防本部署庁舎新築移転（鉄筋コンクリート2階建）
- 昭和48年 6月20日 救助船（ヤマハ和船、船外機付）消防署配置
- 昭和48年 8月25日 ホース乾燥塔消防署設置
- 昭和52年11月19日 消防ポンプ自動車（いすゞCD-I型 A-1級）購入、消防署配置

昭和53年11月19日	指揮車（ニッサンバン）・査察広報車（ニッサンバン）購入、消防署、藤里分署に配置（昭和63年9月、平成元年11月廃車）
昭和54年 8月20日	消防本部署庁舎並びに藤里分署庁舎外壁吹付塗装工事完成
昭和55年 9月30日	小型動力可搬ポンプ（ラビットB－3級）一式2台購入配置
昭和55年12月16日	消防署、藤里分署ホース乾燥塔塗装工事完成
昭和56年 1月19日	日本自動車工業会寄贈の救急自動車（トヨタ2B型）消防署配置
昭和56年 3月30日	消防本部署庁舎車庫シャッター（オーバースライダー、アルミバランス式）取付工事完成
昭和56年 9月22日	藤里分署庁舎車庫シャッター（オーバースライダー、アルミバランス式）取付工事完成
昭和57年 3月30日	本署サイレン（板国モーターサイレン三相交流VQR6WH型）
昭和57年12月15日	消防本部署庁舎車庫シャッター（オーバースライダー、アルミバランス式）取付工事完成
昭和58年11月15日	消防本部署庁舎車庫シャッター（オーバースライダー、アルミバランス式）取付工事完成
昭和59年11月 5日	消防ポンプ自動車（いすゞCD－I型 A－2級）購入、消防署配置
昭和59年11月 7日	消防ポンプ自動車（いすゞBS－I型 A－2級）廃車（二ツ井町より所管換）
昭和59年12月13日	消防署自動車格納庫新築（木造平屋建）
昭和60年 1月21日	日本損害保険協会寄贈の救急自動車（トヨタ2B型）消防署配置（平成10年11月廃車）
昭和60年12月13日	査察広報車（スバル・サンバー4WD）購入、消防署配置（平成9年1月廃車）
昭和62年11月21日	消防ポンプ自動車（トヨタBS－I型 A－2級）購入、藤里分署配置
昭和63年 4月 1日	河川情報端末機、消防署配置
昭和63年 9月19日	指揮車（ニッサン・セドリックバン）購入、消防署配置（平成11年9月廃車）
平成元年11月 1日	査察広報車（スバル・レガシー4WD）購入、藤里分署配置（平成13年10月廃車）
平成 2年11月15日	消防ポンプ自動車（いすゞCD－I型 A－2級）購入、消防署配置

平成 2年12月25日 藤里分署庁舎増築工事完成

平成 3年 4月 1日 職員定数条例改正により 1名増員し、定数 44名
二ツ井藤里地区幼少年婦人防火委員会（12団体）発足

平成 4年 9月30日 消防本部署庁舎屋上防水改修工事・屋上手摺取替工事完成

平成 5年 4月 1日 職員定数条例改正により 3名増員し、定数 47名

平成 5年10月 8日 日本損害保険協会寄贈の消防ポンプ自動車（三菱CD-I型 A-1級）
消防署配置

平成 5年10月18日 消防ポンプ自動車（いすゞCD-I型 A-2級）購入、藤里分署配置

平成 6年 3月 2日 秋田県共済農業協同組合連合会寄贈の救急自動車
（いすゞ・ファーストハイルーフ4WD）消防署配置

平成 6年 4月 1日 職員定数条例改正により 4名増員し、定数 51名

平成 6年 6月28日 折りたたみ式アルミボート（船外機付）一式購入、消防署配置

平成 7年 5月26日 救助器具（アムカスレスキューツール）一式購入、消防署配置

平成 7年12月20日 消防本部署排水補修工事完成

平成 9年 1月29日 査察広報車（三菱・デリカバン4WD）購入、消防署配置

平成 9年 5月30日 本署訓練塔増設工事完成

平成 9年10月17日 水槽付消防ポンプ自動車（日野水II型 A-2級）購入、消防署配置

平成10年 5月 1日 救急救命士 1名誕生

平成10年11月26日 救急自動車（トヨタ2B型・ハイエース4WD）購入、消防署配置

平成10年12月 8日 救急救命士 1名誕生（計 2名）

平成11年 9月 8日 指揮車（トヨタ・マークIIクオリスF o u r）購入、消防署配置

平成11年10月 1日 藤里分署庁舎外壁吹付塗装工事完成

平成11年10月29日 消防本部基地局無線設備更新

平成11年12月 7日 救急救命士 1名誕生（計 3名）

平成12年 6月28日 高規格救急自動車（ニッサン・パラメディック4WD）購入、消防署配
置（平成12年10月1日運用開始）

平成12年 9月25日 藤里分署車庫増築工事完成

平成12年 9月29日 藤里分署火災専用電話（119番）消防本部へ移設

平成12年10月 1日 平成10年11月26日購入した救急自動車（トヨタ2B型・ハイエース4WD）を藤里分署へ配置替えし救急業務開始

平成12年11月10日 救急救命士1名誕生（計4名）

平成13年10月19日 査察広報車（トヨタ・ノア4WD）購入、藤里分署配置

平成13年11月 7日 本署気象観測装置（データロガー）を購入、観測開始

平成14年 4月 1日 ニツ井町藤里町衛生一部事務組合が解散したことにより、ニツ井町藤里町消防一部事務組合が衛生業務を引き継ぐことになり、ニツ井藤里地区行政組合と名称を変更し、ニツ井藤里地区行政組合消防本部、ニツ井藤里地区行政組合消防署、ニツ井藤里地区行政組合消防署藤里分署に名称を改め、消防職員2名増員し53名となる

平成14年 5月10日 救急救命士1名誕生（計5名）

平成14年11月26日 救急救命士1名誕生（計6名）

平成15年11月28日 藤里分署屋根張替工事完成

平成15年12月11日 半自動体外式除細動器（二相波形）購入

平成16年 1月14日 パソコン（10台）及びカラーレーザープリンター（1台）購入

平成16年 5月 6日 救急救命士1名誕生（計7名）

平成16年12月 8日 本署事務室及び本部会議室床張替工事完成

平成16年12月10日 本部署庁舎室内塗装工事完成

平成16年12月10日 本署屋上鉄塔改修及び塗装工事完成

平成16年12月18日 煙体験ハウス購入

平成17年 4月28日 救急救命士1名誕生（計8名）

平成17年 9月21日 消防ポンプ自動車（日野CD-I型 A-2級）購入、消防署配置

平成17年11月 4日 携帯119番受付電話設備配置

平成18年 1月11日 消防本部基地局無線設備第2装置購入

平成18年 2月21日 救急講習用プロジェクター投影装置購入

平成18年 2月28日 ニツ井藤里地区行政組合解散

三種消防の変遷（旧山本郡南部地区消防本部）

昭和46年 3月	山本町、琴丘町、八竜町の3町長で組合消防の設置を協議
昭和46年 3月	山本町、琴丘町、八竜町の3町の議会において組合消防の設置に関する議案を可決
昭和46年 4月	山本郡南部地区消防一部事務組合を設立（4月1日付指令地－663－秋田県知事許可）八竜町出身（東京在住）会社社長、藤原三郎氏より救急自動車（トヨタ・改造型）寄贈される
昭和46年 7月	飯坂謙助氏（元能代市消防署次席）が、初代消防署長に就任
昭和46年 9月	山本町中央公民館の一部を臨時庁舎として救急車1台と借り上げたポンプ車1台で業務を開始指令車兼広報車1台購入し配置
昭和46年10月	消防ポンプ自動車（日産・ジープ級）2台購入し配置
昭和46年12月	消防本部、消防署庁舎を新築竣工
昭和47年 2月	消防ポンプ自動車（日産・ジープ級）可搬ポンプ付き購入し配置 琴丘町落合に琴丘町の建物を借り上げ、消防ポンプ自動車1台、職員7名で上岩川分署の業務を開始
昭和47年10月	消防ポンプ自動車（日産・ジープ級）1台購入し本署へ配置
昭和48年 4月	職員1名採用（実員35名）
昭和48年 6月	職員1名採用（実員36名）
昭和49年 4月	秋田県危険物安全協会山本南部支部発足
昭和49年 6月	救急業務の政令指定を受ける
昭和49年10月	山本町森岳温泉防火管理推進協議会発足
昭和50年 1月	（社）日本損害保険協会から救急自動車（日産）1台寄贈され本署に配置
昭和50年 4月	指令車兼広報車（日産）1台購入し本署へ更新配置
昭和53年 4月	職員（事務吏員）1名採用（実員37名）
昭和53年12月	秋田県共済農業協同組合連合会から救急自動車（トヨタ）1台寄贈され本署に配置
昭和54年 7月	消防署事務室増築
昭和54年12月	広報車（日産）1台購入し本署に配置
昭和56年 3月	職員2名採用（実員39名）
昭和56年 9月	（社）日本損害保険協会から広報車（日産）1台寄贈され本署に配置
昭和57年 6月	本署に車庫を新築

昭和57年 9月	職員 1 名採用（実員 3 9 名）
昭和59年 4月	日本消防協会から広報車（トヨタ） 1 台寄贈され本署に配置
昭和59年 8月	消防ポンプ自動車（日野・C D－Ⅱ型） 1 台購入し本署に更新配置
昭和60年 4月	職員（山本町職員） 1 名採用（実員 3 9 名）
昭和62年 1月	秋田県共済農業協同組合連合会から、救急自動車（いすゞ・4WD） 1 台寄贈され本署に配置
昭和62年 3月	4 週 5 休体制を開始
昭和62年 4月	職員 1 名採用（実員 3 9 名）
昭和62年 8月	（社）日本損害保険協会から消防ポンプ自動車（トヨタ・B D－1 型・4 W D） 1 台寄贈され本署に配置
昭和63年 7月	本署基地局無線機、アンテナ、ケーブル更新
平成元年 8月	日本消防協会から救急自動車（いすゞ） 1 台寄贈され本署に配置
平成 2年 4月	職員 2 名採用（実員 3 9 名）
平成 2年10月	消防署事務室増築 消防ポンプ自動車（いすゞ・C D－Ⅰ型・4WD） 1 台購入し本署に更新配置
平成 3年 4月	4 週 6 休体制を開始
平成 3年 8月	日本消防協会から広報車（三菱） 1 台寄贈され本署に配置
平成 4年 4月	職員 3 名採用（実員 4 2 名）
平成 4年10月	山本町消防団豊岡班が全国消防操法大会小型ポンプの部に秋田県代表で出場
平成 4年12月	山本郡南部地区幼少年婦人防火委員会発足
平成 6年 4月	職員 3 名採用（実員 4 5 名） 週 4 0 時間体制を開始
平成 7年 5月	油圧救助器具（アムカス）一式購入し本署に配置
平成 7年11月	本署無線搭取り替え設置
平成 8年10月	消防本部署庁舎外壁改修
平成 8年12月 9日	水槽付消防ポンプ自動車（日野・水Ⅰ－A型） 1 台購入し本署に更新配置
平成 9年11月 7日	上岩川分署庁舎改築竣工
平成10年 4月	職員 3 名採用（実員 4 7 名）
平成10年11月25日	救急自動車（トヨタ・2 B 型・4WD） 1 台購入し本署に更新配置

平成11年 5月	救急救命士 1 名誕生
平成12年 3月27日	救助工作車（いすゞ・4WD）購入し本署に配置 救助艇（和船・船外機付）購入し本署に配置
平成12年 4月	職員 2 名採用（実員 4 7 名）
平成12年 5月	救急救命士 1 名誕生（計 2 名）
平成12年10月19日	山本町消防団豊岡班が全国消防操法大会小型ポンプの部に秋田県代表で出場 （準優勝）
平成12年12月14日	救助艇用トレーラー購入し本署に配置
平成13年 3月 2日	通信指令装置設置
平成13年 5月	救急救命士 1 名誕生（計 3 名）
平成13年 9月 1日	高規格救急自動車（トヨタ・4WD） 1 台購入し本署に配置運用
平成14年 4月	職員 2 名採用（実員 4 7 名）
平成14年11月	救急救命士 1 名誕生（計 4 名）
平成14年12月12日	多目的車（日産・4WD・ワゴン車） 1 台購入し本署に更新配置
平成15年 4月	職員 1 名採用（実員 4 7 名） 救急救命士 1 名誕生（計 5 名）
平成15年10月23日	山本町婦人消防隊が全国女性消防操法大会に出場（敢闘賞）
平成15年11月	潜水土 6 名誕生
平成16年 2月17日	水槽付消防ポンプ自動車（日野・水Ⅱ型・4WD） 1 台購入し本署に更新配置
平成16年 2月	潜水土 4 名誕生（計 1 0 名）
平成16年 4月	救急救命士 1 名誕生（計 6 名）
平成16年 8月 5日	指令車兼広報車（スバル・4WD） 1 台購入し本署へ更新配置
平成16年11月	職員 1 名採用（実員 4 7 名） 新潟県中越地震の支援活動に職員 2 名派遣（小千谷市の避難所で 1 5 日～2 1 日まで）
平成17年 2月23日	消防操法訓練場 用地取得 （2, 212㎡）
平成17年 4月	職員 1 名採用（実員 4 8 名）
平成17年 8月17日	消防操法訓練場完成
平成18年 2月28日	山本郡南部地区消防一部事務組合解散

能代山本広域市町村圏組合 消防本部・署所庁舎の所在地・概要

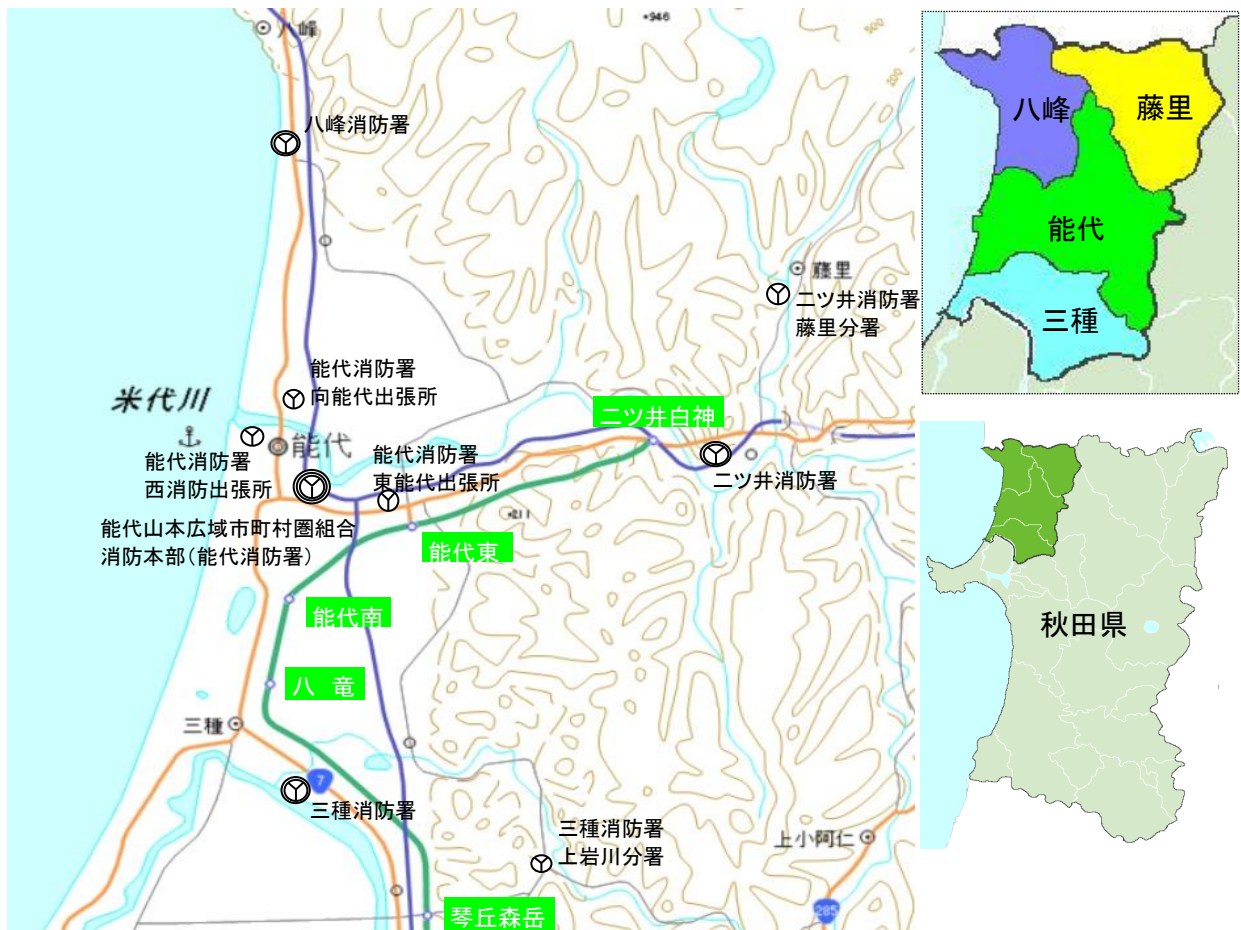
名 称	所在地 ・ 電話番号 ・ FAX番号	主要庁舎概要
消防本部 能代消防署	〒016-0851 秋田県能代市緑町2番22号 TEL 0185(52)3311(代 表) 0185(52)0403(総務課) 0185(52)3312(予防課) 0185(52)3365(警防課) 0185(52)3368(救急課) FAX 0185(53)3958 総合防災情報システム (端末局) 166511 (衛星電話) 080-2846-5859	竣工 昭和57年10月28日 増築 平成 9年 3月20日 庁舎 鉄筋コンクリート造2階建 1,669.43㎡ 整備室 202.50㎡ 訓練塔 92.70㎡ 倉庫 45.36㎡ 車庫 50.27㎡ 水防倉庫 9.55㎡
能代消防署東能代出張所	〒016-0102 秋田県能代市字一本木37番地2 FAX兼用 0185(58)3119	竣工 昭和52年12月12日 鉄筋コンクリート造平家建 202.18㎡
能代消防署向能代出張所	〒016-0013 秋田県能代市向能代字上野越83番地2 FAX兼用 0185(54)3652	竣工 昭和49年11月20日 鉄筋コンクリート造平家建 197.32㎡
能代消防署西消防出張所	〒016-0801 秋田県能代市浜通町53番地9 FAX兼用 0185(55)0503	竣工 昭和59年12月10日 鉄筋コンクリート造平家建 195.86㎡
二ツ井消防署	〒018-3144 秋田県能代市二ツ井町字中坪41番地4 TEL 0185(73)2327 FAX 0185(73)5955	竣工 昭和47年12月11日 鉄筋コンクリート造2階建 632.00㎡
二ツ井消防署藤里分署	〒018-3205 秋田県山本郡藤里町粕毛字家の下9番地2 TEL 0185(79)1119 FAX 0185(79)2119	竣工 昭和46年12月22日 増築 平成12年 9月25日 鉄骨一部木造2階建 273.92㎡
三種消防署	〒018-2402 秋田県山本郡三種町川尻字東大堤下23番地1 TEL 0185(85)3100 FAX 0185(85)3131	竣工 昭和46年12月25日 鉄筋コンクリート造2階建 595.20㎡
三種消防署上岩川分署	〒018-2101 秋田県山本郡三種町上岩川字小又口9番地2 FAX兼用 0185(88)2119	竣工 昭和47年2月 改築 平成9年11月7日 鉄骨造平家建 227.06㎡
八峰消防署	〒018-2502 秋田県山本郡八峰町峰浜目名潟字下谷地 152番地3 TEL 0185(76)3119 FAX 0185(76)3118	竣工 昭和47年11月6日 増築 昭和63年12月25日 鉄筋コンクリート平家建 294.63㎡

組合管内の人口、世帯数、面積及び管内図

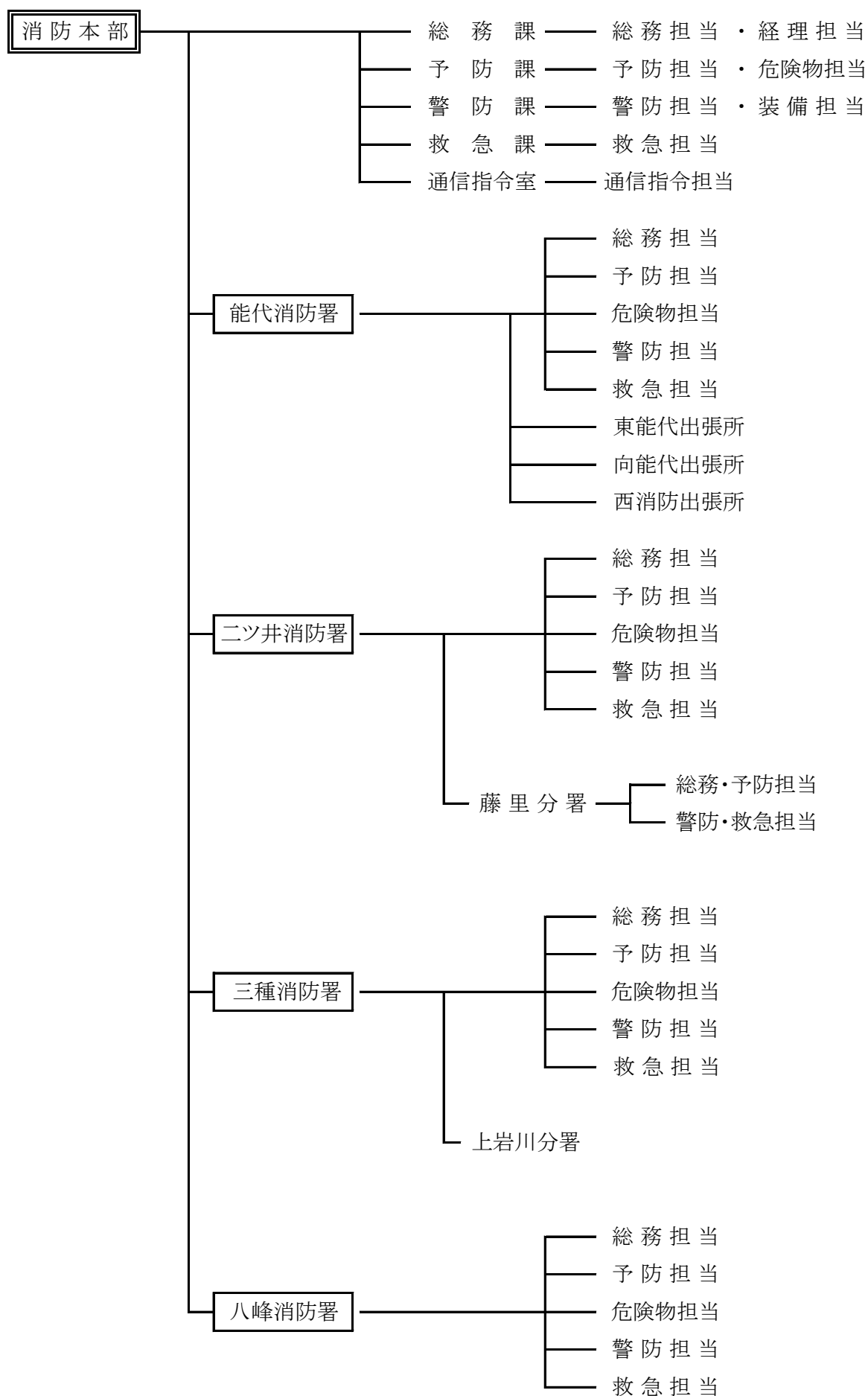
令和7年1月1日現在

市 町 村 名	人口(人)	男女別内訳		世帯数(世帯)
		男(人)	女(人)	
能 代 市	47,247	21,990	25,257	23,820
藤 里 町	2,746	1,321	1,425	1,302
三 種 町	14,172	6,600	7,572	6,636
八 峰 町	6,086	2,875	3,211	2,925
計	70,251	32,786	37,465	34,683

市 町 村 名	面積(km ²)	面積内訳			
		耕地(km ²)	宅地(km ²)	山林(km ²)	その他(km ²)
能 代 市	426.95	85.71	17.43	54.35	269.46
藤 里 町	282.13	10.27	1.32	232.63	37.91
三 種 町	247.98	58.80	6.84	135.22	47.12
八 峰 町	234.14	24.01	2.89	130.53	76.71
計	1,191.20	178.79	28.48	552.73	431.20



消 防 本 部 ・ 消 防 署 の 組 織



令和 6 年度一般会計当初予算（消防費）

（歳 出）

（単位：千円）

款	項	目	節	金 額
5. 消防費	1. 消防費			1, 873, 105
		1. 本部費		334, 717
			2. 給料	128, 007
			3. 職員手当	81, 040
			4. 共済費	51, 749
			7. 報償費	35
			8. 旅費	2, 386
			1 0. 需用費	11, 679
			1 1. 役務費	6, 479
			1 2. 委託料	34, 299
			1 3. 使用料及び賃借料	3, 384
			1 7. 備品購入費	3, 359
			1 8. 負担金補助及び交付金	12, 282
			2 6. 公課費	18
		2. 署費		1, 490, 358
			2. 給料	638, 578
			3. 職員手当	489, 870
			4. 共済費	266, 131
			8. 旅費	47
			1 0. 需用費	58, 153
			1 1. 役務費	15, 245
			1 2. 委託料	3, 877
			1 3. 使用料及び賃借料	3, 423
			1 4. 工事請負費	235
			1 7. 備品購入費	13, 181
			1 8. 負担金補助及び交付金	413
			2 6. 公課費	1, 205
		3. 消防施設費		48, 030
			1 0. 需用費	48, 030

職員配置状況

階級等 所 属		計	消 防 正 監	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	事 務 職 員
消 防 本 部		24	1	1	4	9	4	3	1		1
能 代 消 防 署	能 代 消 防 署	48				11	13	16	2	6	
	東能代出張所	8				1	2	4	1		
	向能代出張所	8				1	2	5			
	西消防出張所	8				1	2	5			
二 ツ 井 消 防 署	二ツ井消防署	25		1		6	11	4		3	
	藤 里 分 署	14				2	4	4	2	2	
三 種 消 防 署	三 種 消 防 署	36			1	7	12	12		4	
	上 岩 川 分 署	8				1	2	4		1	
八 峰 消 防 署		25			1	6	8	4	3	3	
秋 田 県 消 防 航 空 隊		1				1					
秋 田 県 消 防 学 校		1				1					
計		206	1	2	6	47	60	61	9	19	1

職員年齢状況

階級等 年齢	計	消 防 正 監	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	事 務 職 員
20才未満	8								8	
20才以上25才未満	15							4	11	
25才以上30才未満	20					1	16	3		
30才以上35才未満	38					7	29	1		1
35才以上40才未満	35				3	19	13			
40才以上45才未満	18				7	9	2			
45才以上50才未満	33				17	15		1		
50才以上55才未満	22			1	14	6	1			
55才以上	17	1	2	5	6	3				
計	206	1	2	6	47	60	61	9	19	1
平均	42.8	57.0	57.5	57.3	49.2	44.1	34.0	28.9	21.3	35.8

職員勤続年数状況

階級等 年数	計	消 防 正 監	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	事 務 職 員
5年未満	20								19	1
5年以上10年未満	18						10	8		
10年以上15年未満	52					15	37			
15年以上20年未満	30				6	15	9			
20年以上25年未満	19				7	8	4			
25年以上30年未満	29				16	12		1		
30年以上35年未満	23			1	11	10	1			
35年以上40年未満	15	1	2	5	7					
40年以上										
計	206	1	2	6	47	60	61	9	19	1
平均	20.8	38.0	38.0	36.0	27.9	22.0	13.4	8.6	1.3	2.0

職員研修状況

年度 区分			平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	計
消防 大学 校	上 級 幹 部 科												0
	幹 部 科				1							1	2
	予 防 科							1					1
	危 険 物 科			1	1								2
	火 災 調 査 科		1	1		1				1		1	5
	救 助 科			1	1						1		3
	警 防 科								1				1
	救 急 科				1								1
救 急 救 命 士 養 成 課 程			1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	16
指導的立場の救急救命士教育			1			1				1	1	1	5
秋 田 県 消 防 学 校	初 任 教 育		8	8	8	8	4	4	8	5	4	4	61
	幹 部 教 育		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
	専科教育	警 防 科				1	1	1	1	1	1	1	7
		危 険 物 科					1		1		1		3
		火 災 調 査 科	1	2	1	1	2	1	1	1	1	1	12
		予 防 査 察 科				1		1		1		1	4
		救急科(救急Ⅱ課程)	6	7	7	7	6	7	7	7	7	7	68
		救 助 科	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	30
		特 殊 災 害 科	1		3	1	1	1	1	1	1	1	11
	特別教育	消防操法指導員講習	5	5	5	6	6			6	6	6	45
救急救命処置再教育				3	4	1	1	1	1	1	2	14	
実 務 講 習	緊急消防援助隊教育科	指 揮 隊 長 コ ー ス	1	3	6					1			11
		高度救助・特別高度救助											0
		NBC コ ー ス		1	1								2
	危機管理・防災教育課	航 空 隊 長 コ ー ス											0
		危機管理・国民保護コース		1	2	1							4
		自主防災組織育成コース		1	2								3
		自主防災組織育成短期コース											0
		消防団活性化推進コース		1	1								2
計			29	37	48	37	28	23	27	32	30	32	323

令和6年度 消防本部(署)幹部一覧

令和6年4月1日

◆消防本部

職 名	階 級	氏 名	備 考
消 防 長	消 防 正 監	泉 政 樹	
消 防 次 長	消 防 監	伊 藤 均	
総務課長	司 令 長	杉 谷 和 彦	
予 防 課 長	司 令 長	小杉山 正 喜	
警 防 課 長	司 令 長	渡 辺 健	
救 急 課 長	司 令 長	加 勇 田 清 武	通信指令室長兼務

◆能代消防署

職 名	階 級	氏 名	備 考
署 長	消 防 監	伊 藤 均	
副 署 長	司 令	今 井 正	
副 署 長	司 令	小 川 樹 貴	
副 署 長	司 令	永 井 正 佳	

◆二ツ井消防署

職 名	階 級	氏 名	備 考
署 長	消 防 監	小山内 寿	
副 署 長	司 令	中 村 慎一郎	
副 署 長	司 令	山 田 康 広	

◆三種消防署

職 名	階 級	氏 名	備 考
署 長	司 令 長	田 村 俊 英	
副 署 長	司 令	三 浦 孝 則	
副 署 長	司 令	大 塚 義 美	

◆八峰消防署

職 名	階 級	氏 名	備 考
署 長	司 令 長	藤 田 信 義	
副 署 長	司 令	金 谷 豊	
副 署 長	司 令	坂 本 満	

職員の特殊技能その他資格習得状況

種別 \ 階級	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
自動車運転免許(大型)第1種	1	2	5	46	54	45	1		154
〃 (中型限定解除) 第1種						3	1		4
〃 (中型) 第1種				1		3	6	1	11
〃 (準中型) 第1種						3		7	10
〃 (普通) 第1種			1	1	5	5	1	11	24
〃 (大型特殊) 第1種	1	1	3	14	12	4			35
〃 (けん引) 第1種			1		3	0			4
特殊無線技士		2	2	40	57	58	9	17	185
危険物取扱者(甲種)	1			1	1				3
〃 (乙種) 1類	1			4	5	5	1	1	17
〃 〃 2類	1			6	4	3		1	15
〃 〃 3類	1		1	6	8	9	2	1	28
〃 〃 4類	1	2	5	40	54	57	9	15	183
〃 〃 5類	1			4	5	7	1	1	19
〃 〃 6類	1			5	14	13	3	1	37
毒物劇物取扱者	1				1				2
消防設備士(甲種) 1類	1			4	3	1			9
〃 〃 2類	1			2					3
〃 〃 3類	1			1					2
〃 〃 4類	1			4	4	2			11
〃 〃 5類	1			2					3
消防設備士(乙種) 1類					1			1	2
〃 〃 2類									0
〃 〃 3類									0
〃 〃 4類				3				1	4
〃 〃 5類									0
〃 〃 6類	1			14	17	20	2	3	57
〃 〃 7類	1			3	4	1			9
予防技術検定(防火査察専門員)	1			14	23	17	2	1	58
〃 (消防用設備等専門員)	1			8	10	4	1		24
〃 (危険物専門員)	1		1	13	15	9	1		40
酸素欠乏危険作業主任者	1	1	1	16	19	7			45
第1種衛生管理者	1			1	1				3
小型船舶操縦士 1級			1	3		2			6
〃 2級			2	21	17	7			47
小型移動式クレーン		1	5	40	33	13		1	93
玉掛技能講習		1	5	40	36	16	2	1	101
潜水士取得者		1	1	29	32	20			83
ガス溶接技能講習修了者				14	14	3			31
防災士	1	1	1	23	9	3		1	39
総 数	23	12	35	423	461	340	42	65	1401

令和 6 年度の主な事業

事業名	事業内容
教育・訓練・研修	幹部科 消防大学校 1 名
	火災調査科 ” 1 名
	初任教育 県消防学校 4 名
	幹部教育 ” 1 名
	警防科 ” 1 名
	火災調査科 ” 1 名
	予防査察科 ” 1 名
	救急科 ” 7 名
	救助科 ” 3 名
	特殊災害科 ” 1 名
	消防操法指導員講習 ” 6 名
	救急救命処置再教育 ” 2 名
	救急救命士養成課程 救急救命東京研修所 2 名
施設及び 装備資機材の整備	
	能代消防署 はしご車オーバーホール

消防本部行政事務分掌表

総務課	総務担当	ア 予算に関すること。 イ 消防組織運営に関すること。 ウ 消防行政事務の総合調整連絡に関すること。 エ 保管している公印の管理に関すること。 オ 文書の収受、発送、整理及び保管に関すること。 カ 表彰に関すること。 キ 例規の制定改廃及び告示等に関すること。 ク 職員の任免、賞罰、服務及びその他身分に関すること。 ケ 職員の給与に関すること。 コ 職員の福利厚生に関すること。 サ 職員の衛生管理に関すること。 シ 職員の公務災害補償手続きに関すること。 ス その他、他課担当に属さないこと。
	経理担当	ア 決算に関すること。 イ 物品の購入修繕及び出納保管に関すること。 ウ 財産の管理に関すること。 エ 給貸与品に関すること。 オ その他、財政全般に関すること。
予防課	予防担当	ア 火災予防対策及び指導並びに普及宣伝に関すること。 イ 予防査察に関すること。 ウ 防火管理者の指導に関すること。 エ 火災予防組合及び婦人防火クラブに関すること。 オ 火気使用設備、器具の指導に関すること。 カ 建築同意に関すること。 キ 消防用設備等の設置及び維持管理に関すること。 ク その他、火災予防全般に関すること。
	危険物担当	ア 火災原因及び水火災等の損害調査に関すること。 イ 危険物の規制に関すること。 ウ 消防統計及び消防情報に関すること。 エ 危険物安全協会に関すること。 オ 火災等の証明に関すること。

警 防 課	警 防 担 当	ア 消防計画に関すること。 イ 水火災等の警戒鎮圧に関すること。 ウ 火災警報等の発令及び気象情報に関すること。 エ 警戒区域の設定に関すること。 オ 消防水利の計画及び維持管理に関すること。 カ 消防相互応援及び自衛消防隊の指導に関すること。 キ 緊急消防援助隊に関すること。 ク 救助業務に関すること。 ケ 救助技術の指導に関すること。 コ その他、警防全般に関すること。
	装 備 担 当	ア 消防施設水利等の保守管理に関すること。 イ 消防機械器具、ホース等の整備及び保守管理に関すること。 ウ 消防施設及び機械器具等の燃料の出納に関すること。 エ その他、装備全般に関すること。
救 急 課	救 急 担 当	ア 救急業務に関すること。 イ 救急業務計画に関すること。 ウ 救急講座の指導、救急思想の普及に関すること。 エ 救急資器材の保守維持管理に関すること。 オ 救急統計等、救急事務に関すること。 カ メディカルコントロール協議会に関すること。 キ その他、救急全般に関すること。
通 信 指 令 室	通 信 指 令 担 当	ア 災害の受付及び出動指令に関すること。 イ 災害時における情報の収集及び防災関係機関との連絡に関すること。 ウ 通信統制及び無線に関すること。 エ 無線機器の維持管理に関すること。 オ 消防緊急通信指令施設の維持管理に関すること。 カ 通信情報の収集及びデータ作成に関すること。 キ 通信機器の取扱い及び指導に関すること。 ク 防災無線、河川情報情報、医療情報、移動系携帯電話及び身障者用ファクシミリ等に関すること。 ケ 通信業務の訓練に関すること。 コ その他、通信全般に関すること。

消防署行政事務分掌表

総務担当	ア 署員の服務に関すること。 イ 署員の研修及び訓練に関すること。 ウ 表彰に関すること。 エ 保管している公印の管理に関すること。 オ 文書の收受、発送、整理及び保存に関すること。 カ 署員の福利厚生に関すること。 キ 署員の衛生管理に関すること。 ク 行事及び会議に関すること。 ケ 庁舎及び付属施設保守管理に関すること。 コ その他署長の命ずること及び他の担当に属しないこと。
予防担当	ア 火災予防の査察及び普及に関すること。 イ 建築同意事務に関すること。 ウ 消防用設備等の設置及び維持管理に関すること。 エ その他署長の命ずること。
危険物担当	ア 火災原因及び水火災等の損害調査に関すること。 イ 危険物の規制に関すること。 ウ 消防統計及び消防情報に関すること。 エ 火災等の証明に関すること。 オ その他署長の命ずること。
警防担当	ア 火災警報発令、解除及び気象情報に関すること。 イ 消防施設水利等の保守管理に関すること。 ウ 消防機械器具等の整備及び保守管理に関すること。 エ ホース及び無線機器の維持管理に関すること。 オ 警防計画に関すること。 カ 救助業務に関すること。 キ 消防施設及び機械器具等の燃料の出納に関すること。 ク その他署長の命ずること。
救急担当	ア 救急業務に関すること。 イ 救急講座の指導、救急思想の普及に関すること。 ウ 救急資器材の保守維持管理に関すること。 エ 救急統計等に関すること。 オ その他署長の命ずること。

分署行政事務分掌表

総務・予防担当	ア 総務全般に関すること。 イ 予防全般に関すること。
警防・救急担当	ア 警防全般に関すること。 イ 救急全般に関すること。

※上岩川分署については、救急担当事務は除く

出張所行政事務分掌表

ア 消防業務に関すること。

予 防 関 係

令和 6 年中 広域管内火災発生状況

区分 \ 火災種別等		市町別	能代市	藤里町	三種町	八峰町	能代山本 広域管内
人 口 (人)			47, 247	2, 746	14, 172	6, 086	70, 251
世帯数 (世帯)			23, 820	1, 302	6, 636	2, 925	34, 683
発生件数 (件)	建物火災		8		5	2	15
	林野火災		1		1		2
	車両火災						
	船舶火災						
	航空機火災						
	その他火災				1		1
	計		9		7	2	18
出 火 率			1. 90		4. 94	3. 29	2. 56
1 か月平均火災件数 (件)			0. 75		0. 58	0. 17	1. 50
死 者 数 (人)			4				4
負傷者数 (人)			4		1		5
り災世帯			15		5	2	22
焼損棟数 (棟)	全 焼		10		8		18
	半 焼						
	部分焼		4		7	2	13
	ぼ や		7		3		10
	計		21		18	2	41
1 件平均焼損棟数 (棟)			2. 6		3. 6	1. 0	2. 7
焼損面積等	焼損床面積 (㎡)		1, 174		1, 115		2, 289
	1 件平均焼損床面積 (㎡)		146. 8		223. 0		152. 6
	焼損表面積 (㎡)		47		104	6	157
	林野 (a)		8		60		68
	車両 (台)		5		1		6
	船舶 (艘)						
損害額合計 (千円)			29, 203		60, 390	18	89, 611
建物火災損害額 (千円)			26, 380		46, 633	16	73, 029
建物火災 1 件平均損害額 (千円)			3, 298		9, 327	8	4, 869
人口 1 人当たりの損害額 (円)			618		4, 261	3	1, 276
1 日当たりの損害額 (円)			80, 008		165, 452	49	245, 510

過去5箇年 火災覚知別調

区 別		件 数	1 1 9 番	加入電話	事後聞知	そ の 他
市町別	年 別					
能 代 市	令和 2 年	11	9		2	
	令和 3 年	19	15	2	1	1
	令和 4 年	9	8	1		
	令和 5 年	21	15	3	2	1
	令和 6 年	9	8	1		
	計	69	55	7	5	2
藤 里 町	令和 2 年	1	1			
	令和 3 年	1		1		
	令和 4 年	2	1		1	
	令和 5 年	1	1			
	令和 6 年					
	計	5	3	1	1	
三 種 町	令和 2 年	3	3			
	令和 3 年	10	8	2		
	令和 4 年	7	4	2	1	
	令和 5 年	4	2	1	1	
	令和 6 年	7	6	1		
	計	31	23	6	2	
八 峰 町	令和 2 年	2	1		1	
	令和 3 年	1		1		
	令和 4 年	5	3	1	1	
	令和 5 年	3	2	1		
	令和 6 年	2	2			
	計	13	8	3	2	
広 域 合 計	令和 2 年	17	14		3	
	令和 3 年	31	23	6	1	1
	令和 4 年	23	16	4	3	
	令和 5 年	29	20	5	3	1
	令和 6 年	18	16	2		
	計	118	89	17	10	2

過去 10 年間 年別火災状況比較表

市町別	項目 年別	件 数	火災種別					り 災 内 容																損害額 (千円)	人的被害	
								棟 数								り災世帯			り 災人員	焼損面積					死 者	傷 者
								住 家				非 住 家								焼損面積						
			建物 火災	車両 火災	林野 火災	船舶 火災	その他 火災	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	全 損	半 損	小 損		建 物 床面積 (㎡)	林 野 (a)	車 両 (台)	船 舶 (艘)			
能代市	27	16	11	3	2			5		4	5	4		2	1	5		9	33	1,286	9	4		61,458	1	3
	28	14	14					4	3	2	4	9	3	4	1	5	3	5	35	3,399	1			75,137		1
	29	11	7	1	1		2	2	1	2	1			1	2	1	3	12	351	15	3		25,233	2	2	
	30	16	11	1			4	1		5	4	4	1	1		1		9	23	667		1		85,172	1	4
	元	13	10				3	9		1	2	1	1	3	3	10		3	28	2,757		1		98,714	3	6
	2	11	6	1	2		2			1				1	4			1	4	2	74	1		3,976		1
	3	19	17	1			1	13	1	3	2	16	2	10	3	15	1	3	41	5,653		4		226,578	2	2
	4	9	4	2	1		2				1			2	2			1	2		36	2		4,583	1	
	5	21	17	2			2	6		2	8	7	1	2	2	8		8	45	2,598		6		340,047	3	4
6	9	8		1			6		4	5	4			2	6		9	32	1,174	8	5		29,203	4	4	
藤里町	27	1	1								1	1			1			1	2	5				377		
	28	1	1					1					1			1			6	464				20,378		
	29	1	1									1		2						156		1		4,610		
	30	1	1							1		3		1				1	2	300				3,150		
	元	無火災																								
	2	1	1					2				1		1		2			4	532				39,912	1	
	3	1		1																		1		637		
	4	2	2									1			1					47				821		1
	5	1					1																	134		1
6	無火災																									
三種町	27	7	5	2				2	1			3		1	1	2	1		10	917		2		33,518	1	2
	28	4	3		1			1		1	1	1		3		1		1	6	252	25			13,618		
	29	5	4				1	1		2	1	5		1		1		3	7	578	2			5,356	2	
	30	4	5		1		1	2	1		1	9	2	3	2	2		2	9	1,402	161	3		26,807	1	2
	元	10	6		3		1	1		4	5	3		2		1		9	27	408	17			13,461		
	2	3	2		1							1		1						53	7			272		
	3	10	6	1	1		2	2		2	2	5	1	1	4	2		4	17	783	11	1		16,016		1
	4	7	3	1	3					1	1			1				2	8		51	1		1,240		1
5	4	3				1	2		1		1		1	2	2		1	6	528		1		6,613	1	2	
6	7	5		1		1	2		2	2	6		5	1	2		3	14	1,115	60	1		60,390		1	
八峰町	27	5	2		2		1				1	3						1	2	113	151			2,268		1
	28	2			1	1						1								16	2		2	10,067		
	29	3	3					2		1	1				2	2		2	14	321		2		24,161		2
	30	2	1		1							1								65	43			75		
	元	5	4		1			1		3		3		1	3	1		4	16	306	15	1		18,327	1	1
	2	2	1				1					1								455				1,076		1
	3	1			1																5			181		
	4	5	2	2			1	1				2		1		1		2	497	3	4			26,483		2
	5	3	2	1				1		2		1			2	1	1	1	10	354		2		4,712		1
6	2	2							2								2	7						18		

過去１０箇年 年別及び原因別火災件数表

年 別	２７年	２８年	２９年	３０年	令和元年	２年	３年	４年	５年	６年	能代市	藤里町	三種町	八峰町	計
たばこ	４	１	１	２	１	１	１	１	２	１	１０		１	４	１５
たき火			２	３	２	１	２	２	１	６	７		１１	１	１９
こんろ（掛け忘れ含む）	１	２	１	４	２		２		２		１２			２	１４
放火		１	２	２	１	１			４	２	７		４	２	１３
放火の疑い					１		１		１				３		３
火入れ	２	１	２	２	２	３	１	２			８		７		１５
電気機器			１		１		２	２	２		３	１	１	３	８
電灯電話等の配線	３	２	３	２	１					１	６		５	１	１２
配線器具		２		１			２			１	３		３		６
各種ストーブ	３		２		１		３	１	２	１	１０	１	２		１３
排気管	１		１	１		１	１	１			５	１			６
電気装置 （木材工場各種機械含む）					１		２	４	１		４		３	１	８
マッチ・ライター					２	１				１	１		１	２	４
灯火（ローソク等）	１	２	２	１					１	１	７		１		８
火遊び					１								１		１
溶接機・切断機															
交通機関内配線	１										１				１
焼却炉				１				１	１		１	１		１	３
取灰									１		１				１
煙突・煙道	１	２	１	２	２		３		１	２	７		５	２	１４
風呂かまど															
内燃機関															
衝撃の火花		１									１				１
ボイラー	２					１		１			３	１			４
炉（乾燥炉含む）・かまど															
こたつ			１								１				１
その他	６	４		１	６	３	８	７	６		２２	１	１２	６	４１
不明・調査中	４	３	１	４	４	５	３	１	４	２	１９	３	４	５	３１
能代市	１６	１４	１１	１６	１３	１１	１９	９	２１	９	１３９				１３９
藤里町	１	１	１	１		１	１	２	１			９			９
三種町	７	４	５	７	１０	３	１０	７	４	７			６４		６４
八峰町	５	２	３	２	５	２	１	５	３	２				３０	３０
火災件数合計	２２	２９	２０	２０	２６	１７	３１	２３	２９	１８	１３９	９	６４	３０	２３５

※本表火災原因種別は総務省消防庁防災情報室の火災年報（全火災の総合出火原因別状況）に基づくもの

令和6年中 月別及び出火時刻別件数表

広 域

時刻 \ 月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合 計
前	0時	1												1
	1													
	2										1			1
	3													
	4						1					1		2
	5													
	6													
	7									1				1
	8								1					1
	9				1									1
	10				2				1					3
	11	1			1									2
後	0時				1									1
	1													
	2			1			1							2
	3				1									1
	4		1											1
	5													
	6													
	7				1									1
	8													
	9													
	10													
	11													
時刻不明														
合 計		2	1	1	7		1	1	1	1	1	1	1	18

能代市

時刻 \ 月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合 計
前	0時	1												1
	1													
	2													
	3													
	4						1					1		2
	5													
	6													
	7													
	8								1					1
	9													
	10				1				1					2
	11				1									1
後	0時													
	1													
	2													
	3													
	4		1											1
	5													
	6													
	7				1									1
	8													
	9													
	10													
	11													
時刻不明														
合 計		1	1		3				1	1	1		1	9

令和 6 年中 月別及び出火時刻別件数表

藤里町

時刻 \ 月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
午	0													
	1													
	2													
	3													
	4													
	5													
	6													
	7													
	8													
	9													
	10													
	11													
前	0													
	1													
	2													
	3													
	4													
	5													
	6													
	7													
	8													
	9													
	10													
	11													
後	0													
	1													
	2													
	3													
	4													
	5													
	6													
	7													
	8													
	9													
	10													
	11													
時刻不明														
合 計														

三種町

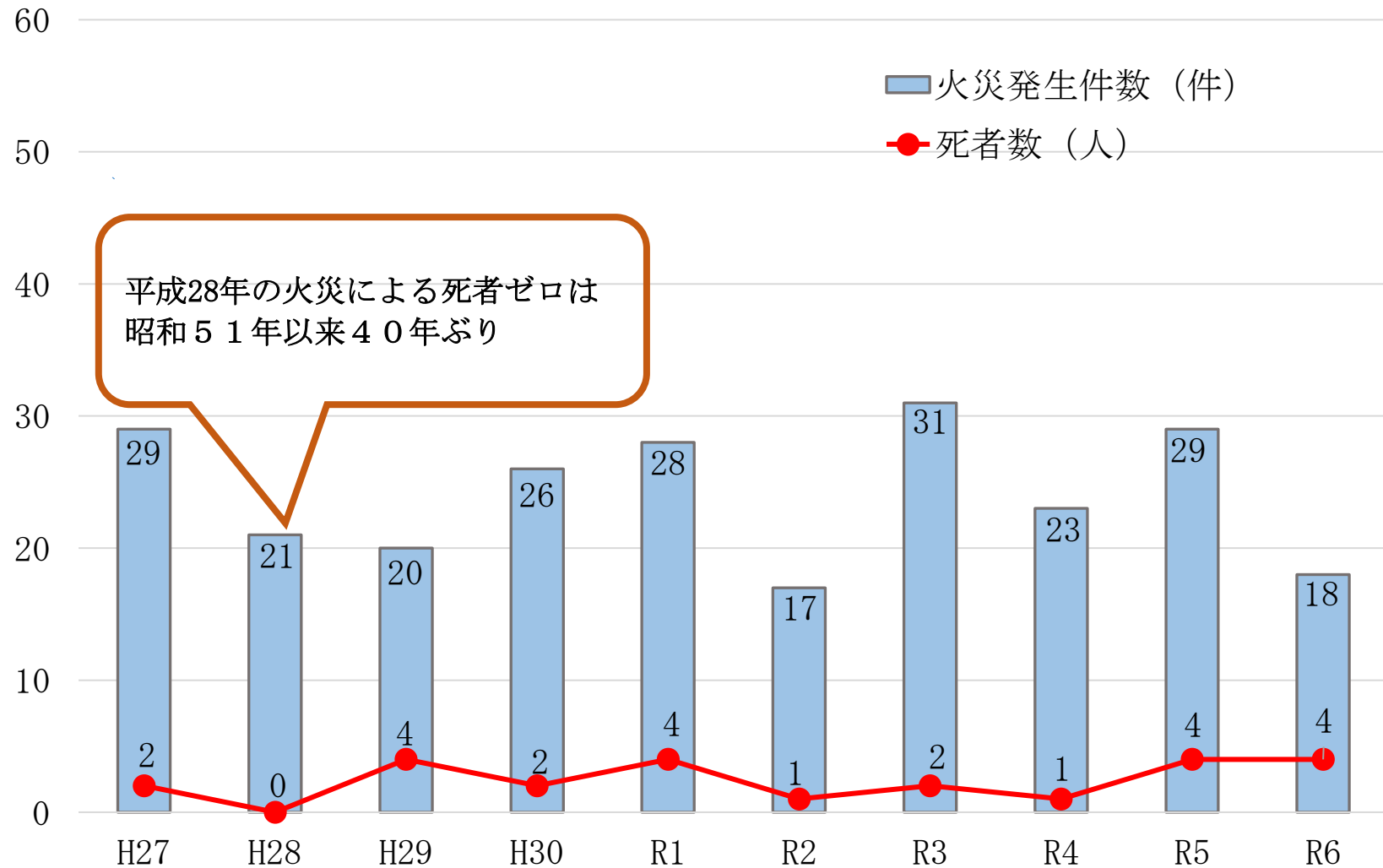
時刻 \ 月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
午	0													
	1													
	2										1		1	
	3													
	4													
	5													
	6													
	7									1			1	
	8													
	9				1								1	
	10				1								1	
	11													
前	0				1								1	
	1													
	2			1									1	
	3				1								1	
	4													
	5													
	6													
	7													
	8													
	9													
	10													
	11													
時刻不明														
合 計				1	4						1	1		7

八峰町

時刻 \ 月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
午	0													
	1													
	2													
	3													
	4													
	5													
	6													
	7													
	8													
	9													
	10													
	11	1											1	
前	0													
	1													
	2					1							1	
	3													
	4													
	5													
	6													
	7													
	8													
	9													
	10													
	11													
時刻不明														
合 計		1					1							2

火災による死者数の推移

～ 平成27年から令和6年の10年間 ～



防火対象物防火管理一覧表

令別表第一（項） 区 分			必 要 火 管 理 者 の 対 象 物 数	さ 防 火 管 理 者 の 対 象 選 任	れ 消 防 計 画 の 対 象 物 出 数
1	イ	観 覧 場 類	10	10	10
	ロ	公 会 堂 、 集 会 場 類	91	85	85
2	イ	キャバレー、カフェ類			
	ロ	遊技場、ダンスホール類	10	10	10
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗類			
	ニ	カラオケボックス類	1	1	1
3	イ	料 理 店 類	4	3	3
	ロ	飲 食 店 類	52	45	44
4		百貨店、マーケット類	123	110	109
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所類	26	26	26
	ロ	寄宿所、下宿、共同住宅類	24	22	22
6	イ	病 院 、 診 療 所 類	25	23	23
	ロ	老 人 福 祉 施 設 類	101	99	99
	ハ	通 所 施 設 類	49	47	47
	ニ	幼 稚 園 類	6	6	6
7		小・中・高校、各種学校類	38	38	38
8		図 書 館 類	6	6	6
9	イ	熱 気 浴 場 類	1	1	1
	ロ	公 衆 浴 場 類	3	3	3
10		車 両 発 着 場 類			
11		神 社 、 寺 院 類	41	33	33
12	イ	工 場 、 作 業 場 類	15	14	14
	ロ	映画、テレビスタジオ類			
13	イ	車 庫 、 駐 車 場 類	1	1	1
	ロ	航 空 機 の 格 納 庫 類			
14		倉 庫 類	8	8	8
15		全各項に該当しない事業場	81	73	73
16	イ	複 合 用 途 防 火 対 象 物	73	60	60
	ロ		7	6	6
16 の2		地 下 街			
16 の3		準 地 下 街			
17		重 要 文 化 財 類	1	1	1
18		延長50M以上のアーケード			
19		市町村長の指定する山林			
20		総務省令で定める舟車			
合計			797	731	729

防火対象物階層別一覧表

令別表第一（項）			階	数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1 0	合
			階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	計	
1	イ	観 覧 場 類	4	7											11
	ロ	公 会 堂 、 集 会 場 類	72	30	1	1									104
2	イ	キャバレー、カフェ類													
	ロ	遊技場、ダンスホール類	7	3											10
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗類													
	ニ	カラオケボックス類	1												1
3	イ	料 理 店 類		2	1	1									4
	ロ	飲 食 店 類	26	41	3										70
4		百貨店、マーケット類	118	35	3	1									157
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所類	7	26	3		2	1						1	40
	ロ	寄宿所、下宿、共同住宅類	3	257	27	25	7	3							322
6	イ	病 院 、 診 療 所 類	18	30	8	2	3	2	1						64
	ロ	老 人 福 祉 施 設 類	70	26	5			1							102
	ハ	通 所 施 設 類	48	27	1										76
	ニ	幼 稚 園 類	3	3											6
7		小・中・高校、各種学校類	16	20	17	7									60
8		図 書 館 類	6	1											7
9	イ	熱 気 浴 場 類	1												1
	ロ	公 衆 浴 場 類	3												3
10		車 両 発 着 場 類	1	1											2
11		神 社 、 寺 院 類	23	44											67
12	イ	工 場 、 作 業 場 類	316	191	3	2	2	1							515
	ロ	映画、テレビスタジオ類													
13	イ	車 庫 、 駐 車 場 類	46	17											63
	ロ	航 空 機 の 格 納 庫 類													
14		倉 庫 類	342	156	9	1									508
15		全各項に該当しない事業場	231	192	32	14	5	2	1						477
16	イ	複 合 用 途 防 火 対 象 物	28	105	20	3	1				1				158
	ロ		24	87	6			1						118	
16の2			地	下	街										
16の3			準	地	下	街									
17			重 要 文 化 財 類	1											1
18			延長5 0 M以上のアーケード	2											2
19			市町村長の指定する山林												
20			総務省令で定める舟車												
合計			1, 417	1, 301	139	57	20	11	2	1			1	2, 949	

過去 10 箇年 建築同意及び通知数

(広域)

	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
同 意	193	166	161	151	158	123	134	131	94	81
通 知	127	150	163	175	186	172	219	200	142	137

(能代市)

	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
同 意	136	127	127	123	126	83	92	67	76	64
通 知	90	101	104	105	136	121	163	145	92	103

(藤里町)

	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
同 意	6	5	6	5	1	6	6	2	3	1
通 知	1	3	4	7	4	7	5	3	4	0

(三種町)

	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
同 意	32	21	17	12	22	24	22	11	8	8
通 知	29	36	48	47	38	39	43	40	39	25

(八峰町)

	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
同 意	19	13	11	11	9	10	14	51	7	8
通 知	7	10	7	16	8	5	8	12	7	9

特殊建築物建築同意事務処理件数及び面積調べ

(広域)

処理別 建築別		同 意		条件付同意		返 送		計	
		件	m ²	件	m ²	件	m ²	件	m ²
新	築	50	40,056.07					50	40,056.07
増	築	4	2,007.78					4	2,007.78
改	築								
用 途 変 更		5	1,975.95					5	1,975.95
移	転								
模 様 替									
計		59	44,039.80					59	44,039.80

(能代市)

処理別 建築別		同 意		条件付同意		返 送		計	
		件	m ²	件	m ²	件	m ²	件	m ²
新	築	37	28,849.84					37	28,849.84
増	築	3	1,971.46					3	1,971.46
改	築								
用 途 変 更		3	1,415.76					3	1,415.76
移	転								
模 様 替									
計		43	32,237.06					43	32,237.06

(藤里町)

処理別 建築別		同 意		条件付同意		返 送		計	
		件	m ²	件	m ²	件	m ²	件	m ²
新	築	1	169.29					1	169.29
増	築								
改	築								
用 途 変 更									
移	転								
模 様 替									
計		1	169.29					1	169.29

(三種町)

処理別 建築別		同 意		条件付同意		返 送		計	
		件	m ²	件	m ²	件	m ²	件	m ²
新	築	7	9,872.45					7	9,872.45
増	築								
改	築								
用 途 変 更		1	286.50					1	286.50
移	転								
模 様 替									
計		8	10,158.95					8	10,158.95

(八峰町)

処理別 建築別		同 意		条件付同意		返 送		計	
		件	m ²	件	m ²	件	m ²	件	m ²
新	築	5	1,164.49					5	1,164.49
増	築	1	36.32					1	36.32
改	築								
用 途 変 更		1	273.69					1	273.69
移	転								
模 様 替									
計		7	1,474.50					7	1,474.50

月別建築同意事務処理件数調べ

(広域)

建築別 月別	新築	増築	改築	用途変更	移転	模様替	計
1 月	3						3
2 月	5	1					6
3 月	10			1			11
4 月	6	1					7
5 月	8						8
6 月	8	1		2			11
7 月	7						7
8 月	5						5
9 月				2			2
1 0 月	8						8
1 1 月	9						9
1 2 月	3	1					4
計	72	4		5			81

(能代市)

建築別 月別	新築	増築	改築	用途変更	移転	模様替	計
1 月	3						3
2 月	3	1					4
3 月	8			1			9
4 月	6	1					7
5 月	6						6
6 月	7	1		1			9
7 月	4						4
8 月	5						5
9 月				1			1
1 0 月	7						7
1 1 月	6						6
1 2 月	3						3
計	58	3		3			64

月別建築同意事務処理件数調べ
(藤里町)

月別 \ 建築別	新築	増築	改築	用途変更	移転	模様替	計
1 月							
2 月	1						1
3 月							
4 月							
5 月							
6 月							
7 月							
8 月							
9 月							
1 0 月							
1 1 月							
1 2 月							
計	1						1

(三種町)

月別 \ 建築別	新築	増築	改築	用途変更	移転	模様替	計
1 月							
2 月							
3 月	1						1
4 月							
5 月	1						1
6 月	1						1
7 月	2						2
8 月							
9 月				1			1
1 0 月							
1 1 月	2						2
1 2 月							
計	7			1			8

(八峰町)

月別 \ 建築別	新築	増築	改築	用途変更	移転	模様替	計
1 月							
2 月	1						1
3 月	1						1
4 月							
5 月	1						1
6 月				1			1
7 月	1						1
8 月							
9 月							
1 0 月	1						1
1 1 月	1						1
1 2 月		1					1
計	6	1		1			8

建築同意事務用途別処理状況
(広域)

種類別 \ 建築別			新築	増築	改築	用途変更	移転	模様替	計
専 用 住 宅			22						22
併 用 住 宅			2						2
1	イ	観 覧 場 類							
	ロ	公 会 堂 、 集 会 場 類	3						3
2	イ	キャバレー、カフェ類							
	ロ	遊技場、ダンスホール類							
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗類							
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 類							
3	イ	料 理 店 類							
	ロ	飲 食 店 類							
4		百 貨 店 、 マ ー ケ ッ ト 類	2			1			3
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所類	1						1
	ロ	寄宿所、下宿、共同住宅類	14	1					15
6	イ	病 院 、 診 療 所 類							
	ロ	老 人 福 祉 施 設 類	2						2
	ハ	通 所 施 設 類	1			3			4
	ニ	幼 稚 園 類							
7		小・中・高校、各種学校類	1						1
8		図 書 館 類							
9	イ	熱 気 浴 場 類							
	ロ	公 衆 浴 場 類							
10		車 両 発 着 場 類	1						1
11		神 社 、 寺 院 類							
12	イ	工 場 、 作 業 場 類	4	1					5
	ロ	映画、テレビスタジオ類							
13	イ	車 庫 、 駐 車 場 類	3						3
	ロ	航 空 機 の 格 納 庫 類							
14		倉 庫 類	3	2		1			6
15		全各項に該当しない事業場	13						13
16	イ	複 合 用 途 防 火 対 象 物							
	ロ								
工 作 物 類									
計			72	4		5			81

防火対象物・危険物施設査察状況

(令和6年1月～令和6年12月)

項		防 火 対 象 物 等	実 施 件 数				
			能代市	藤里町	三種町	八峰町	合 計
1	イ	観 覧 場 類	2	1	5		8
	ロ	公 会 堂 、 集 会 場 類	18	7	13	13	51
2	イ	キャバレー、カフェ類					
	ロ	遊技場、ダンスホール類	2			1	3
	ハ	性風俗関連特殊店舗類					
	ニ	カラオケボックス類					
3	イ	料 理 店 類	1	1			2
	ロ	飲 食 店 類	43	1	3	5	52
4		百貨店、マーケット類	16	4	22	7	49
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所類	1	6	8	9	24
	ロ	寄宿所、下宿、共同住宅類	148	1	18	4	171
6	イ	病 院 、 診 療 所 類	4	1	5	2	12
	ロ	老 人 福 祉 施 設 類	15	3	21	5	44
	ハ	通 所 施 設 類	33	10	14	5	62
	ニ	幼 稚 園 類		1			1
7		小・中・高校、各種学校類	47	1	10	3	61
8		図 書 館 類	1	2		1	4
9	イ	熱 気 浴 場 類					
	ロ	公 衆 浴 場 類	1		1	1	3
10		車 両 発 着 場 類					
11		神 社 、 寺 院 類	7	4	1	9	21
12イ		工 場 、 作 業 場 類	209	29	29	53	320
13イ		車 庫 、 駐 車 場 類	16	2	10	4	32
14		倉 庫 類	238	14	89	26	367
15		全各項に該当しない事業場	69	19	5	31	124
16	イ	複 合 用 途 防 火 対 象 物	4	5	22	12	43
	ロ		12	4	16	3	35
17		重 要 文 化 財 類			1		1
18		延長50M以上のアーケード					
危 険 物 施 設			205	14	52	32	303
移 動 タ ン ク 貯 蔵 所 （ 少 量 ）			73 (27)	4 (4)	25 (13)	15 (1)	117 (44)
計			1,165 (27)	134 (4)	370 (13)	241 (1)	1,910 (44)
警察と合同による移動タンク貯蔵所路上立入検査			能代市	藤里町	三種町	八峰町	合 計

危険物関係申請及び届出等受理件数

許可申請別			届 出 別		
給 油 取 扱 所	設 置 許 可		軽微な変更工事届	屋内貯蔵所	
〃	完 成 検 査		〃	屋外タンク貯蔵所	11
〃	変 更 許 可	8	〃	屋内タンク貯蔵所	
〃	変 更 の 完 成 検 査	7	〃	地下タンク貯蔵所	2
一 般 取 扱 所	設 置 許 可		〃	簡易タンク貯蔵所	
〃	完 成 検 査		〃	移動タンク貯蔵所	2
〃	変 更 許 可	4	〃	屋外貯蔵所	
〃	変 更 の 完 成 検 査	4	〃	給油取扱所	31
地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	設 置 許 可	1	〃	販売取扱所	
〃	完 成 検 査	2	〃	一般取扱所	2
〃	変 更 許 可	1	品名・数量又は指定数量の倍数変更	屋内貯蔵所	2
〃	変 更 の 完 成 検 査	1	〃	屋外タンク貯蔵所	
移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	設 置 許 可	4	〃	屋内タンク貯蔵所	
〃	完 成 検 査	4	〃	地下タンク貯蔵所	1
〃	変 更 許 可	4	〃	簡易タンク貯蔵所	
〃	変 更 の 完 成 検 査	4	〃	移動タンク貯蔵所	5
屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	設 置 許 可	1	〃	屋外貯蔵所	
〃	完 成 検 査		〃	給油取扱所	
〃	変 更 許 可		〃	販売取扱所	
〃	変 更 の 完 成 検 査		〃	一般取扱所	1
屋 内 貯 蔵 所	設 置 許 可		譲 渡 引 渡 届	屋内貯蔵所	1
〃	完 成 検 査		〃	屋外タンク貯蔵所	
〃	変 更 許 可		〃	屋内タンク貯蔵所	
〃	変 更 の 完 成 検 査		〃	地下タンク貯蔵所	
屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	設 置 許 可		〃	簡易タンク貯蔵所	
〃	完 成 検 査		〃	移動タンク貯蔵所	4
〃	変 更 許 可		〃	屋外貯蔵所	
〃	変 更 の 完 成 検 査		〃	給油取扱所	3
簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	設 置 許 可		〃	販売取扱所	
〃	完 成 検 査		〃	一般取扱所	
〃	変 更 許 可		廃 止 届	屋内貯蔵所	
〃	変 更 の 完 成 検 査		〃	屋外タンク貯蔵所	3
屋 外 貯 蔵 所	設 置 許 可		〃	屋内タンク貯蔵所	1
〃	完 成 検 査		〃	地下タンク貯蔵所	3
〃	変 更 許 可		〃	簡易タンク貯蔵所	
〃	変 更 の 完 成 検 査		〃	移動タンク貯蔵所	7
販 売 取 扱 所	設 置 許 可		〃	屋外貯蔵所	
〃	完 成 検 査		〃	給油取扱所	2
〃	変 更 許 可		〃	販売取扱所	
〃	変 更 の 完 成 検 査		〃	一般取扱所	4
完 成 検 査 前 検 査	タンク水圧・水張検査	1	名 義 ・ 名 称 等 変 更 届		17
〃	タンク基礎・溶接検査		保 安 監 督 者 選 解 任 届		14
仮 使 用 承 認 申 請		7	火 気 使 用 工 事 届		4
仮 取 扱 承 認 申 請		11	使 用 休 止 ・ 再 開 届		
仮 貯 蔵 承 認 申 請		3	予 防 規 程 制 定 ・ 変 更 認 可 申 請		6
計		67	設 置 ・ 変 更 工 事 中 止 届		
			許 可 申 請 等 取 下 書		
			地下貯蔵タンク等の在庫の管理及び危険物漏洩時の措置に関する計画届出書		
			完 成 検 査 済 証 再 交 付 申 請		2
			規 制 対 象 外 設 備 工 事 届		3
			計		131

市町別危険物施設状況

種別 市町	屋内貯蔵所	屋外貯蔵所	屋内タンク 貯蔵所	移動タンク 貯蔵所	地下タンク 貯蔵所	屋外タンク 貯蔵所	給油取扱所	一般取扱所	第一種販売 取扱所	計	事業所数
能代市	15	1	2	71	64	20	45	48		266	162
藤里町				7	7		4	4		22	16
三種町	1			25	21	7	15	8		77	45
八峰町	2			15	8	6	9	9		49	20
計	18	1	2	118	100	33	73	69		414	243

消防関係法令等に係る申請、届出件数

件 名	件 数				計
	能代市	藤里町	三種町	八峰町	
消 防 用 設 備 等 着 工 届 出	44	0	13	3	60
消 防 用 設 備 等 設 置 届 出	151	3	26	12	192
消 防 用 設 備 等 の 点 検 結 果 報 告 届 出	901	107	220	102	1,330
防 火 管 理 者 選 任 ・ 解 任 届 出	115	5	24	21	165
消 防 計 画 書 届 出	150	7	34	22	213
自 衛 消 防 組 織 設 置 届 出	2	0	0	0	2
防 災 管 理 者 選 任 ・ 解 任 届 出	0	0	0	0	0
防 災 管 理 の 消 防 計 画 届 出	0	0	0	0	0
圧縮アセチレンガス等・貯・廃又は取扱いの届出	25	0	4	0	29
液 化 石 油 ガ ス 意 見 書 交 付 申 請	0	0	0	0	0
火 薬 庫 設 置 に 関 す る 同 意 願	0	0	0	0	0
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届 出	53	6	11	5	75
少量危険物・貯蔵取扱所の設置・廃止届出	36	2	4	6	48
少 量 危 険 物 等 タ ン ク 検 査 申 請	0	0	0	0	0
指定可燃物貯蔵・取扱い設置・廃止届出	8	0	0	0	8
火を使用する設備等の設置・廃止届出	15	0	5	2	22
変 電 ・ 発 電 ・ 蓄 電 池 設 備 設 置 届 出	23	1	4	3	31
水素ガスを充填する気球の設置届出	0	0	0	0	0
ネ オ ン 管 等 設 備 設 置 届 出	0	0	0	0	0
禁 止 行 為 の 解 除 承 認 申 請	5	0	0	0	5
防 火 対 象 物 定 期 点 検 結 果 報 告 届 出	62	1	18	0	81
防 災 管 理 点 検 結 果 報 告 書	3	0	0	0	3
火 災 と ま ぎ ら わ し い 煙 届 出	17	4	17	0	38
煙 火 打 ち 上 げ ・ 仕 掛 け 届 出	15	1	5	1	22
催 物 開 催 届 出	8	4	2	0	14
露 店 等 の 開 設 届 出	86	5	11	4	106
上 水 道 断 水 届 出	0	0	0	0	0
道 路 工 事 届 出	250	5	43	24	322
放 射 性 物 質 等 の 貯 蔵 取 扱 い 届 出	0	0	0	0	0
合 計	1,969	151	441	205	2,766

警 防 関 係

消防機械器具配置状況及び性能表

署別の配置状況表

No.	車両別 署名	計	消防 ポンプ自動車	消防ポンプ 自動車 (CAFS付)	水槽付消防 ポンプ自動車	水槽付消防ポ ンプ自動車 (CAFS付)	はしご付消防 ポンプ自動車	化学消防 ポンプ自動車	救助工作車	高規格 救急自動車	指揮車	指令車 広報車	災害機動 搬送車	救助艇等
1	能代消防署	13	1	0	0	0	1	1	1	2	1	4	1	1
	東能代出張所	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	向能代出張所	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
	西消防出張所	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	小 計	19	1	1	1	1	1	1	1	4	1	4	1	2
2	二ツ井消防署	5	1	0	0	1	0	0	0	1	0	2	0	0
	藤里分署	3	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
	小 計	8	1	1	0	1	0	0	0	2	0	3	0	0
3	三種消防署	6	0	1	1	0	0	0	1	2	0	1	0	0
	上岩川分署	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小 計	7	0	2	1	0	0	0	1	2	0	1	0	0
4	八峰消防署	4	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0
合 計		38	2	5	3	2	1	1	2	9	1	9	1	2

能代消防署内訳(計19台)

令和6年12月31日現在

No.	車 名	車 種	タンク容量	ポンプ性能	総排気量	馬 力	最大放水量	乗車定員	登録年月	登録年月	経過年	摘 要
			(ℓ)	(級別)	(cc)	(Ps)	(m ³ /min)	(名)				
1	普通1号車(CD-Ⅰ型)	日野		A-2	4,000	150	2.1	6	H22.10.15	平成22年10月	14年 2か月	
2	普通2号車(CD-Ⅰ型)	日野	800	A-2	4,000	150	2.3	5	H25.11.14	平成25年11月	11年 1か月	キャブス装置付
3	タンク1号車(化学Ⅱ型)	日野	水 1,500 泡 500	A-2	5,120	240	2.4	6	R2.1.20	令和2年1月	4年 11か月	キャブス装置付 緊急消防援助隊登録車両
4	タンク3号車(Ⅱ型)	日野	2,000	A-2	5,120	240	2.4	6	R5.12.5	令和5年12月	1年 0か月	キャブス装置付 緊急消防援助隊登録車両
5	タンク4号車(Ⅱ型)	日野	2,000	A-2	7,960	220	2.2	6	H14.11.26	平成14年11月	22年 1か月	
6	救助工作車(Ⅱ型)	日野			6,400	220		5	H24.3.26	平成24年3月	12年 9か月	緊急消防援助隊登録車両
7	はしご車(35m)	日野		A-2	8,860	380	2.1	6	H30.12.11	平成30年12月	6年 0か月	緊急消防援助隊登録車両
8	救急1号車(高規格)	トヨタ			2,690	151		7	H27.9.28	平成27年9月	9年 3か月	
9	救急2号車(高規格)	トヨタ			2,690	160		7	R3.10.27	令和3年10月	3年 2か月	緊急消防援助隊登録車両
10	救急3号車(高規格)	トヨタ			2,690	160		7	R2.10.28	令和2年10月	4年 2か月	緊急消防援助隊登録車両
11	救急4号車(高規格)	トヨタ			2,690	151		7	H23.12.21	平成23年12月	13年 0か月	寄贈・予備車
12	指令1号車	日産			1,590	109		5	H21.7.31	平成21年7月	15年 5か月	
13	指令2号車	日産			1,590	109		5	H22.9.1	平成22年9月	14年 4か月	
14	指令3号車	トヨタ			4,160	135		5	H8.4.12	平成8年4月	28年 8か月	寄贈
15	多目的車	トヨタ			2,690	160		10	H23.10.11	平成23年10月	13年 2か月	所管替え
16	指揮隊車	トヨタ			2,690	160		5	R3.3.5	令和3年3月	3年 9か月	緊急消防援助隊登録車両
17	災害機動搬送車	いすゞ			2,990	150		3	H26.9.30	平成26年9月	10年 3か月	緊急消防援助隊登録車両
18	救助艇1	アキレスゴムボート			747	30		6	H13.6.6	平成13年6月	23年 6か月	船外機:ヤマハF30AWHD
19	救助艇2	アキレスゴムボート			246	15		6	H18.6.28	平成18年6月	18年 6か月	船外機:ヤマハ15FEMH(L)

二ツ井消防署内訳(8台)

No.	車 名	車 種	タンク容量	ポンプ性能	総排気量	馬 力	最大放水量	乗車定員	登録年月	登録年月	経過年	摘 要
			(ℓ)	(級別)	(cc)	(Ps)	(m ³ /min)	(名)				
1	タンク1号車(Ⅱ型)	日野	2,000	A-2	6,400	220	2.4	6	H28.12.5	平成28年12月	8年 0か月	キャブス装置付 緊急消防援助隊登録車両
2	普通1号車(CD-Ⅰ型)	日野		A-2	4,000	150	2.0	6	H17.9.16	平成17年9月	19年 3か月	
3	救急1号車(高規格)	トヨタ			2,690	118		7	R5.9.22	令和5年9月	1年 3か月	
4	指令1号車	ダイハツ			650	64		4	R2.10.26	令和2年10月	4年 2か月	
5	指令2号車	日産			2,480	130		8	H25.10.29	平成25年10月	11年 2か月	

6	藤里普通1号車(CD-Ⅰ型)	日野	600	A-2	4,000	150	2.3	6	H20.11.7	平成20年11月	16年 1か月	キャブス装置付
7	藤里指令1号車	ダイハツ			650	64		4	R2.10.26	令和2年10月	4年 2か月	
8	藤里救急1号車(高規格)	トヨタ			2,690	160		7	R3.10.27	令和3年10月	3年 2か月	

三種消防署内訳(7台)

No.	車 名	車 種	タンク容量	ポンプ性能	総排気量	馬 力	最大放水量	乗車定員	登録年月	登録年月	経過年	摘 要
			(ℓ)	(級別)	(cc)	(Ps)	(m³/min)	(名)				
1	普通1号車(CD-Ⅰ型)	日野	800	A-2	4,000	150	2.4	5	H27.10.16	平成27年10月	9年 2か月	キャブス装置付
2	タンク1号車(Ⅱ型)	日野	2,000	A-2	7,960	220	2.1	6	H16.2.17	平成16年2月	20年 10か月	
3	救助工作車(Ⅰ型)	いすゞ			4,570	130		6	H12.3.23	平成12年3月	24年 9か月	
4	救急1号車(高規格)	トヨタ			2,690	160		7	R4.10.13	令和4年10月	2年 2か月	
5	救急2号車(高規格)	トヨタ			2,690	151		7	H28.8.26	平成28年8月	8年 4か月	
6	指令2号車	日産			2,950	130		8	H22.9.29	平成22年9月	14年 3か月	
7	上岩川普通1号車(CD-Ⅰ型)	日野	600	A-2	4,009	150	2.4	5	R5.3.8	令和5年3月	1年 9か月	キャブス装置付 緊急消防援助隊登録車両

八峰消防署内訳(4台)

No.	車 名	車 種	タンク容量	ポンプ性能	総排気量	馬 力	最大放水量	乗車定員	登録年月	登録年月	経過年	摘 要
			(ℓ)	(級別)	(cc)	(Ps)	(m³/min)	(名)				
1	普通1号車(CD-Ⅰ型)	日野	600	A-2	4,000	150	2.3	6	H20.11.7	平成20年11月	16年 1か月	キャブス装置付
2	タンク1号車(Ⅱ型)	いすゞ	2,000	A-2	5,190	210	2.1	6	H24.10.26	平成24年10月	12年 2か月	
3	救急1号車(高規格)	トヨタ			2,690	151		7	H26.9.29	平成26年9月	10年 3か月	
4	指令1号車	トヨタ			1,490	109		5	H17.7.22	平成17年7月	19年 5か月	

機械器具保有状況

(1) 各車保有照明資機材(積載固定含)

署別の保有数表

No.	内 訳 署 名	積載車両数	発電機数	投光器数
1	能代消防署	8	14	17
2	二ツ井消防署	2	3	3
3	三種消防署	4	5	5
4	八峰消防署	2	2	3
計		16	24	28

能代消防署内訳(計9台)

No.	車 両 名	発 電 機		投 光 器
1	普通1号車(CD-Ⅰ型)	0.9kVA×1機		150w×1器(メタハラ)
2	普通2号車(CD-Ⅰ型)	0.9kVA×1機		175w×1器(メタハラ)
3	タンク1号車(化学Ⅱ型)	1.6kVA×1機		90w×4灯×1器(LED)、10w×1灯×2器(LED)
4	タンク3号車(Ⅱ型)	1.6kVA×1機		90w×4灯×1器(LED)、10w×1器(LED)
5	タンク4号車(Ⅱ型)	2.8kVA×1機		400w×2球×1器(メタハラ)、10w×1器(LED)
6	救助工作車(Ⅱ型)	10.0kVA×1機	0.9kVA×1機	1, 200w×2球×1器(メタハラ)、75w×2球×1器(キセノン)
7	はしご車(35m)	1.6kVA×2機		160w(LED)×2器、220w(LED)×2器、65w(LED)×3灯×1器
8	指揮隊車	0.9kVA×1機		38.4w×3灯×1器(LED)
-	(予備)	0.9kVA×3機	2.8kVA×1機	

二ツ井消防署内訳(2台)

No.	車 両 名	発 電 機	投 光 器
1	タンク1号車(Ⅱ型)	0.9kVA×1機	225W×1器、90W×4球×1器(LED)
2	藤里普通1号車(CD-Ⅰ型)	0.9kVA×1機	500w×1器
-	(予備)	0.5kVA×1機	

三種消防署内訳(4台)

No.	車 両 名	発 電 機	投 光 器
1	普通1号車(CD-Ⅰ型)	0.9kVA×1機	175w×1器(メタハラ)
2	タンク1号車(Ⅱ型)	2.8kVA×1機、0.9kVA×1機	400w×2球×1器(メタハラ)、400w×1器(メタハラ)
3	救助工作車(Ⅰ型)	0.9kVA×1機	500w×1器
4	上岩川普通1号車(CD-Ⅰ型)	1.6kVA×1機	345.6wh×1器(nomad360)

八峰消防署内訳(2台)

No.	車 両 名	発 電 機	投 光 器
1	普通1号車(CD-Ⅰ型)	0.9kVA×1機	150w×1器(メタハラ)
2	タンク1号車(Ⅱ型)	0.9kVA×1機	400w×2灯×1器(LED)、10w×1器(LED)

(2) 林野火災用保有機械器具の署別保有状況

No.	内 訳 署 名	小型動力ポンプ	40mmホース	ジェットシューター	用具一式
1	能代消防署	1	21	14	1
	東能代出張所	0	16	3	1
	向能代出張所	0	12	3	1
	西消防出張所	0	16	3	1
	小 計	1	65	23	4
2	二ツ井消防署	0	30	17	0
	藤里分署	0	16	10	0
	小 計	0	46	27	0
3	三種消防署	0	34	14	0
	上岩川分署	0	3	4	0
	小 計	0	37	18	0
4	八峰消防署	0	32	12	2
合 計		1	180	80	6

救助資器材保有状況

令和6年12月31日現在

救 助 活 動 の た め の 機 械 器 具														救 助 活 動 の た め の 機 械 器 具													
保有機械器具			本部計	能代	東能代	向能代	西	二ツ井	藤里	三種	上岩川	八峰	保有機械器具			本部計	能代	東能代	向能代	西	二ツ井	藤里	三種	上岩川	八峰		
一般救助用器具	かぎ付はしご		2	2									隊員保護用器具	耐電手袋		17	7	1	1	1	2	1	2		2		
	三連はしご		13	3	1	1	1	2		2	1	2		耐電衣		7	5						2				
	金属製折りたたみはしご		1	1										耐電ズボン		7	5						2				
	空気式救助マット		2	1						1				耐電長靴		9	5				2		2				
	救命索発射銃		2	2										耐熱服		2	2										
	救助用縛帯		15	7				3		3		2		化学防護服		8	8										
	平担架		3	1				1		1				防毒衣		71	71										
重量物排除用器具	油圧ジャッキ		3	1						2			水難救助用器具	防毒マスク		40	22	3	3		3	3	3		3		
	油圧スプレッダー		1	1										放射線防護服		7	7										
	可搬ウインチ		7	3				1		2		1		潜水器具		9	9										
	マット型空気ジャッキ		2	1						1				潜水用空気ボンベ	14 ^{リットル}	2	2										
	大型油圧スプレッダー		7	1				1	1	2	1	1			10 ^{リットル}	17	17										
	マンホール救助器具		3	2						1				救命胴衣		114	37	3	5	9	22	6	13	3	16		
	救助用支柱器具		1	1										スローバック		25	17				4	1	1		2		
切断用器具	チェーンブロック		1	1									水中投光器		10	7						3					
	油圧切断器具		2	2									救命浮環		23	5	1	3	3	3		3	1	4			
	エンジンカッター		13	3	1	1	1	1	1	2	1	2	浮標		3	1						2					
	ガス溶断機		2	1				1					救助艇		2	1			1								
	チェーンソー		14	3	1	1	1	1	1	3	1	2	船外機		3	1			1			1					
	鉄線カッター		28	6	3	2	1	4		7	1	4	ラフティングボート		1	1											
	空気鋸		2	1						1			水中スクーター		4	4											
破壊用器具	大型油圧切断機		2	1						1			担架用浮環		1	1											
	切断機		3	2								1	登山器具		5	5											
	万能斧		28	10			1	5	1	5	2	4	バスケット型担架		8	4				1	1	1		1			
	ハンマー		14	5				3	1	3	1	1	山岳救助用ウインチ		1	1											
	携帯コンクリート破壊器具		3	1	1					1			スノーシュー		23	10				5	3			5			
	削岩機		1	1									プローブ(ゾンデ棒)		25	11				5	3	3		3			
測定用器具	ハンマドリル		3	2				1					その他の救助用器具	投光器		25	10	1	2	1	2	2	4	1	2		
	可燃性ガス測定器		8	2	1	1	1	1		1		1		携帯投光器		67	28	6	6	2	12	2	6	5			
	有毒ガス測定器		8	2	1	1	1	1		1		1		携帯拡声器		41	14	2	3	1	7	2	6	1	5		
	酸素濃度測定器		8	2	1	1	1	1		1		1		携帯無線機		66	27	3	3	2	9	4	10	2	6		
	測放射器線	空間線量計	6	6											簡易無線機		24	24									
		表面線量計	2	2											緩降機		2	2									
個人用線量計		28	28											ロープ登降機		4	2				2						
呼吸保護用器具	空気呼吸器		70	28	2	2	2	12	3	10	4	7		車両移動器具		3	1							1		1	
	空気呼吸器用ボンベ	8.6 ^{リットル}	56	10					13	2	18			13	救助用安全マット		6	3				1		1		1	
		6.8 ^{リットル}	70	42					3	6	5	8		6	除染剤散布器		1	1									
	簡易呼吸器		2	2											除染シャワー(テント含む)		1	1									
送排風機		3	2							1				熱画像直視装置		6	2		1		1		1		1		

消防自動車等出場状況
能代消防署

() 内台数

種別 \ 月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
建 物 火 災	1 (8)	1 (1)		2 (21)			1 (14)	1 (13)	1 (10)			1 (11)	8 (78)
林 野 火 災													0 (0)
車 両 火 災													0 (0)
その他の火災													0 (0)
電気・ガス・油 関 係 事 故	2 (2)	1 (1)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (4)			1 (1)	4 (9)	2 (2)	17 (24)
地 震 災 害 風 水 害	2 (3)				2 (2)	1 (1)						4 (7)	9 (13)
各種事故・救助 (車両・その他)	1 (4)	2 (4)	6 (21)	1 (2)	2 (11)	2 (8)	1 (3)	1 (4)	2 (4)	1 (4)	1 (4)	1 (4)	21 (73)
各種事故・救助 (救助艇)													0 (0)
他市町村応援													0 (0)
誤 報 (認)			1 (1)										1 (1)
そ の 他	4 (12)	8 (17)	6 (13)	4 (8)	4 (15)	4 (12)	3 (3)	4 (16)	2 (2)	4 (5)		3 (3)	46 (106)
計	10 (29)	12 (23)	15 (37)	8 (32)	9 (29)	8 (22)	7 (24)	6 (33)	5 (16)	6 (10)	5 (13)	11 (27)	102 (295)

ニツ井消防署

() 内台数

種別 \ 月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
建 物 火 災													0 (0)
林 野 火 災				1 (7)									1 (7)
車 両 火 災													0 (0)
その他の火災				1 (8)									1 (8)
電気・ガス・油 関 係 事 故	2 (2)			1 (1)		1 (1)						1 (1)	5 (5)
地 震 災 害 風 水 害													0 (0)
各種事故・救助 (車両・その他)	1 (5)	1 (6)			2 (7)						1 (4)		5 (22)
各種事故・救助 (救助艇)													0 (0)
他市町村応援													0 (0)
誤 報 (認)							1 (7)		1 (7)				2 (14)
そ の 他		1 (1)		1 (2)		1 (3)					1 (1)		4 (7)
計	3 (7)	2 (7)	0 (0)	4 (18)	2 (7)	2 (4)	1 (7)	0 (0)	1 (7)	0 (0)	2 (5)	1 (1)	18 (63)

三種消防署

() 内台数

月別 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
建 物 火 災				3 (34)						1 (8)	1 (7)		5 (49)
林 野 火 災			1 (7)										1 (7)
車 両 火 災													0 (0)
その他の火災				1 (5)									1 (5)
電気・ガス・油 関 係 事 故			2 (2)	1 (1)				1 (1)			1 (1)		5 (5)
地 震 災 害 風 水 害													0 (0)
各種事故・救助 (車両・その他)	2 (12)		2 (13)	3 (11)		2 (10)	1 (7)		1 (4)	1 (6)	1 (6)		13 (69)
各種事故・救助 (救助艇)													0 (0)
他市町村応援													0 (0)
誤 報 (認)													0 (0)
そ の 他			2 (4)	2 (7)	2 (7)	3 (9)	1 (7)	2 (9)	4 (6)		2 (7)		18 (56)
計	2 (12)	0 (0)	7 (26)	10 (58)	2 (7)	5 (19)	2 (14)	3 (10)	5 (10)	2 (14)	5 (21)	0 (0)	43 (191)

八峰消防署

() 内台数

月別 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
建 物 火 災	1 (7)					1 (8)							2 (15)
林 野 火 災													0 (0)
車 両 火 災													0 (0)
その他の火災													0 (0)
電気・ガス・油 関 係 事 故	1 (1)	1 (1)											2 (2)
地 震 災 害 風 水 害	1 (1)												1 (1)
各種事故・救助 (車両・その他)						1 (6)				1 (6)	1 (5)		3 (17)
各種事故・救助 (救助艇)											1 (9)		1 (9)
他市町村応援													0 (0)
誤 報 (認)							1 (7)						1 (7)
そ の 他			1 (1)	1 (1)		3 (6)			2 (12)		1 (1)		8 (21)
計	3 (9)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	5 (20)	1 (7)	0 (0)	2 (12)	1 (6)	3 (15)	0 (0)	18 (72)

ポンプ自動車の道路運行及び所要時間状況

能代地区(能代消防署起点)

区 分 分団名	自治会名	署からの距離	所要時間	道路区分
第3分団	向 能 代	3.4 km	約 5 分	国 道
	緑 ケ 丘	3.8 km	約 6 分	市 道
	向 ケ 丘	4.0 km	約 7 分	〃
	東 雲 二 区	5.5 km	約 8 分	県 道
	拓 友	7.5 km	約 11 分	〃
	落 合	4.5 km	約 6 分	国 道
	比 八 田	12.0 km	約 16 分	県 道
	鳥 形	11.5 km	約 15 分	市 道
	外 荒 巻	13.0 km	約 18 分	〃
	吹 越	6.5 km	約 9 分	県 道
	真 壁 地	6.0 km	約 9 分	〃
	荷 八 田	7.0 km	約 10 分	〃
	朴 瀬	6.5 km	約 10 分	〃
	築 法 師	8.4 km	約 12 分	市 道
	産 物	8.0 km	約 12 分	県 道
	丑 越	8.5 km	約 12 分	市 道
	藤 切 台	10.0 km	約 14 分	〃
	須 田	6.5 km	約 9 分	国 道
	竹 生	8.0 km	約 11 分	市 道
	栗 山	9.0 km	約 13 分	〃
	小 土	9.5 km	約 14 分	〃
第4分団	坊 ケ 崎	3.0 km	約 5 分	県 道
	大 内 田	3.5 km	約 5 分	〃
	田 屋・塩 干 田	4.5 km	約 6 分	市 道
	柏 子 所	5.0 km	約 7 分	〃
第5分団	河 戸 川	6.5 km	約 5 分	〃
	浅 内	5.0 km	約 7 分	〃
	中 浅 内	6.0 km	約 8 分	〃
	浜 浅 内	7.0 km	約 8 分	〃
	寒 川	7.0 km	約 10 分	〃
	石 丁	7.5 km	約 10 分	国 道
	福 田	8.5 km	約 12 分	〃
	成 合	9.5 km	約 13 分	〃
	黒 岡	10.0 km	約 14 分	市 道
	茨 嶋 山	9.0 km	約 12 分	〃
	相 染 森	4.5 km	約 6 分	県 道
	小 野 沢	7.5 km	約 10 分	市 道

区 分 分団名	自治会名	署からの距離	所要時間	道路区分
第6分団	久 喜 沢	10.0 km	約 14 分	県 道
	轟	10.0 km	約 14 分	〃
	四 日 市 ・ 槐	10.5 km	約 15 分	〃
	常 盤	12.5 km	約 17 分	〃
	荊 橋 ・ 魔 面	13.0 km	約 18 分	〃
	天 内	15.0 km	約 19 分	〃
	外 割 田	15.0 km	約 19 分	〃
	棚 木 岱	16.5 km	約 21 分	〃
	砂 子 田	17.0 km	約 22 分	〃
	山 谷	18.0 km	約 23 分	〃
	大 柄	21.5 km	約 29 分	〃
	豊 栄	13.5 km	約 19 分	〃
	国 見	14.0 km	約 20 分	〃
第7分団	仁井田・煉瓦場	3.0 km	約 4 分	市 道
	機 織	3.5 km	約 5 分	〃
	鰯 渕 ・ 中 嶋	4.5 km	約 7 分	〃
	道 地	5.5 km	約 8 分	〃
	扇 田	6.0 km	約 9 分	〃
	樋 口	6.5 km	約 9 分	〃
	獺 野	7.0 km	約 10 分	〃
	四 ツ 屋	7.7 km	約 11 分	〃
	桧 山	10.0 km	約 14 分	県 道
	新 屋 敷	11.0 km	約 15 分	〃
	中 母 体	11.0 km	約 15 分	〃
	上 母 体	12.0 km	約 17 分	〃
	小 沢 口	12.8 km	約 18 分	〃
	羽 立	15.0 km	約 21 分	〃
	田 床 内	8.0 km	約 11 分	市 道
	新 田	6.2 km	約 9 分	〃
	今 泉	7.5 km	約 11 分	〃
	下 中 沢	8.5 km	約 12 分	〃
	上 中 沢	9.0 km	約 12 分	〃
	犬 伏	9.5 km	約 13 分	〃
	赤 坂	13.0 km	約 16 分	県 道
	大 森	14.0 km	約 17 分	〃
	谷 地	7.0 km	約 10 分	〃
	金 拓	7.5 km	約 11 分	〃
	鶴 形	9.0 km	約 12 分	市 道

二ツ井地区(二ツ井消防署起点)

区 分 分団名	自治会名	署からの距離	所要時間	道路区分
第8分団	二 ツ 井 第 1 区	1. 2 km	約 2 分	市 道
	〃 第 2 区	1. 4 km	約 3 分	〃
	〃 第 3 区	1. 0 km	約 2 分	県 道
	〃 第 4 区	0. 5 km	約 1 分	〃
	〃 第 5 区	1. 0 km	約 2 分	市 道
	〃 第 6 区	1. 2 km	約 2 分	〃
	〃 第 7 区	1. 4 km	約 3 分	〃
	〃 第 8 区	1. 1 km	約 2 分	〃
	〃 第 9 区	1. 2 km	約 2 分	〃
	〃 第 1 0 区	0. 8 km	約 1 分	〃
	〃 第 1 1 区	1. 1 km	約 2 分	〃
	〃 第 1 2 区	1. 2 km	約 2 分	〃
	〃 第 1 3 区	0. 9 km	約 2 分	〃
	上 山 崎	1. 7 km	約 3 分	〃
	下 田 平	7. 4 km	約 12 分	〃
	麻 生	6. 0 km	約 9 分	〃
	小 繫	4. 1 km	約 6 分	〃
	荷 上 場 御 倉 町	1. 6 km	約 4 分	〃
	〃 仲 町	1. 8 km	約 4 分	〃
	〃 八 幡 町	1. 8 km	約 4 分	〃
	〃 下 町	2. 0 km	約 4 分	〃
	〃 町 館 1	2. 4 km	約 8 分	〃
	〃 町 館 2	2. 2 km	約 7 分	〃
	〃 館 ノ 下	3. 0 km	約 5 分	県 道
	〃 関 口	3. 3 km	約 7 分	〃
	〃 グ ミ ノ 木	4. 9 km	約 10 分	〃
	種 上 町	3. 1 km	約 4 分	〃
	〃 寺 町 1	3. 1 km	約 5 分	市 道
	〃 寺 町 2	3. 0 km	約 4 分	〃
	〃 下 町	2. 7 km	約 4 分	県 道
	〃 樋 ノ 口	4. 2 km	約 6 分	市 道
	梅 内 前 町	4. 8 km	約 6 分	県 道
	〃 後 町	4. 9 km	約 7 分	市 道
	〃 田 ノ 沢	7. 5 km	約 9 分	〃
	〃 大 浏 泥 ノ 木	8. 3 km	約 10 分	〃
	〃 馬 子 岱	9. 4 km	約 12 分	〃
	〃 黒 瀬	11. 0 km	約 14 分	〃
	〃 外 面	2. 8 km	約 4 分	県 道
	〃 鎌 谷	4. 2 km	約 7 分	〃
	〃 梅 内 悪 戸	6. 2 km	約 9 分	〃

区 分 分団名	自治会名	署からの距離	所要時間	道路区分
第9分団	富 根 羽 立 1	8.0 km	約 9 分	県 道
	〃 羽 立 2	8.1 km	約 9 分	市 道
	〃 羽 立 3	7.9 km	約 9 分	〃
	〃 羽 立 新 田	9.3 km	約 10 分	〃
	〃 昭 和 新 田	9.7 km	約 11 分	〃
	〃 上 部 1	6.6 km	約 7 分	〃
	〃 上 部 2	6.5 km	約 7 分	県 道
	〃 上 部 3	6.6 km	約 7 分	〃
	〃 上 部 4	6.0 km	約 6 分	市 道
	〃 下 部 1	7.1 km	約 8 分	国 道
	〃 下 部 2	6.9 km	約 8 分	市 道
	〃 下 部 3	6.8 km	約 7 分	県 道
	〃 下 部 4	7.2 km	約 8 分	〃
	駒 形	6.4 km	約 9 分	〃
	矢 崎	6.7 km	約 9 分	市 道
	大 林	5.4 km	約 7 分	〃
	富 田	7.3 km	約 8 分	〃
	小 掛 1 区	3.9 km	約 7 分	〃
	〃 2 区	4.0 km	約 7 分	〃
	揚 石	7.2 km	約 12 分	〃
	田 代 第 1 区	12.4 km	約 20 分	〃
	〃 第 2 区	13.7 km	約 21 分	県 道
	〃 第 3 区	14.1 km	約 22 分	市 道
	〃 第 4 区	15.0 km	約 22 分	〃
	〃 第 5 区	15.7 km	約 24 分	〃
	〃 第 6 区	16.1 km	約 25 分	〃
	〃 第 7 区	16.7 km	約 26 分	県 道
	濁 川	13.6 km	約 22 分	市 道
	釜 谷	15.7 km	約 26 分	〃
	切 石 第 1 区	1.8 km	約 3 分	市 道
	〃 第 2 区	1.8 km	約 3 分	〃
	〃 第 3 区	1.9 km	約 3 分	〃
	〃 第 4 区	2.1 km	約 4 分	〃
	〃 第 5 区	2.3 km	約 3 分	県 道
	仁 鮒 大 町	2.1 km	約 3 分	市 道
	〃 新 町	2.1 km	約 3 分	〃
	〃 横 町	2.3 km	約 3 分	〃
	〃 立 町	2.6 km	約 4 分	県 道
	〃 新 丁	1.8 km	約 3 分	市 道
	〃 中 台	1.4 km	約 2 分	〃
	鬼 神	4.8 km	約 6 分	〃
	荻 又 石	5.6 km	約 11 分	〃

藤里地区（藤里分署起点）

区 分 分団名	自治会名	分署からの距離	所要時間	道路区分
第 1 分団	藤 琴（役 場）	1 . 0 k m	約 2 分	町 道
	馬 坂	2 . 4 k m	約 3 分	県 道
	出 戸 小 比 内	2 . 9 k m	約 3 分	町 道
	中 小 比 内 区	4 . 2 k m	約 4 分	〃
	松 倉	6 . 3 k m	約 8 分	〃
	幸 町	1 . 6 k m	約 3 分	〃
	清 水 岱	2 . 3 k m	約 4 分	〃
	院 内 岱	2 . 6 k m	約 4 分	〃
第 2 分団	大 沢	2 . 6 k m	約 3 分	〃
	嘉 平 岱	4 . 2 k m	約 5 分	〃
	名 不 知	7 . 1 k m	約 9 分	〃
	大 川 目	7 . 5 k m	約 1 1 分	〃
第 3 分団	粕 毛	0 . 4 k m	約 2 分	〃
	真 土	2 . 7 k m	約 4 分	〃
	薄 井 沢	1 . 6 k m	約 2 分	〃
	矢 坂	3 . 0 k m	約 3 分	〃
	如 来 瀬	3 . 3 k m	約 3 分	県 道
第 4 分団	長 瀬	4 . 0 k m	約 5 分	町 道
	谷 地	5 . 1 k m	約 6 分	〃
	米 田	5 . 5 k m	約 7 分	〃
	下 根 城	6 . 1 k m	約 8 分	〃
	根 城 岱	6 . 5 k m	約 9 分	〃
	熊 の 岱	7 . 2 k m	約 1 0 分	〃
	中 畑	8 . 0 k m	約 8 分	〃
	上 畑	8 . 2 k m	約 1 2 分	〃
	卷 端 家	8 . 1 k m	約 1 2 分	〃
	長 場 内	8 . 9 k m	約 1 5 分	〃
	萱 沢	4 . 6 k m	約 5 分	〃
	室 岱	5 . 4 k m	約 6 分	〃
	大 野 岱	7 . 0 k m	約 1 0 分	〃
	素 波 里	1 3 . 3 k m	約 1 6 分	〃
第 5 分団	一 の 渡	4 . 7 k m	約 5 分	〃
	坊 中	5 . 6 k m	約 6 分	〃
	田 中	6 . 2 k m	約 7 分	〃
	寺 屋 敷	6 . 4 k m	約 7 分	〃
	高 石 沢	5 . 1 k m	約 5 分	〃
	湯 の 沢	5 . 6 k m	約 5 分	〃
	滝 の 沢	6 . 7 k m	約 7 分	県 道
	ゆとりあ藤里	5 . 8 k m	約 8 分	町 道
	金 沢	9 . 6 k m	約 1 0 分	県 道
	真 名 子	1 1 . 3 k m	約 1 3 分	〃
	向 真 名 子	1 1 . 4 k m	約 1 4 分	町 道
	横 倉	1 3 . 3 k m	約 1 7 分	〃
	一 の 坂	1 2 . 0 k m	約 1 4 分	〃

琴丘地区（三種消防署起点）

区 分 分団名	部	自治会名	署からの距離	所 要 時 間	道路区分
第 1 分団	琴丘第 1 部	鹿 渡	6 . 1 km	約 6 分	国 道
		山 谷	8 . 4 km	約 8 分	〃
		猿 田	1 0 . 3 km	約 9 分	県 道
		八 幡 越 ・ 川 藤	7 . 5 km	約 8 分	町 道
		館 村 ・ 中 沢	7 . 1 km	約 7 分	〃
	琴丘第 2 部	新 屋 敷	4 . 5 km	約 4 分	〃
		浜 村	5 . 0 km	約 5 分	〃
		泉 沢 ・ 長 信 田	6 . 8 km	約 7 分	町 道
		牡 丹	3 . 3 km	約 4 分	国 道
		高 屋 敷 ・ 中 羽 根	6 . 6 km	約 7 分	町 道
		新 町 ・ 千 刈 田	5 . 5 km	約 6 分	〃
第 2 分団	琴丘第 3 部	浜 鯉 川	1 0 . 6 km	約 1 0 分	国 道
	琴丘第 4 部	天 瀬 川	1 3 . 0 km	約 1 2 分	国 道
	琴丘第 5 部	川 岱	1 4 . 1 km	約 1 3 分	町 道
		市 野 ・ 種 沢	1 5 . 2 km	約 1 5 分	〃
		小 谷 沢	1 4 . 9 km	約 1 4 分	〃
	琴丘第 6 部	内 鯉 川	1 1 . 3 km	約 1 0 分	〃
第 3 分団	琴丘第 7 部	二 本 杉	1 3 . 8 km	約 1 3 分	県 道
		砂 子 沢	1 4 . 3 km	約 1 5 分	〃
		鰯 渕	1 5 . 5 km	約 1 6 分	〃
		増 浦	1 6 . 7 km	約 1 7 分	〃
		入 通	1 8 . 4 km	約 1 8 分	〃
	琴丘第 8 部	落 合	1 5 . 0 km	約 1 5 分	〃
	琴丘第 9 部	勝 平 ・ 新 屋 敷	1 6 . 7 km	約 1 8 分	〃
		羽 立 ・ 小 新 沢	1 8 . 6 km	約 1 9 分	〃

峰浜地区 （八峰消防署起点）

区 分 分団名	自治会名	署からの距離	所要時間	道路区分
第1分団	水 沢	4. 0 km	約 6 分	県 道
	カ ッ チ キ 台	3. 5 km	約 5 分	国 道
	駅 前	3. 5 km	約 5 分	県 道
	三 ツ 森	4. 0 km	約 6 分	町 道
	上 高 野 ヲ	4. 5 km	約 7 分	県 道
	下 高 野 ヲ	4. 0 km	約 6 分	国 道
第2分団	目 名 湯	2. 0 km	約 3 分	県 道
	萩 の 台	2. 5 km	約 3 分	〃
	蝦 夷 倉	0. 2 km	約 1 分	町 道
第3分団	田 中	5. 5 km	約 8 分	〃
	大 土 面	5. 0 km	約 7 分	国 道
	沼 田	7. 0 km	約 9 分	〃
第4分団	岩 子	4. 5 km	約 7 分	町 道
	大 槻 野	4. 0 km	約 5 分	〃
	大 久 保 岱	7. 5 km	約 9 分	〃
	手 這 坂	8. 0 km	約 11 分	〃
	大 岱	9. 5 km	約 13 分	〃
第5分団	石 川	9. 5 km	約 14 分	県 道
	大 野	10. 5 km	約 16 分	〃
	稲 子 沢	10. 0 km	約 15 分	〃
	外 林	8. 5 km	約 13 分	町 道
第6分団	塙	6. 5 km	約 8 分	〃
	大 信 田	7. 5 km	約 9 分	〃
第7分団	大 沢	7. 0 km	約 9 分	県 道
	横 内	6. 5 km	約 8 分	町 道
	仲 村	7. 0 km	約 8 分	〃
	小 手 萩	8. 5 km	約 13 分	〃
	内 荒 巻	9. 5 km	約 14 分	〃
第8分団	畑 谷	6. 5 km	約 8 分	県 道
	上 畑 谷	6. 5 km	約 8 分	町 道
	内 坂	4. 5 km	約 6 分	〃
	強 坂	7. 0 km	約 8 分	〃

※ ウトウ坂下は自治会区分としている。

八森地区 （八峰消防署起点）

区 分 分団名	自治会名	署からの距離	所要時間	道路区分
第 9 分団	八 森	1 . 5 km	約 3 分	町 道
第 1 0 分団	浜 田	3 . 0 km	約 4 分	〃
	本 館	3 . 5 km	約 5 分	〃
第 1 1 分団	椿	5 . 0 km	約 6 分	〃
	椿 台	4 . 5 km	約 5 分	〃
第 1 2 分団	中 浜	5 . 5 km	約 9 分	県 道
第 1 3 分団	茂 浦	6 . 5 km	約 1 1 分	〃
	立 石	7 . 0 km	約 1 2 分	〃
第 1 4 分団	横 間	7 . 5 km	約 1 3 分	〃
	滝 ノ 間	8 . 0 km	約 1 4 分	〃
第 1 5 分団	小 入 川	1 0 . 0 km	約 1 2 分	町 道
	岩 館 第 1	1 2 . 0 km	約 1 6 分	〃
	岩 館 第 2	1 2 . 5 km	約 1 7 分	〃

※ 磯村・古屋敷・泊・下浜は自治会区分としている。

気象観測地の位置

位置等 区 分	観 測 位 置	北 緯	東 経	海 抜
能代消防署	能代市緑町2番22号	40度11分45秒	140度02分10秒	5.50m
三種消防署	山本郡三種町川尻字東大堤下 23番地1	40度05分12秒	140度02分28秒	2.90m
二ツ井消防署	能代市二ツ井町字中坪41番 地4	40度12分13秒	140度14分00秒	19.20m
八峰消防署	山本郡八峰町峰浜目名瀬字下 谷地152番地3	40度19分48秒	140度02分07秒	7.27m

気象の状況

能代山本地域は、秋田県の沿岸北部に位置し、北は世界遺産白神山地を県境に青森県と接している。東には出羽丘陵を望み、奥羽山脈を源とする米代川が圏域中央部を横断しながら緩やかに日本海に注いでおり、その河口部には地域の中心である能代市街地が形成されている。南の沿岸部は平坦な農地が多く、八郎潟干拓地である大潟村や海岸美の美しさと奇習なまはげで知られる男鹿市に接している。

気象は、概ね春から夏にかけて東寄りの風、最大風速 10m/s 前後、時にこれ以上となり、出羽丘陵から吹き下ろす際のフェーン現象によって湿度は 20%前後に低下することも希ではない。秋から冬にかけては、日本海特有の西寄りの風が強く、15m/s ないし 20 m/s 前後の季節風が吹き荒れる。降雪期は11月下旬から3月中旬頃まであり、積雪は30cm ないし 80cm 程度である。

3月の融雪期には、狭路の自動車運行に困難をきたすことがしばしばである。また、毎年数度の台風の接近通過時には、乾燥あるいは最大風速 20 m/s 前後の暴風雨に見舞われる状況である。

すなわち、当地域においては春季の４、５、６月にフェーン現象による乾燥と、秋冬季の１１月から翌年３月までの季節風の影響が暖房使用時期と重なり合うことにより、火災発生並びに大火の誘因が危惧される。

年別火災警報・注意報発令状況

(平成17年～令和6年)

[illegible]

各気象表（月別気象表）

種 別			月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
気 温 (℃)	最 高 (月間最高気温の最高値)	能 代	平 年	2.9	3.7	7.5	13.6	19.1	23.2	26.7	28.7	24.9	18.5	11.9	5.7	15.5
			令和6年	10.9	19.2	15.7	24.9	26.9	32.7	31.9	33.8	32.1	27.5	20.6	12.3	24.0
		二ツ井	令和6年	9.9	20.1	15.5	28.5	27.5	33.4	33.6	34.8	32.4	27.4	19.6	12.0	24.6
		藤 里	令和6年	10.1	19.0	15.4	29.9	26.9	33.3	34.8	34.3	32.7	27.0	19.9	13.1	24.7
		三 種	令和6年	10.5	19.3	15.4	27.6	26.8	31.3	31.8	34.6	31.2	27.6	19.7	11.9	24.0
		八 峰	令和6年	10.5	17.8	14.1	24.8	24.5	28.9	30.0	32.8	30.6	25.9	19.5	11.7	22.6
	最 低 (月間最低気温の最低値)	能 代	平 年	-2.5	-2.4	0.0	4.4	10.3	15.2	19.6	20.6	16.1	9.7	4.1	-0.3	7.5
			令和6年	-5.0	-4.5	-3.8	0.0	5.2	12.4	13.2	20.6	12.2	4.3	0.2	-4.6	4.2
		二ツ井	令和6年	-5.7	-5.7	-5.0	-2.0	3.3	10.7	12.9	19.5	11.0	2.4	-1.5	-6.6	2.8
		藤 里	令和6年	-7.1	-6.2	-4.1	-2.2	2.6	10.8	12.9	18.9	8.4	1.9	-1.7	-7.2	2.3
		三 種	令和6年	-4.3	-4.3	-3.9	-0.9	4.8	12.0	13.6	19.6	12.4	4.8	-0.1	-3.8	4.2
		八 峰	令和6年	-4.9	-5.8	-3.5	1.7	6.0	11.3	12.7	20.1	12.9	7.0	-0.1	-1.9	4.6
	平 均 (月間平均気温の平均値)	能 代	平 年	0.2	0.6	3.6	9.0	14.5	18.9	22.8	24.3	20.2	13.9	7.9	2.6	11.0
			令和6年	2.6	2.4	3.8	11.7	15.1	20.7	24.0	26.3	22.0	15.6	8.1	2.7	12.9
		二ツ井	令和6年	1.4	1.5	2.9	11.4	14.6	20.2	23.7	25.8	21.3	14.6	6.6	1.1	12.1
		藤 里	令和6年	1.3	1.7	3.0	11.4	14.7	20.4	23.8	13.5	21.1	14.7	6.8	1.1	11.1
		三 種	令和6年	2.8	2.8	3.7	11.7	15.3	20.8	24.2	26.4	22.1	15.9	8.4	2.7	13.1
		八 峰	令和6年	3.2	2.5	4.0	11.4	14.5	19.9	23.2	25.5	21.9	16.5	9.3	3.0	12.9
風 速 (m/s)	最 大 (月間最大風速の最高値)	能 代	平 年	8.6	8.4	8.0	7.5	6.8	6.1	5.9	6.1	6.4	6.8	7.8	8.7	7.3
			令和6年	14.7	12.1	13.6	10.2	12.7	11.6	11.0	9.4	10.6	12.1	12.8	15.8	12.4
		二ツ井	令和6年	10.3	9.0	10.8	9.6	10.3	10.0	10.7	8.1	10.6	9.2	10.5	10.9	10.0
		藤 里	令和6年	9.4	7.6	9.4	8.5	9.8	5.4	7.2	6.7	5.4	6.7	9.4	10.3	8.0
		三 種	令和6年	2.8	2.8	3.7	11.7	15.3	20.8	24.2	26.4	22.1	15.9	8.4	2.7	13.1
		八 峰	令和6年	20.7	17.6	20.0	12.8	14.7	8.4	14.0	9.8	11.6	11.5	21.0	20.9	15.3
	平 均 (月間平均風速の平均値)	能 代	平 年	5.2	4.9	4.6	4.2	3.6	3.3	3.2	3.3	3.4	3.8	4.4	5.1	3.9
			令和6年	5.1	4.1	4.6	3.5	3.6	3.3	3.3	2.8	3.1	3.6	4.1	5.8	3.9
		二ツ井	令和6年	2.5	2.3	2.8	2.5	2.6	2.4	2.3	2.0	2.1	2.2	2.1	2.5	2.4
		藤 里	令和6年	1.8	1.7	2.2	1.9	1.8	1.6	1.5	1.2	1.2	1.1	1.2	1.7	1.6
		三 種	令和6年	4.6	3.5	4.3	3.2	4.1	3.0	0.0	2.2	2.4	2.8	3.3	5.3	3.2
湿 度	平 均	八 峰	令和6年	5.9	3.9	4.8	2.6	2.9	2.2	2.5	2.1	2.2	2.8	4.0	6.9	3.6
		能 代	平 年	72.5	71.5	76.2	70.3	73.4	75.6	79.4	77.2	75.7	72.6	70.9	71.9	73.9
			令和6年	75.0	73.9	70.8	74.6	78.6	82.0	93.0	88.3	84.2	82.9	80.3	73.1	79.7
		二ツ井	令和6年	72.3	71.2	68.3	69.0	69.9	71.3	71.8	71.7	71.5	71.2	72.0	72.2	71.0
		藤 里	令和6年	86.2	81.6	77.9	75.9	79.5	79.5	88.7	83.9	82.9	84.5	86.2	86.3	82.8
		三 種	令和6年	79.0	76.7	74.1	71.0	75.1	77.2	86.1	82.2	79.8	78.3	79.0	75.5	77.8
降 水 量 (mm)	月間累計 (冬期間は雪雨合計)	能 代	平 年	114.8	86.0	79.5	86.3	105.5	100.2	162.5	155.9	154.6	147.7	157.5	143.9	125.4
			令和6年	146.0	92.0	83.0	70.5	129.0	124.5	252.5	92.0	66.0	166.5	116.5	184.5	126.9
		二ツ井	令和6年	178.5	89.0	102.0	67.5	118.0	208.0	307.0	131.0	99.5	163.0	127.5	177.0	147.3
		藤 里	令和6年	87.0	57.0	20.0	75.5	184.5	222.5	454.0	158.5	92.0	209.5	172.5	176.0	159.1
		三 種	令和6年	192.8	21.0	56.8	45.4	88.4	113.4	217.8	100.4	84.1	138.6	140.8	186.8	115.5
		八 峰	令和6年	163.5	104.5	94.5	89.5	202.0	106.5	215.5	162.0	55.0	166.0	145.5	183.5	140.7
日 照 時 間	月間累計	能 代	平 年	32.9	60.6	128.7	185.0	191.4	184.4	157.9	194.7	168.5	145.2	82.7	41.6	131.13
			令和6年	44.4	67.8	121.6	237.4	199.0	231.6	109.2	207.3	204.6	172.8	97.7	25.1	143.21

※ 能代、八峰(気温・降水量)、藤里(降水量) はアメダスのデータ
※ 二ツ井、三種、八峰(気温・降水量以外)、藤里分署(降水量以外) は署観測機器のデータ
※ 二ツ井署機器の不具合による欠測あり。欠測中は平均に含めていない。

能代消防署

最高、最低

(昭和26年観測以来)

気 温 ℃	最 高	39.1℃	昭和53年 8月 3日
	最 低	-12.4℃	昭和56年 1月14日
風 速 m/s	平 均 最 大	23.8m/s	昭和32年12月13日
	最 大 瞬 間	44.0m/s	平成 3年 9月28日
降 水 量 mm	1時間最大降水量	57.0mm	平成15年 8月25日
	1日の最大降水量	180.0mm	令和 5年 7月15日

(令和6年)

気 温 ℃	最 高	33.8℃	8月 16日
	最 低	-5.0℃	1月 15日
風 速 m/s	平 均 最 大	15.8m/s	12月 6日
	最 大 瞬 間	26.7m/s	12月 6日
降 水 量 mm	1時間最大降水量	43.5mm	7月 26日
	1日の最大降水量	84.5mm	6月 30日
湿 度 %	最 小	15.5%	3月 28日

年間風向

主 風	東 37.4%	次 風	西北西 13.1%
-----	---------	-----	-----------

月別天候

(令和6年)

種 別 \ 月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
晴 日 数	1	4	6	18	14	18	6	21	21	19	8	1	137
曇 //	8	9	12	4	3	1	5	3	1	0	6	2	54
雨 //	12	3	7	8	14	11	20	7	8	12	16	7	125
雪 //	10	13	6	0	0	0	0	0	0	0	0	21	50
霧 (上記の外)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
強風 (//)	5	3	5	0	2	0	0	0	0	2	4	12	33

(注) 雨日数は降水量1mm以上又は降雨時間2時間以上の日、雪日数は降雪時間2時間以上の日、強風日数は1時間毎の平均風速が10m/s以上を観測した日を1日とする。

年別降雪量及び最深積雪<昨年11月～当年3月まで>

(令和6年度まで過去15年)

種 別 \ 年度別	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R元	2	3	4	5	6
降雪量年合計(cm)	349	315	325	391	336	411	172	369	262	225	73	180	406	167	150
最 深 積 雪(cm)	31	36	56	79	39	32	21	57	19	31	12	23	76	20	23

有感地震回数

(令和6年)

回 数 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
回数	3	0	1	3	0	1	0	1	0	1	3	0	13

(注) 消防本部管内9地点の震度計での有感地震回数

二ツ井消防署
最高、最低

(昭和53年観測以来)

気 温 ℃	最 高	40.0℃	昭和53年 8月 3日
	最 低	-17.1℃	昭和59年 2月18日
(令和6年)			
気 温 ℃	最 高	34.8℃	8月 16日
	最 低	-6.6℃	12月 19日
風 速 m/s	平 均 最 大	10.9m/s	12月 6日
	最 大 瞬 間	29.5m/s	12月 16日
湿 度 %	最 小	29.3%	3月 28日

年間風向

主 風	東北東 15.0%	次 風	北東 11.3%
-----	-----------	-----	----------

三種消防署
最高、最低

(昭和48年観測以来)

気 温 ℃	最 高	38.7℃	平成30年 8月23日
	最 低	-17.5℃	昭和52年 2月 6日
(令和6年)			
気 温 ℃	最 高	34.6℃	8月 16日
	最 低	-4.3℃	1月 15日
風 速 m/s	平 均 最 大	17.9m/s	5月 17日
	最 大 瞬 間	25.5m/s	11月 30日
湿 度 %	最 小	19.0%	3月 28日

年間風向

主 風	北 38.9%	次 風	東北東 20.3%
-----	---------	-----	-----------

八峰消防署
最高、最低

(昭和48年観測以来)

気 温 ℃	最 高	39.2℃	昭和53年8月3日・平成12年7月31日
	最 低	-15.9℃	昭和56年 1月14日
(令和6年)			
気 温 ℃	最 高	32.8℃	8月10日
	最 低	-5.8℃	2月 1日
風 速 m/s	平 均 最 大	(署実測) 14.0m/s	12月 6日
		(アメダス) 21.0m/s	11月30日
	最 大 瞬 間	(署実測) 27.8m/s	12月16日
		(アメダス) 30.2m/s	1月24日
湿 度 %	最 小	14.0%	4月 7日

年間風向

主 風	南東 20.1%	次 風	北西 19.0%
-----	----------	-----	----------

事故別 救助事案出場車両数

令和6年12月31日現在

事故種別 車両区分		火災										交通事故					水難事故					風水害等自然災害					機械による事故					建物等による事故					ガス及び酸欠事故					爆発事故					その他の事故					台数小計				台 数 合 計
		建物					建物以外																																																	
消防署		能 代	二 ツ 井	三 種	八 峰	計	能 代	二 ツ 井	三 種	八 峰	計	能 代	二 ツ 井	三 種	八 峰	計	能 代	二 ツ 井	三 種	八 峰	計	能 代	二 ツ 井	三 種	八 峰	計	能 代	二 ツ 井	三 種	八 峰	計	能 代	二 ツ 井	三 種	八 峰	計	能 代	二 ツ 井	三 種	八 峰	計	能 代	二 ツ 井	三 種	八 峰	計	能 代	二 ツ 井	三 種	八 峰	計					
出 場 車 両 等	救 助 工 作 車	2	-	-	1	3	-	-	-	-	-	10	4	16	3	33	-	1	-	1	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	4	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	3	-	8	21	6	19	5	51	
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	8	-	-	3	11	-	-	-	-	-	4	5	13	6	28	-	1	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	4	-	8	14	8	17	11	50				
	梯子付消防ポンプ自動車	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
	化 学 ポ ン プ 自 動 車	2	-	-	1	3	-	-	-	-	-	6	1	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	10	-	-	1	11			
	指 揮 車 ・ 指 令 車	7	-	-	3	10	-	-	-	-	-	10	5	11	4	30	-	2	-	3	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	-	4	20	8	12	10	50				
	救 急 自 動 車	3	-	-	1	4	-	-	-	-	-	12	8	13	5	38	-	1	-	1	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	4	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	5	2	4	-	11	25	11	17	7	60			
	船 外 機 付 ボ ー ト	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1							
	そ の 他	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	1	4							
	消 防 団 車 両	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
消 防 機 関 以 外 の 車 両	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-								
計		25	-	-	9	34	-	-	-	-	-	42	23	53	18	136	-	5	-	9	14	-	-	-	-	-	4	-	-	-	4	8	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	14	6	12	-	32	93	33	65	36	227			

※「火災」については、救助活動を行う目的で出動した火災のうち、何らかの救助活動を行った火災のみを計上。

過去5箇年 救助事案出場件数

令和6年12月31日現在

事故種別 年 別	火 災										交通事故					水難事故					風水害等自然災害					機械による事故					建物等による事故					ガス及び酸欠事故					爆発事故					その他の事故					計					救助人員																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	建 物					建物以外																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
消防署	能代	二ツ井	三種	八峰	計	能代	二ツ井	三種	八峰	計	能代	二ツ井	三種	八峰	計	能代	二ツ井	三種	八峰	計	能代	二ツ井	三種	八峰	計	能代	二ツ井	三種	八峰	計	能代	二ツ井	三種	八峰	計	能代	二ツ井	三種	八峰	計	能代	二ツ井	三種	八峰	計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
令和2年	1	1	—	—	2	—	—	—	—	—	7	1	4	—	12	1	—	—	2	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※「火災」については、救助活動を行う目的で出動した火災のうち、何らかの救助活動を行った火災のみを計上。

消 防 水 利 の 状 況

消防署別の水利状況

署 別 水利別		計	能 代	二ツ井	三 種	八 峰
防 火 水 槽	耐震 100m ³	10	10	0	0	0
	(吸水管付)	10	10	0	0	0
	耐震 40m ³	153	6	34	108	5
	(吸水管付)	76	6	34	31	5
	40～506m ³	488	120	180	99	89
	(吸水管付)	320	96	159	23	42
	20～40m ³ 未満	120	10	45	62	3
	(吸水管付)	43	3	36	3	1
	20m ³ 未満	74	12	29	0	33
	(吸水管付)	23	1	22	0	0
	私 設	27	25	2	0	0
	(吸水管付)	11	9	2	0	0
	小 計	872	183	290	269	130
	(吸水管付)	483	125	253	57	48
	(吸水管無し)	389	58	37	212	82
消 火 栓	公 設	950	848	0	102	0
	簡 易	572	0	115	313	144
	私 設	107	107	0	0	0
	小 計	1629	955	115	415	144
打込式消火栓数		43	33 (67)	10 (50)	0	0
水利合計		2,544	1,171	415	684	274

救 急 関 係

令和6年救急業務活動概要

1 出場件数について

- (1) 出場件数は、3,621件で前年と比較すると239件の減(−6.2%)、過去5年平均と比較すると132件増加している。1日平均の出場件数は9.9件(前年は10.6件)の割合で出場したことになる。
- (2) 事故種別(14種別)出場件数では、第1位が急病で2,643件(73.0%)、第2位が一般負傷で455件(12.6%)、第3位が転院搬送で225件(6.2%)、第4位が交通事故で135件(3.7%)、第5位はその他で70件(1.9%)となっている。(※ その他には現着時死亡徴候があり不搬送などが含まれる)
- (3) 市町別出場件数では、能代市が2,482件(68.5%)で前年と比較すると196件の減(−7.3%)、藤里町が135件(3.7%)で15件の減(−10.0%)、三種町が711件(19.6%)で16件の減(−2.2%)、八峰町が288件(8.0%)で17件の減(−5.6%)、管外が5件(0.1%)で5件の増となっている。

2 搬送人員について

- (1) 搬送人員は、3,367人(男1,646人、女1,721人)で前年と比較すると180人の減(−5.1%)、過去5年平均と比較すると145人増加している。
※管内人口70,405人(令和6年12月1日現在)の4.8%で、21人に1人搬送されたことになる。
65歳以上の搬送人員は、2,627人(78.0%)で、うち男性は1,225人、女性は1,402人である。
- (2) 事故種別(14種別)搬送人員は、第1位が急病で2,528人(75.1%)、第2位が一般負傷で439人(13.0%)、第3位が転院搬送で224人(6.7%)、第4位が交通事故で116人(3.4%)、第5位が労働災害で32人(1.0%)となっている。急病による搬送が7割以上を占める。
(急病で搬送された2,528人のうち、65歳以上が2,033人(80.4%)で高い比率を占めている)
- (3) 市町別搬送人員では、能代市が2,323人(69.0%)で前年と比較すると143人の減(−5.8%)、藤里町が128人(3.8%)で14人の減(−9.9%)、三種町が649人(19.3%)で7人の減(−1.1%)、八峰町が262人(7.8%)で21人の減(−7.4%)、管外が5人(0.1%)で5人の増となっている。

市町別出場件数

事故種別 市町別	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等 輸 送	そ の 他
能 代 市	2,482	11			94	26	4	315	2	23	1,745	213			49
藤 里 町	135			1		1		23		1	108				1
三 種 町	711	4			28	4	1	67	2	7	573	12			13
八 峰 町	288	2		1	8	1		50		2	217				7
管 外	5				5										
合 計	3,621	17		2	135	32	5	455	4	33	2,643	225			70

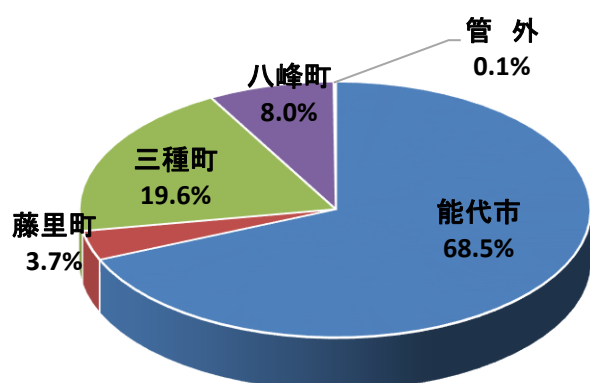
市町別搬送人員

能 代 市	2,323	3			82	26	4	304	2	11	1,678	212			1
藤 里 町	128					1		22			105				
三 種 町	649				22	4	1	64	2	4	540	12			
八 峰 町	262				7	1		49			205				
管 外	5				5										
合 計	3,367	3			116	32	5	439	4	15	2,528	224			1

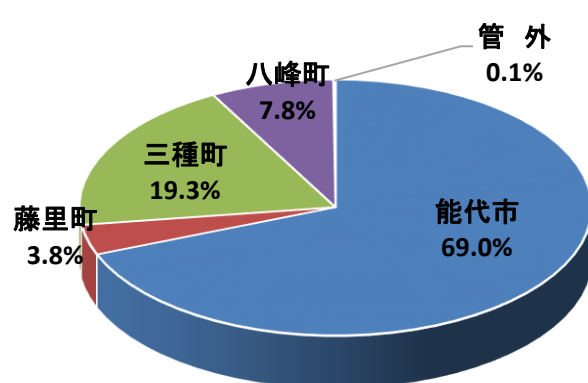
市町別不搬送件数

能 代 市	162	8			15			11		12	67	1			48
藤 里 町	7			1				1		1	3				1
三 種 町	65	4			9			3		3	33				13
八 峰 町	27	2		1	1			1		2	13				7
管 外	1				1										
合 計	262	14		2	26			16		18	116	1			69

市町別出場件数割合



市町別搬送人員割合



署所別出場件数

事故種別 区 分	計	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他				
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	輸 送 等	資 器 材	そ の 他
能代消防署	1,144	9			36	9	1	170	2	9	771	107				30
東能代出張所	438	1			29	9	2	49		5	301	35				7
向能代出張所	453	1			16	1	1	48		6	320	52				8
二ツ井消防署	408	1			16	6		44		1	318	17				5
藤里分署	172			1	5	2		26		3	132	2				1
三種消防署	731	4			27	4	1	69	2	7	592	12				13
八峰消防署	275	1		1	6	1		49		2	209					6
合 計	3,621	17		2	135	32	5	455	4	33	2,643	225				70

署所別搬送人員

能代消防署	1,071	1			34	9	1	163	2	5	749	106				1
東能代出張所	406				21	9	2	48		3	288	35				
向能代出張所	421	1			14	1	1	45		1	306	52				
二ツ井消防署	385				15	6		44			303	17				
藤里分署	162				2	2		25		2	129	2				
三種消防署	669				24	4	1	66	2	4	556	12				
八峰消防署	253	1			6	1		48			197					
合 計	3,367	3			116	32	5	439	4	15	2,528	224				1

不搬送件数

能代消防署	74	8			3			7		4	22	1				29
東能代出張所	32	1			8			1		2	13					7
向能代出張所	35				4			3		5	15					8
二ツ井消防署	24	1			2					1	15					5
藤里分署	10			1	3			1		1	3					1
三種消防署	65	4			6			3		3	36					13
八峰消防署	22			1				1		2	12					6
合 計	262	14		2	26			16		18	116	1				69

参考

前年出場件数	3,860	20		5	169	31	15	487	5	28	2,762	249	2			87
前年搬送人員	3,547	5		1	146	30	15	476	5	17	2,603	247				2
前年不搬送件数	321	15		4	31	1		11		11	159	2	2			85

月別救急活動状況

事故種別 区 分		合 計	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
													転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 送	輸 送 他
1月	出場件数	314				15	5	1	40	1		231	15			6
	搬送人員	287				10	5	1	37	1		218	15			
	不搬送件	27				5			3			13				6
2月	出場件数	300				7	3		32		3	231	16			8
	搬送人員	285				8	3		32		2	223	16			1
	不搬送件	16									1	8				7
3月	出場件数	322				20	4	1	35		5	223	25			9
	搬送人員	300				18	4	1	34		5	213	25			
	不搬送件	22				2			1			10				9
4月	出場件数	284	6			7	1		38		8	204	14			6
	搬送人員	253				6	1		36		4	192	14			
	不搬送件	32	6			2			2		4	12				6
5月	出場件数	285	1		1	4	3		39		4	206	21			6
	搬送人員	261				5	3		36			196	21			
	不搬送件	25	1		1				3		4	10				6
6月	出場件数	278	1			15	3	2	30		3	197	24			3
	搬送人員	258				12	3	2	27			190	24			
	不搬送件	20	1			3			3		3	7				3
7月	出場件数	299	1			8	2		41		4	220	12			11
	搬送人員	270				6	2		40		3	207	12			
	不搬送件	29	1			2			1		1	13				11
8月	出場件数	349	1			14	4		38		2	257	28			5
	搬送人員	331	1			13	4		38			248	27			
	不搬送件	18				1					2	9	1			5
9月	出場件数	273	3			13	1		40			196	16			4
	搬送人員	260	1			11	1		40			191	16			
	不搬送件	15	2			3						6				4
10月	出場件数	277				8	3	1	46	2		200	13			4
	搬送人員	261				6	3	1	45	2		191	13			
	不搬送件	16				2			1			9				4
11月	出場件数	317	1		1	15	2		41		2	232	19			4
	搬送人員	293				10	2		40			222	19			
	不搬送件	24	1		1	5			1		2	10				4
12月	出場件数	323	3			9	1		35	1	2	246	22			4
	搬送人員	308	1			11	1		34	1	1	237	22			
	不搬送件	18	2			1			1		1	9				4
出 場 件 数		3,621	17		2	135	32	5	455	4	33	2,643	225			70
比率(%)			0.5		0.1	3.7	0.9	0.1	12.6	0.1	0.9	73.0	6.2			1.9
搬 送 人 員		3,367	3			116	32	5	439	4	15	2,528	224			1
比率(%)			0.1			3.4	1.0	0.1	13.0	0.1	0.4	75.1	6.7			0.0
不 搬 送 件 数		262	14		2	26			16		18	116	1			69
比率(%)			5.3		0.8	9.9			6.1		6.9	44.3	0.4			26.3

年齢別搬送人員・不搬送内訳状況

		火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				合計	比率%	
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等 輸 送	そ の 他			
搬送人員		3			116	32	5	439	4	15	2,528	224			1	3,367	100%	
合 計	男	2			63	30	2	185	2	3	1,232	126			1	1,646	49%	
	女	1			53	2	3	254	2	12	1,296	98				1,721	51%	
年 齢 別	新生児 (生後28日 未満)	男									1	4				5	0%	
		女										3				3		
	乳幼児 (7歳未満)	男							6			10	3				19	1%
		女							3			14	2				19	
	少年 (7歳～ 17歳)	男				2		2	7			20	1				32	2%
		女	1			6		3				14	6				30	
	成人 (18歳～ 64歳)	男	1			30	19		33	1	2	245	33			1	365	19%
		女				18	1		30	2	5	191	20				267	
	65歳以上	男	1			31	11		139	1	1	956	85				1,225	78%
		女				29	1		221		7	1,077	67				1,402	
不搬送合計		14		2	26			16		18	116	1			69	262	100%	
不 搬 送 の 内 訳	辞退（到着前）							2			2				4	8	3%	
	辞退（到着後）				2			6			22				5	35	13%	
	拒 否				5			5			24				2	36	14%	
	明らかな死亡	2		2				2		18	61				16	101	39%	
	他車（隊）搬送				6						4					10	4%	
	傷病者なし	10			11										26	47	18%	
	誤報・いたづら	1													9	10	4%	
	そ の 他	1			2			1			3	1			7	15	6%	

通信指令関係

消 防 本 部 通 信 系 統 図

119番回線

固定電話		IP電話	携帯電話
能代局（3回線）	八竜局（2回線）	IPソフトバンク（2回線）	ドコモ（2回線）
二ツ井局（2回線）	琴丘局（2回線）	IP-NTT（2回線）	a u（2回線）
藤里局（2回線）	八森局（2回線）	IP-KDDI（2回線）	ソフトバンク（2回線）
山本局（2回線）	峰浜局（2回線）		楽天モバイル（2回線）

（※FAX119対応可能）

非常用（1回線）
（二ツ井消防署に接続）

ふれあい安心電話
（一般加入回線受信専用）

三種町緊急通報システム
（通報窓口：ALSOK）

加入電話・駆け込み・
発見等

FAX119

NET119システム

位置情報通知システム(統合型)

出動車両運用管理
装置(AVM)

119着信状況表示装置

気象観測装置

自動録音装置
（指令/通報/無線）

ショートメッセージ装置

卓上型無線装置

支援情報表示盤
（65インチ液晶）

支援情報表示盤
（32インチ液晶）

支援情報表示盤
（32インチ液晶）

車両運用表示盤
（65インチ液晶）

県総合防災情報
システム衛星画像

監視カメラ

秋田県災害・救急
医療情報システム

秋田県総合防災
情報システム

無線
統制台

切替／【通常モード】

1 席		2 席	
自動出動 指定装置	地図検索 装置	自動出動 指定装置	地図検索 装置

切替／【大規模災害モード】

1 席	2 席	3 席	4 席
自動／地図	自動／地図	自動／地図	自動／地図

指令台

各車両(移動局)

無線指令
（音声合成）

音声合成出場指令

出場指令書電送

災害関係情報

能代市防災行政無線
遠隔制御装置

能代消防署

東能代出張所

向能代出張所

西消防出張所

能代市防災行政無線
遠隔制御装置

二ツ井消防署

藤里町防災行政無線
遠隔制御装置

藤里分署

三種町防災行政無線
遠隔制御装置

三種消防署

上岩川分署

八峰町防災行政無線
遠隔制御装置

八峰消防署

（ワンタッチパネル）

市役所

町役場

能代市水道課

医療機関

警察署

秋田県各消防本部

NTT

東北電力（専用線）

ネクスコ（専用線）

順次指令（音声合成）
消防職員（非番招集）
順次連絡（音声合成）
消防団
関係機関
報道機関

消防テレホンガイド
災害等自動案内装置
肉声による市民案内

消防緊急通信指令施設 《機器構成》

品名	数量	備考
(高機能消防通信指令システム)		
1 指令装置		
1) 指令台	2 式	
2) 自動出動指定装置	1 式	各種サーバー等含
3) 地図等検索装置	1 式	
4) データーメンテナンス装置	1 式	
5) 長時間録音装置	1 式	
6) 非常用指令設備	1 式	
7) 指令制御装置	1 式	メンテナンスサーバー等含
8) プリンタ	1 台	
9) カラープリンタ	1 台	
10) スキャナ	1 台	
11) 署所端末装置	9 式	
2 無線統制台		
1) 無線統制台	1 式	
3 表示盤		
1) 車両運用表示盤	1 面	6 5 型液晶ディスプレイ
2) 支援情報表示盤	3 面	6 5 型液晶ディスプレイ 1 台 3 2 型液晶ディスプレイ 2 台
3) 映像制御装置	1 式	HDD・DVDレコーダ及びLCDディスプレイ含
4) 署所用表示ディスプレイ	4 台	二ツ井消防署 1 台 三種消防署 2 台 八峰消防署 1 台
4 指令伝送装置		
1) 指令情報送信装置	1 式	
2) 指令情報出力装置	1 式	専用端末及びディスプレイ (9 台) 、プリンタ (1 1 台)
5 気象観測装置		
1) 気象観測装置	1 式	
6 音声合成装置		
1) 音声合成装置	1 台	
2) 音片編集用 P C	1 台	
7 システム監視装置		
1) システム監視装置	1 式	監視装置、着信表示灯等
8 電源装置		
1) 無停電電源装置	1 式	本部用 1 台、署所用 8 台
2) 直流電源装置	1 台	4 8 V 系
9 統合型位置情報システム		
1) 統合型位置情報システム	1 式	受信装置、ルータ
10 ネットワーク装置		
1) ネットワーク装置	1 式	関係スイッチ、ルータ等
11 電話交換機		
1) 電話交換機	1 式	本部用構内交換機等
12 I T Vカメラ		
1) I T Vカメラ	1 式	I T Vカメラ 4 台、モニタ等
13 出退表示盤		
1) 出退表示盤	3 式	消防長室・通信指令室・本部事務室
14 付属品、予備品		
1) 付属品、予備品	1 式	

消防緊急通信指令施設《回線構成》

(消防本部)

	名 称	容量	実装	現用	備 考
1	1 1 9 番報知受付回線	12	12	12	固定局(8)、携帯局(4)
2	指令回線	9	9	9	
3	局線	4	2	2	
4	転送回線	4	2	2	
5	専用回線	1	1	1	東北電力(能代営業所)
6	専用回線	1	1	1	NEXCO東日本(仙台管制室)
7	県中央センター回線	1	1	1	
8	1 1 9 番受付席回路	9	9	9	主席(2)、副席(2)、無線統制席(1)、補助電話(4)
9	1 1 9 番回線代表着信表示盤	30	10	10	
10	自動選別指令回路(音声)	1	1	1	
11	台間連絡回路	2	2	2	
12	録音回路	24	24	18	
13	病院、消防団幹部等呼出	500	500	500	
14	車両運用表示板	60	60	51	
15	内線(指令台)	2	2	2	
16	消防無線回路	8	8	8	活動波(4)、主運用波(1)、統制波(3)
17	有・無線接続回路	1 式	1 式	1 式	
18	庁内放送回路	1 式	1 式	1 式	

(二ツ井消防署)

	名 称	容量	実装	現用	備 考
1	非常用 1 1 9 回線	1	1	1	1 1 9 通報用回線障害発生時迂回回線

防災行政無線及び防災システム

	呼出し名称	設置場所及び車両名	名 称	機器更新年月
1	ぼうさいのしろ	消防本部	能代市防災行政無線遠隔制御装置	H 2 5 . 4
2	ぼうさいのしろ	二ツ井消防署	能代市防災行政無線遠隔制御装置	H 2 5 . 4
3	ぼうさいふじさところほう	藤里分署	藤里町防災行政無線遠隔制御装置	H 2 8 . 4
4	ぼうさいみたね	三種消防署	三種町防災行政無線遠隔制御装置	H 3 0 . 4
5	ぼうさいはつぼう	八峰消防署	八峰町防災行政無線遠隔制御装置	H 2 1 . 1 0

[illegible][illegible][illegible][illegible]

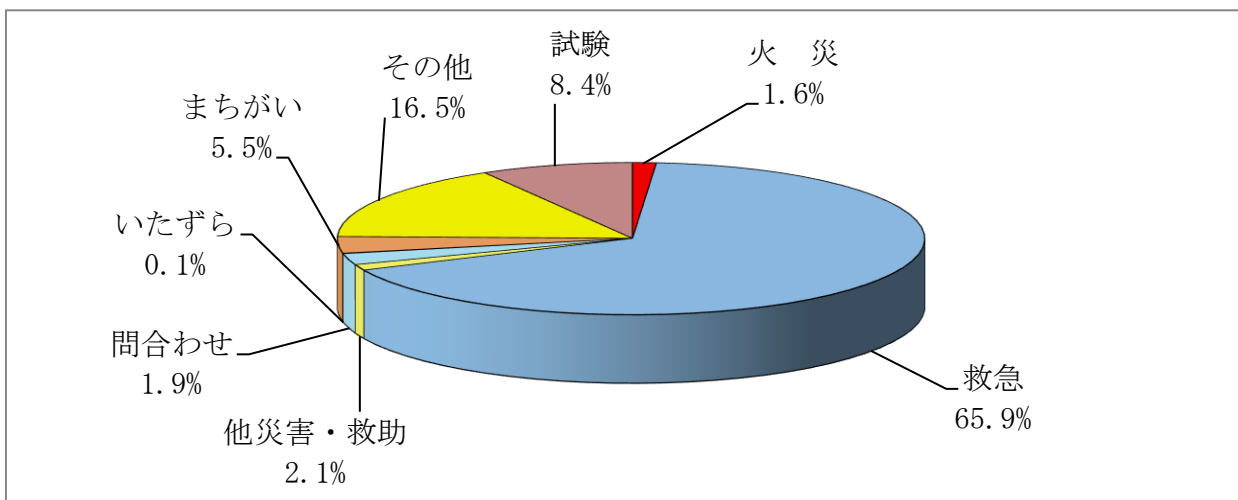
	呼出し名称	設置場所及び車両名	活動波				主運用波	統制波			機器更新年月
			1	2	3	4		1	2	3	
能代消防署											
1	のしろけいたい 1	能代タンク 1 号車	●	●	●	●	●	●	●	●	H 2 7 . 7
2	のしろけいたい 2	消防本部	●	●	●	●	●	●	●	●	H 2 7 . 7
3	のしろけいたい 3	消防本部	●	●	●	●	●	●	●	●	H 2 7 . 7
4	のしろけいたい 4	西消防出張所	●	●	●	●	●	●	●	●	H 2 7 . 7
5	のしろけいたい 1 1	能代タンク 1 号車	●	●	●	●	●	●	●	●	H 2 7 . 7
6	のしろけいたい 1 2	能代タンク 1 号車	●	●	●	●	●	●	●	●	H 2 7 . 7
7	のしろけいたい 3 1	能代タンク 3 号車	●	●	●	●	●	●	●	●	H 2 7 . 7
8	のしろけいたい 3 2	能代タンク 3 号車	●	●	●	●	●	●	●	●	H 2 7 . 7
9	のしろけいたい 4 1	能代タンク 4 号車	●	●	●	●	●	●	●	●	H 2 7 . 7
10	のしろけいたい 4 2	能代タンク 4 号車	●	●	●	●	●	●	●	●	H 2 7 . 7
11	のしろけいたい 5 1	能代指揮 2 号車	●	●	●	●	●	●	●	●	H 2 7 . 7
12	のしろけいたい 5 3	能代普通 2 号車	●	●	●	●	●	●	●	●	H 2 7 . 7
13	のしろけいたい 5 4	能代普通 2 号車	●	●	●	●	●	●	●	●	H 2 7 . 7
14	のしろけいたい 5 5	消防本部	●	●	●	●	●	●	●	●	H 2 7 . 7
16	のしろけいたい 6 1	能代はしご車	●	●	●	●	●	●	●	●	H 2 7 . 7
17	のしろけいたい 6 2	能代はしご車	●	●	●	●	●	●	●	●	H 2 7 . 7
18	のしろけいたい 6 3	能代救助工作車	●	●	●	●	●	●	●	●	H 2 7 . 7
19	のしろけいたい 6 4	能代指揮 2 号車	●	●	●	●	●	●	●	●	H 2 7 . 7
20	のしろけいたい 7 1	能代救助工作車	●	●	●	●	●	●	●	●	H 2 7 . 7
21	のしろけいたい 7 2	能代救助工作車	●	●	●	●	●	●	●	●	H 2 7 . 7
22	のしろけいたい 7 3	消防本部	●	●	●	●	●	●	●	●	H 2 7 . 7
23	のしろけいたい 7 4	能代救助工作車	●	●	●	●	●	●	●	●	H 2 7 . 7
24	のしろけいたい 8 1	能代指揮 1 号車	●	●	●	●	●	●	●	●	H 2 7 . 7
25	のしろけいたい 8 2	能代指揮 2 号車	●	●	●	●	●	●	●	●	H 2 7 . 7
26	のしろけいたい 8 3	能代指令 1 号車	●	●	●	●	●	●	●	●	H 2 7 . 7
27	のしろけいたい 8 4	能代指令 2 号車	●	●	●	●	●	●	●	●	H 2 7 . 7
28	のしろけいたい 8 5	能代指令 3 号車	●	●	●	●	●	●	●	●	H 2 7 . 7
29	のしろけいたい 8 6	災害機動搬送車	●	●	●	●	●	●	●	●	H 2 7 . 7
30	のしろけいたい 8 7	能代普通 1 号車	●	●	●	●	●	●	●	●	H 2 7 . 7
31	のしろけいたい 9 1	能代救急 1 号車	●	●	●	●	●	●	●	●	H 2 7 . 7
32	のしろけいたい 9 2	能代救急 2 号車	●	●	●	●	●	●	●	●	H 2 7 . 7
33	のしろけいたい 9 3	能代救急 3 号車	●	●	●	●	●	●	●	●	H 2 7 . 7
34	のしろけいたい 9 4	能代普通 1 号車	●	●	●	●	●	●	●	●	H 2 7 . 7
二ツ井消防署・藤里分署											
35	ふたついきいたい 1	二ツ井タンク車	●	●	●	●	●	●	●	●	H 2 7 . 7
36	ふたついきいたい 1 2	二ツ井タンク車	●	●	●	●	●	●	●	●	H 2 7 . 7
37	ふたついきいたい 5 1	二ツ井普通車	●	●	●	●	●	●	●	●	H 2 7 . 7
38	ふたついきいたい 5 2	二ツ井普通車	●	●	●	●	●	●	●	●	H 2 7 .

1 1 9 番通報受信件数①

令和 6 年

内容 月別	火 災	救 急	他災害 ・救助	問合わせ	いたずら	まちがい	その他	試 験	合 計
1	3	278	7	7	0	10	27	17	349
2	2	262	7	7	0	7	18	20	323
3	2	280	5	10	0	13	60	38	408
4	24	252	2	19	0	7	41	56	401
5	5	242	9	5	0	19	88	44	412
6	5	243	4	4	0	11	88	33	388
7	4	261	5	9	1	28	58	26	392
8	6	313	5	13	1	19	62	22	441
9	3	234	2	8	2	20	80	35	384
10	0	254	1	9	0	12	106	33	415
11	2	285	6	9	1	14	98	40	455
12	6	294	6	14	0	8	52	36	416
合 計	62	3,198	59	114	5	168	778	400	4,784

内容別119番受信比率



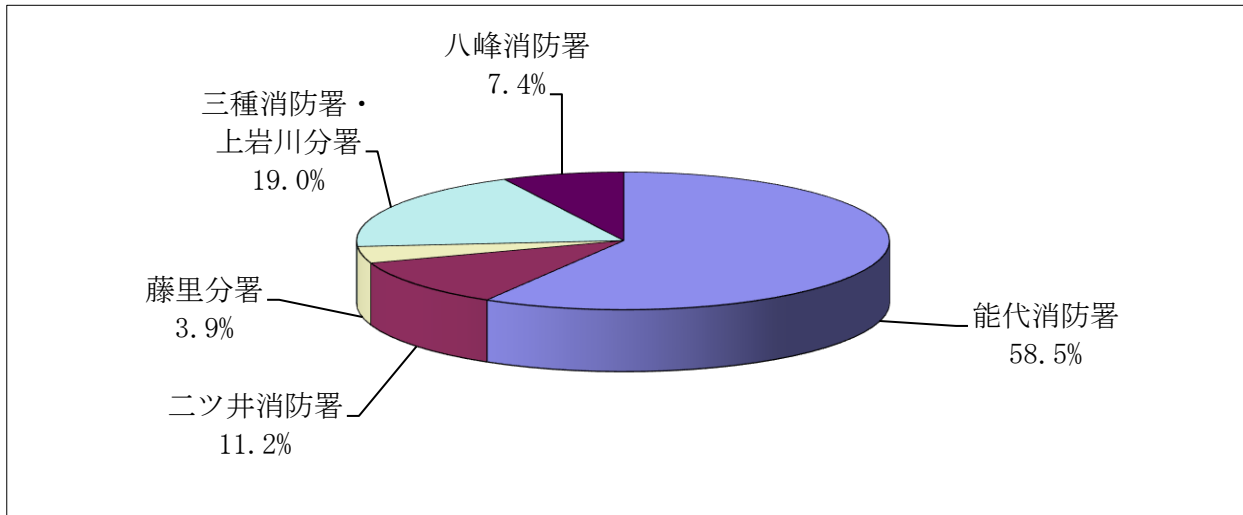
119番通報受信件数②

令和6年

各署別119番受信件数

	能代消防署	二ツ井消防署	藤里分署	三種消防署 上岩川分署	八峰消防署	合 計
件 数	2,800	535	187	909	353	4,784

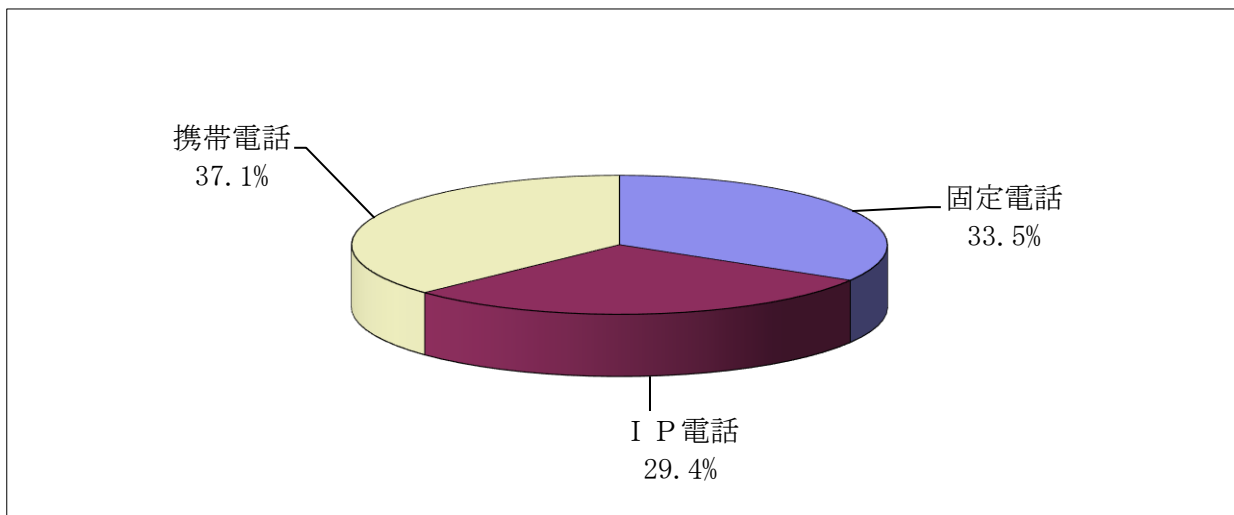
各署別119番受信比率



電話機別119番受信件数

	固定電話	I P 電話	携帯電話	合 計
件 数	1,604	1,406	1,774	4,784

電話機別119番受信比率



消 防 団 関 係

消 防 団 員 数 ・ 機 械 等 配 置 状 況

区 分	人 員										機 械			ホ ー ス	ポ ン プ 置 場 数	ホ ー ス 乾 燥 塔
	総 数		団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	機 能 別 団 員	ポ ン プ 車	積 載 車	小 型 動 力 ポ ン プ			
	定	実														
	員	員														
総 合 計	1,707	1,371	4	11	45	78	72	236	618	307	18	96	81	2,874	182	168
能 代 市	745	626	1	4	15	26	46	104	246	184	11	27	12	1,130	96	85
三 種 町	507	393	1	3	9	30	26	61	189	74	5	38	38	1,260	54	51
八 峰 町	330	240	1	3	16	17		51	118	34	2	23	23	327	25	25
藤 里 町	125	112	1	1	5	5		20	65	15		8	8	157	7	7

正 副 団 長 名 簿

区 分	階 級	氏 名	拝 命 年 月 日	
			任 用	現 階 級
能 代 市	団 長	渡 邊 正 人	H 1 0 . 6 . 1	R 元 . 9 . 1
	副 団 長	土 田 一 男	S 5 1 . 7 . 1	H 2 1 . 4 . 1
	副 団 長	梶 原 芳 一	S 6 2 . 4 . 1	R 2 . 6 . 1
	副 団 長	畠 山 一 昭	S 6 1 . 4 . 1	R 3 . 4 . 1
	副 団 長	塚 本 陽 一	S 5 4 . 1 0 . 1	R 3 . 5 . 1
三 種 町	団 長	石 井 義 則	S 5 9 . 1 2 . 6	R 2 . 4 . 1
	副 団 長	田 森 正 志	H 6 . 7 . 1	H 3 0 . 4 . 1
	副 団 長	近 藤 優	S 5 8 . 8 . 1	R 2 . 4 . 1
	副 団 長	池 内 清 浩	H 4 . 4 . 1	R 5 . 4 . 1
八 峰 町	団 長	笹 村 清 幸	H 3 . 6 . 7	R 3 . 1 0 . 1
	副 団 長	金 平 多 三 夫	H 3 . 7 . 1 8	R 2 . 4 . 1
	副 団 長	鈴 木 英 美	S 6 3 . 1 1 . 2 4	R 3 . 4 . 1
	副 団 長	木 村 啓 二	S 6 1 . 8 . 1	R 3 . 1 0 . 1
藤 里 町	団 長	伊 藤 孝 年	H 5 . 4 . 1	H 3 0 . 4 . 1
	副 団 長	小 山 博 行	H 1 3 . 9 . 2 1	R 4 . 4 . 1

消防団員年報酬及び費用弁償等調

(単位：円)

区 分		能 代 市	藤 里 町	三 種 町	八 峰 町
報 酬	団 長	82,500	82,500	82,500	82,500
	副 団 長	69,000	69,000	69,000	69,000
	分 団 長	50,500	50,500	50,500	50,500
	副分団長	45,500	45,500	45,500	45,500
	部 長	37,000		37,000	
	副 部 長				
	班 長	37,000	37,000	37,000	37,000
	副 班 長				
	団 員 (機能別団員)	36,500 (学生以外 24,000) (学生 12,000)	36,500 (12,500)	36,500 (12,500)	36,500 (12,500)
機 関 員	可搬 ポンプ		18,100		30,000
	積 載 車				30,000
	自 動 車				60,000
費 用 弁 償 ・ 出 動 報 酬	災害出場	4時間未満 4,000 4時間以上 8,000	4時間未満 4,000 4時間以上 8,000	4時間まで 4,500 4時間超 9,000	4時間未満 4,000 4時間以上 8,000
	警戒出場	3,000	4,000	4時間まで 4,500 4時間超 9,000	3,000
	訓練出場	3,000	4,000	3,100	1,500
	そ の 他	会議等 1,500		会議等 1,500	会議等 1,500
定 年 制		副団長以上及び 機能別団員なし 分団長以下65歳	副団長以上なし 分団長以下60歳 ※65歳まで延長可 機能別団員なし	副団長以上なし 分団長以下65歳	な し

災害記録

明治以降大火災及び特殊火災記録（昭和24年・31年の能代大火は別記載）

出火年月日	時刻	原因	焼失戸数	出火場所	気象(風向)
M 3. 6	不明	不明	700戸	馬喰町宿屋 (太郎兵衛火事)	東風
M13. 6. 1	中の申夜	不明	1,300戸	上町から出火 (小走り火事)	東風
M17. 5. 27	不明	不明	600戸	大町から出火 (金丸火事)	不明
M23. 3. 25	午後11時	残火の不始末	800戸	上川反町から出火 (平忠火事)	不明
M23. 9. 13	不明	不明	500戸	柳町から出火	不明
M30. 12. 11	午前4時	不明	350戸	幸町から出火 (風呂屋火事)	北西強風
M33. 8. 19	午後3時	煙草の吸いがら	507戸	長根町から出火 (願勝寺火事)	東風
M34. 11. 1	午前2時	不明	161戸	畠町から出火 (池藤火事)	不明
M38. 12. 29	午前4時	不明	136戸	柳町料理屋 (彦兵衛火事)	不明
M39. 5. 7	午後8時	石油ランプ	360戸	幸町宿屋 (ジャボヤ火事)	東強風
M39. 11. 9	午前1時半	不明	170戸	大町床屋 (草替火事)	北西強風
M40. 7. 26	午前2時50分	不明	189戸	榊六小路から出火	不明
M45. 7. 1	午前11時半	提灯の置き忘れ	121戸	稲荷小路から出火 (納誠火事)	北西・西
T 5. 5. 7	午前9時	提灯の置き忘れ	264戸	榊六小路から出火 橋本三治郎(豆腐屋火事)	東・小雨
T 8.	不明	不明	251戸	羽立町から出火	不明
T11. 5. 5	午後1時半	不明	161戸	畠町煎餅屋から出火 (田森三之助)	北西
S 2. 3. 27	午前2時10分	失火	173戸	柳町新道 (長野チヨ)	西・北西
S 2. 12. 25	不明	暖炉の火の不始末	校舎・体育館全焼	八森町茂浦 (観海小学校)	不明
S 5. 5. 18	午後8時35分	失火	映画館90坪と7戸	柳町 (淳城館)	不明
S 5. 11. 29	午前2時10分	漏電	56戸	柳町新道 (水木助吉)	不明
S 7. 11. 28	午前3時50分	不明	劇場210坪と7戸	出戸町 (能代劇場)	不明
S 7. 12. 14	午前0時15分	失火	328戸	幸町湯屋 (近藤竹治)	西・北西・北
S11. 12. 29	午前1時50分	たき口不始末	115戸	中町湯屋 (秩父政吉)	西・北西
S15. 9. 28	午後11時50分	汽車の飛火	58戸	養蚕 (神田長蔵)	不明
S17. 6.	不明	不明	20戸以上	峰浜村水沢 (銭谷彦治郎)	不明
S18. 1. 14	午後5時10分	火消しつぼの不始末	44戸	向能代 (庄内三蔵)	不明
S18. 8. 29	午前9時04分	失火	7.8年生松16町歩焼失	下浜 (能代営林署植林地)	不明
S18. 10. 7	午後2時10分	煙草の吸いがら	飛行場格納庫1,000坪	東雲原 (東雲陸軍飛行場)	不明

S19. 2. 15	午前0時40分	不明	校舎3棟 800坪	出戸通り (県立能代中学校)	不明
S20. 2. 3	午後6時53分	ストーブ残火不始末	工場2棟3,000坪 木造船10数隻	下川反町新道 (松下造船)	不明
S20. 4. 16	不明	不明	106棟	常盤村	不明
S27. 1. 2	不明	不明	住家全焼 26戸 非住家全焼 3戸	峰浜村大久岱 (田村利一)	不明
S30. 11. 10	午前11時13分	揮発油カを転倒	住家全1. 半1. 組合 病院病棟全2. 半1	柳町 (松田タイヤ 金谷三男)	西北西
S38. 4. 15	不明	台所ストーブの煙突	住家 全焼 137戸 非住家 全焼 75戸	峰浜村石川 (小林俊男)	不明
S40. 6. 15	午後1時30分	取灰	45戸	桧山 (山崎幸市)	東
S41. 11. 3	午前4時45分	不明	10戸 工場3棟	養蚕 (丸繁材木店 大塚繁夫)	西北西
S43. 8. 22	午後10時00分	電熱板の過熱	全焼9戸 半焼2戸	川反町 (浜野木材工業K. K 浜野義)	東
S43. 9. 11	午前6時53分	かまど煙突の飛火	全1. 半2小学校校舎1棟	盤若町 (淳城第一小学校 杉山庄蔵)	西北西
S44. 8. 22	午後0時02分	連続放火	1戸	鳳凰岱 (児玉健一)	西北西
S44. 9. 16	午後10時30分	連続放火	部分焼1戸	中川原 (斎藤良橘)	北西
S44. 9. 21	午後11時40分	連続放火	工場2棟	寿域長根 (相治銘木 相沢恒治)	東
S44. 9. 22	午前0時40分	連続放火	工業室・音楽室	豊祥岱 (第二中学校 金谷吉男)	東
S44. 9. 22	午後8時10分	連続放火	工場1棟	元町 (藤田製材研究所 藤田成治)	東北東
S44. 9. 22	午後10時15分	連続放火	工場 全焼2棟半焼1棟	元町 (山方製材K. K 山方松太郎)	東
S44. 9. 23	午後9時15分	連続放火	神社1棟	男鹿街道脇 (大森稻荷神社 氏子総代 相沢治一郎)	東
S44. 9. 25	午前11時20分	連続放火	1戸	機織 (斎藤吉治)	東南東
S46. 3. 19	午後6時30分	不明	校舎・体育館延3,759㎡全焼	山本町 (森岳小学校)	南南東
S47. 5. 14	午前3時05分	焼却炉煙突の飛火	住家全焼23戸、部分焼5戸、 非住家全焼14棟、半焼1、 部分焼3	明治町 (鷺谷木材K. K 鷺谷恒男)	東
S47. 8. 15	不明	放火	校舎延1,524㎡全焼	八森町古屋敷 (八森小学校 菊地博人)	不明
S47. 8. 16	午前3時50分	不明	校舎・体育館延5,336㎡全焼	盤若町 (第一中学校 高橋治之助)	南西
S51. 1. 5	午後9時30分	飼育水槽のヒーター加熱	校舎・体育館延2,137㎡全焼	山本町 (下岩川小学校)	西北西
S63. 12. 6	午後11時44分	放火	校舎延2,299㎡のうち827㎡半焼	鹹沢 (東能代中学校 千葉保一)	西
H 5. 9. 23	午前3時52分	不明	校舎・車庫延3,097㎡全焼	鹹沢 (第五小学校 八田忠雄)	東北東
H11. 10. 12	午後5時58分	集塵モーターの摩擦熱	工場 全焼3棟、部分焼1棟 住家 部分焼1棟	中川原 丸前木工	北西

H13. 4. 28	不明	不明	国有林5.42ha 被害本数13,272本	二ツ井町濁川字濁川山 (国有林64林班内(消防防災ヘリ))	南西
H13. 8. 3	不明	不明	国有林5.42ha 被害本数7,414本	二ツ井町仁鮎字仁鮎小掛 (国有林89林班内(消防防災ヘリ))	北東
H13. 8. 3	午前3時15分	放火	養鶏場全焼1棟 半焼2棟 部分焼4棟	八竜町 (有)八竜養鶏	無
H18. 10. 3	午前1時25分	不明	庁舎1, 109㎡全焼 他関連建物・住宅等 全半焼2 部分焼ぼや6	八峰町峰浜水沢 (八峰町役場峰浜庁舎 加藤和夫)	西北西
H20. 6. 2	不明	連続放火	非住家1棟、部分焼	三種町森岳字二ッ森	東
H20. 6. 2	不明	連続放火	その他火災 (紙片にマッチで放火)	三種町森岳字二ッ森	東
H20. 6. 3	午前0時25分	連続放火	住家1棟、部分焼	三種町森岳字二ッ森	北東
H20. 6. 11	午後6時30分	連続放火	非住家1棟、ぼや	三種町森岳字横長根	北北西
H20. 6. 12	午前0時17分	連続放火	その他火災 (玄関脇の竹箒やダンボール等に放火)	三種町森岳字二ッ森	北北東
H20. 6. 12	午前0時17分	連続放火	その他火災 (屋外の古タイヤに放火)	三種町森岳字二ッ森	北北東
H20. 6. 14	午前11時43分	連続放火	住家1棟全焼、 部分焼1棟、 非住家1棟ぼや	三種町森岳字二ッ森	北西
H20. 6. 16	午前12時10分	連続放火	非住家1棟、部分焼	三種町森岳字二ッ森	南南西
H22. 12. 29	午後8時30分	電気配線の絶縁不良	工場併用住宅 延2,700㎡全焼 車両1台	三種町鵜川字帆出 ヒモロタタミ	西
H23. 2. 2	午前4時30分	電気配線の絶縁不良	全焼1棟延253㎡、 半焼2棟、部分焼1 棟、ぼや3棟、車両4 台焼損	西通町 佐藤アパート	西
H24. 7. 5	午後11時35分	不明	全焼5棟延666㎡、 半焼1棟、ぼや2棟、	能代市二ツ井町字三千刈	西北西
H24. 10. 23	午前3時15分	鍋又はやかんの掛け忘れ	全焼2棟延312㎡、 部分焼1棟、ぼや1 棟、	能代市二ツ井町字比井野	西
H25. 4. 29	午前4時00分	不明	住家1棟、全焼 非住家1棟、全焼	藤里町藤琴字田中	東南東
H25. 8. 11	午前0時30分	放火	非住家1棟、部分焼	能代市柳町	東

H25. 10. 8	不明	放火の疑い	その他	三種町富岡新田字西大森渕	なし
H25. 11. 11	午前0時47分	放火	自動販売機1台	三種町外岡字長峰台	西北西
H25. 11. 11	不明	放火	自動販売機1台	三種町外岡字長峰台	西北西
H26. 1. 11	午前4時45分	不明	住家3棟、全焼1、 部分焼1、ぼや1	能代市字彩霞長根	西北西
H26. 11. 6	不明	放火	その他	三種町鹿渡字大羽根川	西北西
H28. 3. 16	午後9時55分	火の粉が散る	非住家6棟 全焼1、ぼや1 延2, 138㎡	能代市二ツ井町仁鮎字小掛道	南西
H28. 7. 7	午後10時40分	放火	住家1棟、部分焼1	能代市鹹渕字鹹渕	西
H29. 5. 28	不明	放火	その他	三種町鹿渡字泉沢家後	西南西
H30. 2. 13	午前3時40分	放火	住家2棟、 全焼1、ぼや1 非住家4棟、 半焼1、部分焼1、 ぼや2	三種町下岩川字中野	西北西
H30. 11. 21	午後2時30分	放火	住家1棟、部分焼1	能代市元町	西北西
R 1. 1. 22	午前7時00分	不明	住家4棟、 全焼3、ぼや1 非住家1棟、 部分焼1	能代市富町	西北西
R 1. 5. 23	午後8時30分	放火	住家1棟、部分焼1	八峰町峰浜目名潟字目名潟	南東
R 1. 9. 7	午後8時30分	放火	住家1棟、部分焼1 非住家1棟、全焼1	三種町鹿渡字高石野	なし
R 1. 12. 14	午前5時39分	落雷	非住家1棟、ぼや1	八峰町峰浜畑谷字大台軸	東南東
R 1. 12. 14	午後0時45分	落雷	その他火災 (消防救急デジタル 無線設備)	能代市緑町	東北東
R 1. 12. 14	午後0時45分	落雷	非住家1棟、部分焼1	能代市緑町	東北東
R 2. 2. 6	午後3時20分	放火	住家1棟、部分焼1	能代市向能代字平影野	北西
R 3. 7. 2	午後6時20分	電気機器	住家1棟、全焼1 非住家18棟、全焼13 部分焼5	能代市浅内字船沢	東北東
R 3. 7. 29	午前8時20分	落雷	非住家1棟、部分焼1	三種町志戸橋字久根添	南南西
R 3. 10. 20	午前8時55分	放火の疑い	その他火災 (ビニールハウス)	三種町下岩川字蛭沢堤下	南

R 3. 10. 27	午後6時25分	落雷	非住家2棟、全焼1 半焼1	三種町志戸橋字大下	南
R 3. 11. 6	午後8時40分	放火の疑い	住家1棟、全焼1 車両1台	三種町下岩川字達子野	北東
R 3	日時分不明	落雷	住家1棟、ぼや1	能代市落合字古悪土	東北東
R 3. 12. 26	午後8時55分	落雷	非住家1棟、半焼1	能代市鹹淵字家ノ下	南南東
R 5. 2. 4	午前13時20分	微粉炭機	その他火災 (微粉炭機の配管、 カットダンパ、リ ミットスイッチ)	能代市字大森山 (東北電力㈱能代火力発電所)	西
R 5. 7. 14	午前9時00分	点火装置	非住家 1 棟、全焼 1	能代市浅内字下西山 (J A X A 能代ロケット実験場)	西
R 6. 4. 20	午前9時30分	放火	住家 1 棟、全焼 1 1 棟、ぼや 1 非住家 2 棟、全焼 2	三種町鹿渡字沖ノ田	北

近世水・火・震災記録

年 次 (西暦)	災 害 別	記 録
元和 6. 8. 3 (1620 年)	大 火	大町から出火、御休処中田彦太夫まで延焼 飛脚ありと右記録あり
元禄 5 (1692 年)	大 洪 水	港または川に係留中の船が衝突、破損及び流失し、 多くの水夫が死傷した。
元禄 7. 5. 27 (1694 年)	大 地 震 火 災	死者 300 余名、焼失 720 戸、潰家 1,121 戸、土蔵 162。
宝永元年 4. 24 (1704 年)	大 地 震 火 災	死者 58 名、焼失 758 戸、潰家 435 戸。
〃	(町名変更)	これ迄の野代という町名は、野に代わるの字義あるため 能代と改名する。
寛保 3. 9. 23 (1743 年)	大 火	清助町から出火、馬喰町、富町の 53 軒を残して全町壊す。 約 1,500 戸焼失、北西の風。
宝暦 4. 6 (1754 年)	大 火	住吉三社堂残らず類焼、御神旗残らず焼失。
宝暦 5. 9 (1755 年)	大 洪 水	能代に大洪水あり。
明和 3 (1766 年)	大 火	下川反町から出火、八幡神社拝殿本殿まで類焼。
安永 9. 6 (1780 年)	大 地 震	能代に大地震あり。
寛政 10 (1798 年)	大 洪 水	能代に大洪水あり、沖の口にて溺者 84 名。
文化 11. 9. 5 (1814 年)	大 火	畠町から出火、畠町、富町、横町方面約 300 戸焼失。
文政 2. 4. 5 (1819 年)	大 火	富町から出火、畠町まで延焼、約 100 余戸焼失。
嘉永 6. 3. 11 (1853 年)	大 火	幸町から出火、万町、中町全焼外数町に延焼す。
安政元年 3. 11 (1854 年)	大 火	畠町から出火、畠町西部一帯全焼す、北西の風。 又 8 月にも大火ありという。
昭和 14. 5. 1 (1939 年)	男 鹿 地 震	住家の倒壊、地割れ等あり。
昭和 39. 5. 7 (1964 年)	新 潟 地 震	被害若干あり。

昭和 39. 12. 11 (1964 年)	男 鹿 地 震	被害軽微。
昭和 47. 7. 8～9 (1972 年)	大 洪 水	大雨により米代川中川原堤防が決壊、この外市内全域に亘って被害あり、(雨量 158.5 mm 能代地区消防署観測) 住家流失 17 棟、全壊 12 棟、半壊 21 棟、床上浸水 869 棟、床下浸水 430 棟、非住家流失 43 棟、倒壊 56 棟、浸水 612 棟。 二ツ井町では 8 日に荷上場地内の米代川堤防が決壊、9 日には薄井の同堤防が決壊した。 9 日 9 時までの総雨量は、素波里ダムで 623 mm、駒ヶ岳で 787 mm、藤琴で 719 mm の豪雨となり、米代川の最高水位は、9 日に二ツ井町で 7.68m、富根で 7.25m、藤琴川は 8 日に 3.58m。 被害状況は、二ツ井町で住家全壊 31 棟、半壊 20 棟、床上浸水 1,173 棟、床下浸水 254 棟、非住家被害 1,140 棟、被害総額 2,043,590 千円 藤里町では住家全壊 4 棟、半壊 4 棟、床下浸水 64 棟、非住家被害 3 棟、被害総額 808,056,000 円
昭和 58. 5. 26 (1983 年)	日本海中部 地 震	能代沖 100 キロ、マグニチュード 7.7、震度 5 の大地震。市内全域に亘って被害あり、死者 57 名、傷者 170 名、住家全壊 854 棟、半壊 1,793 棟、一部破損 1,347 棟、床上浸水 60 棟、床下浸水 251 棟、非住家全壊 486 棟、半壊 592 棟、一部破損 611 棟、浸水 70 棟。
平成 19. 9. 17～18 (2007 年)	洪 水	大雨により河川等が増水し、避難勧告及び避難指示があり、結果、藤里町を除く管内全域に被害が及んだ(降り始め 16 日～18 日までの総降水量 最大 278 mm) 住家半壊 15 棟、床上浸水 166 棟、床下浸水 110 棟。 非住家全壊 2 棟、半壊 2 棟、浸水 260 棟。 公共施設床上浸水 2 棟、床下浸水 1 棟。 田の冠水 877.69ha、水稻倒伏 500ha、畑(大豆)冠水 37ha、秋冬ネギ倒伏 2.5ha。 道路冠水 23 箇所、損壊 7 箇所。 家畜(比内地鶏) 10,300 羽水死。 米代川の最高水位は 18 日に二ツ井町で 8.07m、榊で 6.71m、向能代は 3.67m。 被害総額 256,576,306 円

平成 21. 7. 18 (2009 年)	洪水	大雨により河川等が増水し、避難勧告及び避難指示があり、結果、能代山本管内全域に被害が及んだ（降り始め 18 日～20 日の総降水量は能代 128 mm、二ツ井 150.5 mm、藤里 244 mm、三種 69.4 mm、上岩川 240 mm、八峰 114 mm） 被害状況は、能代市 213 件 住家 床上浸水 6 棟、床下浸水 39 棟、一部破損 1 棟 非住家 浸水 68 棟、土木・河川・農林被害 79 箇所、道路冠水・その他被害 20 箇所 藤里町 27 件 非住家 浸水 3 棟、土木・河川・農林被害 23 箇所、道路冠水・その他被害 1 箇所 三種町 36 件 住家 床下浸水 5 棟、非住家 浸水 7 棟、土木・河川・農林被害 13 箇所、道路冠水・その他被害 11 箇所 八峰町 19 件 住家 床下浸水 1 棟、一部破損 1 棟 非住家 浸水 1 棟、一部破損 1 棟、土木・河川・農林被害 12 箇所、道路冠水・その他被害 3 箇所 被害総額 579,565,000 円 能代市 255,921,000 円、八峰町 168,517,000 円、三種町 72,188,000 円、藤里町 82,939,000 円
平成 21. 10. 30 (2009 年)	竜巻	竜巻により能代市浅内地区の住宅等に被害が生じたものである。被害や痕跡は、国道 7 号線西側の浜浅内から中浅内を通過し旧国道を横断したもので、長さ約 3.2 km、幅約 100m の帯状に分布している。 住家半壊 2 棟、一部破損 4 棟 非住家 全壊 9 棟、半壊 4 棟、一部破損 10 棟、その他の被害 41 箇所 負傷者（軽傷）1 名 被害総額 22,203,000 円
平成 22. 10. 17 (2010 年)	竜巻	竜巻により八峰町滝ノ間地区及び椿地区の住宅等に被害が生じたものである。被害は点在している。 滝ノ間地区 住家一部破損 3 棟 非住家半壊 1 棟、一部損壊 1 棟 その他被害 6 箇所 椿地区 住家一部破損 2 棟

平成 22. 11. 12 (2010 年)	竜 巻	竜巻により八峰町峰浜目名潟地区の住宅等に被害が生じたものである。被害や痕跡は断続的であるが、帯状に分布している。 住家一部破損 7 棟 非住家一部破損 18 棟 その他の被害 9 件
平成 24. 4. 3 (2012 年)	爆弾低気圧	台風並に発達した爆弾低気圧の通過に伴い瞬間最大風速 32 m を観測。人的被害は無かったものの住家・非住家などに多大な被害が発生した。 住家一部破損 55 棟 非住家全壊 16 棟、一部破損 120 棟 その他の被害 601 件
平成 25. 9. 16 (2013 年)	洪水	台風接近に伴う大雨により河川等が増水し、避難勧告が発令された。結果、能代山本管内全域に被害が及んだ（降り始め 15 日～17 日の総降水量は能代 163.5 mm、二ツ井 185.0 mm、藤里 182.5 mm、三種 137.6 mm、上岩川 160.0 mm、八峰 160.0 mm） 広域管内 571 件 住 家 床上浸水 67 棟、床下浸水 153 棟 非住家 浸水 233 棟、全壊 2 棟、一部破損 1 棟 土木・河川・農林被害 85 箇所、道路崩落・その他被害 30 箇所
平成 26. 6. 14 (2014 年)	竜 巻	竜巻により三種町鹿渡地区の住宅等に被害が生じたものである。被害や痕跡は断続的であるが、一方向に帯状分布している。 住家一部破損 2 棟 非住家一部破損 9 棟 その他の被害 3 箇所

平成 28. 10. 8 (2016 年)	大 雨	10月8日から大雨により床上、床下浸水等の被害が発生し、三種町で避難指示、能代市で避難勧告が発令された。 能代市 31 件（総降水量 68.5mm） 住 家 床上 2 棟、床下 6 棟 非住家 浸水 22 棟 土砂崩れ 1 件 三種町 62 件（総降水量 93.6mm） 住 家 床上 8 棟、床下 22 棟 非住家 浸水 30 棟 土砂崩れ 2 件
平成 29. 7. 18 (2017 年)	大 雨	7月16日から大雨により床上、床下浸水等の被害が発生し、三種町で避難勧告が発令された。 三種町 42 件（総降水量 58.4mm） 住 家 床上 2 棟、床下 12 棟 非住家 浸水 23 棟 土砂崩れ、橋梁越水、法面崩落各 1 件 道路陥没 2 件
平成 29. 9. 14 (2017 年)	突 風	八峰町八森で突風が発生し、住家及び非住家の一部破損などの被害があった。竜巻の可能性はあるものの特定には至らなかった。（最大瞬間風速 30.0m/s） 八峰町 6 件 住 家 一部破損 2 棟 非住家 全壊 1 棟、一部破損 2 棟 車 両 一部破損 1 台
平成 30. 3. 1 (2018 年)	強 風	3月1日から暴風により住家及び非住家の一部破損などの被害があった。 能代市 22 件（最大瞬間風速 28.1m/s） 住 家 4 棟 非住家 12 棟 その他 5 件 人的被害 1 件 三種町 8 件（最大瞬間風速 30.0m/s） 住 家 2 棟 非住家 4 棟 その他 2 件 八峰町 1 件（最大瞬間風速 31.2m/s） 非住家 1 棟

平成 30. 5. 18 (2018 年)	大 雨	低気圧や停滞した前線の影響により、5 月 1 8 日から記録的大雨となった。河川の氾濫や土砂崩れ、建物の浸水等の被害が発生し、三種町で避難勧告が発令された。 能代市 5 7 件（総降水量 93. 5mm） 住 家 床下浸水 5 棟 非住家 浸水 9 棟 道路冠水 6 件 水田冠水 2 2 件 路肩崩落 1 件 法面崩落 6 件 河川決壊 6 件 路面洗堀 2 件 三種町 2 9 件（総降水量 76. 4mm） 住 家 床上浸水 2 棟、床下浸水 4 棟 非住家 浸水 1 0 棟 ビニールハウス浸水 4 件 水田冠水 5 件 道路冠水 3 件 路肩崩落 1 件
平成 30. 9. 4 (2018 年)	台 風	日本海を北上した台風 2 1 号の影響により、9 月 4 日から強風と大雨が続き、住家等に被害が発生した。 能代市 8 5 件（最大瞬間風速 28. 8m/s、総降水量 11. 5mm） 住 家 一部破損 3 棟 非住家 全壊 1 棟、一部破損 9 棟 公共施設 1 1 件 その他 6 1 件 藤里町 4 件（最大瞬間風速 24. 1m/s、総降水量 16. 5mm） その他 4 件 八峰町 1 3 件（最大瞬間風速 37. 7m/s、総降水量 18. 0mm） 非住家 全壊 1 棟、一部破損 1 棟 その他 1 1 件 三種町 2 1 件（最大瞬間風速 34. 4m/s、総降水量 11. 2mm） 住 家 一部破損 4 棟 非住家 全壊 2 棟、倒壊 1 棟、一部破損 5 棟 公共施設 倒壊 1 件、一部破損 2 件 その他 6 件

令和 3. 1. 7 (2021 年)	暴 風 雪	前線を伴った低気圧が急速に発達しながら日本海を東北東に進み、この影響で、県内の広い範囲で雪を伴った暴風となり、八森で最大瞬間風速 42.4 メートルを観測するなど県内各地で観測史上 1 位の値を更新する記録的な暴風となった。 能代市 6 6 件（最大瞬間風速 35.3m/s） 人的被害 1 件 住 家 一部破損 2 1 棟 非住家 全壊 1 棟、一部破損 3 5 棟 その他 9 件 八峰町 5 4 件（最大瞬間風速 42.4m/s） 住 家 一部破損 1 2 棟 非住家 一部破損 1 0 棟 その他 3 2 件 三種町 4 1 件（最大瞬間風速 33.1m/s） 住 家 一部破損 1 1 棟 非住家 全壊 2 棟、一部破損 2 5 棟 その他 3 件
令和 3. 2. 16 (2022 年)	暴 風 雪	日本海と三陸沖から前線を伴った低気圧が発達しながら北海道に近づき、1 6 日にオホーツク海でひとつにまとまって北西へ進み、宗谷海峡付近で停滞した。このため日本付近は強い冬型の気圧配置が続き、広い範囲で暴風雪となった。 能代市 4 3 件（最大瞬間風速 28.8m/s） 住 家 一部破損 1 5 棟 非住家 全壊 1 棟、一部破損 2 3 棟 その他 3 件 八峰町 2 3 件（最大瞬間風速 31.6m/s） 住 家 一部破損 2 棟 非住家 一部破損 7 棟 その他 1 4 件 三種町 2 8 件（最大瞬間風速 27.7m/s） 住 家 一部破損 1 0 棟 非住家 一部破損 1 6 棟 その他 2 件

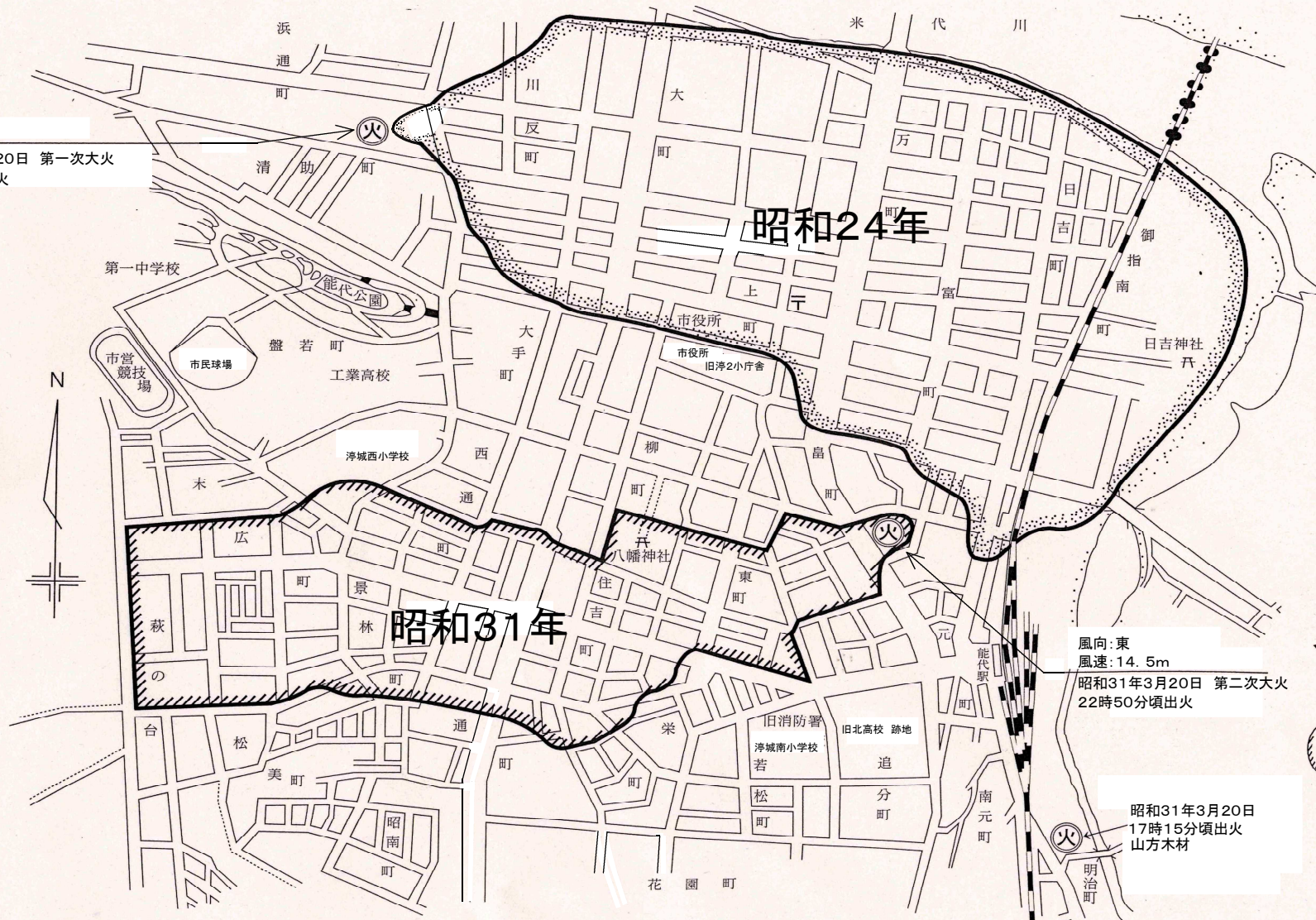
令和 4. 8. 9 (2022 年)	大 雨	前線が日本海から北日本に停滞し、前線に向かって高気圧の縁辺を回る暖かく湿った空気が流れ込み続けたため、大気の非常に不安定な状態が続いた。八森では 72 時間降水量が観測史上 1 位を更新した。 能代市 5 2 件（総降水量 211. 5mm） 住 家 床下浸水 1 8 棟 一部破損 2 棟 非住家 半壊 1 棟 浸水 1 5 棟 水田冠水 4 件 道路冠水 3 件 土砂崩れ 3 件 道路陥没 3 件 ビニールハウス剥離 1 件 倒木 2 件 三種町 9 0 件（総降水量 202. 2mm） 住 家 床上浸水 8 棟、床下浸水 1 2 棟 非住家 浸水 3 7 棟 法面崩壊 2 件 水田冠水 2 1 件 道路冠水 6 件 土砂崩れ 1 件 道路陥没 1 件 堤決壊 1 件 水田土砂流入 1 件 八峰町 4 件（総降水量 342. 0mm） 住 家 床下浸水 1 棟 非住家 その他 1 棟 土砂崩れ 1 件 ガラス窓破損 1 件
--------------------------------	------------	---

令和 5. 7. 14 (2023 年)	大 雨	東北地方に梅雨前線が停滞し、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で、前線の活動が活発となった。7 月 1 5 日の日別降水量は各雨量観測地点でいずれも過去最高を記録。降り始めは 7 月 1 4 日。 【人的被害なし】 【建物被害】 広域計 5 7 5 棟 能代地域 3 6 0 棟（7 月 1 5 日日別降水量 180. 0mm） <table><tr><td>住 家</td><td>床上浸水</td><td>1 0 7 棟</td></tr><tr><td></td><td>床下浸水</td><td>1 8 5 棟</td></tr><tr><td>非住家</td><td>浸水</td><td>6 8 棟</td></tr></table> 二ツ井地域 4 3 棟（7 月 1 5 日日別降水量 213. 0mm） <table><tr><td>住 家</td><td>床上浸水</td><td>8 棟</td></tr><tr><td></td><td>床下浸水</td><td>1 2 棟</td></tr><tr><td>非住家</td><td>浸水</td><td>2 2 棟</td></tr><tr><td></td><td>一部破損</td><td>1 棟</td></tr></table> 藤里町 6 棟（7 月 1 5 日日別降水量 273. 0mm） <table><tr><td>住 家</td><td>床下浸水</td><td>4 棟</td></tr><tr><td></td><td>半壊</td><td>1 棟</td></tr><tr><td>非住家</td><td>浸水</td><td>1 棟</td></tr></table> 三種町 1 0 1 棟（7 月 1 5 日日別降水量 157. 0mm） <table><tr><td>住 家</td><td>床上浸水</td><td>1 4 棟</td></tr><tr><td></td><td>床下浸水</td><td>2 4 棟</td></tr><tr><td></td><td>一部破損</td><td>1 棟</td></tr><tr><td>非住家</td><td>浸水</td><td>6 2 棟</td></tr></table> 八峰町 6 5 棟（7 月 1 5 日日別降水量 227. 5mm） <table><tr><td>住 家</td><td>床上浸水</td><td>3 棟</td></tr><tr><td></td><td>床下浸水</td><td>2 0 棟</td></tr><tr><td>非住家</td><td>浸水</td><td>4 2 棟</td></tr></table>	住 家	床上浸水	1 0 7 棟		床下浸水	1 8 5 棟	非住家	浸水	6 8 棟	住 家	床上浸水	8 棟		床下浸水	1 2 棟	非住家	浸水	2 2 棟		一部破損	1 棟	住 家	床下浸水	4 棟		半壊	1 棟	非住家	浸水	1 棟	住 家	床上浸水	1 4 棟		床下浸水	2 4 棟		一部破損	1 棟	非住家	浸水	6 2 棟	住 家	床上浸水	3 棟		床下浸水	2 0 棟	非住家	浸水	4 2 棟
住 家	床上浸水	1 0 7 棟																																																			
	床下浸水	1 8 5 棟																																																			
非住家	浸水	6 8 棟																																																			
住 家	床上浸水	8 棟																																																			
	床下浸水	1 2 棟																																																			
非住家	浸水	2 2 棟																																																			
	一部破損	1 棟																																																			
住 家	床下浸水	4 棟																																																			
	半壊	1 棟																																																			
非住家	浸水	1 棟																																																			
住 家	床上浸水	1 4 棟																																																			
	床下浸水	2 4 棟																																																			
	一部破損	1 棟																																																			
非住家	浸水	6 2 棟																																																			
住 家	床上浸水	3 棟																																																			
	床下浸水	2 0 棟																																																			
非住家	浸水	4 2 棟																																																			

昭和 2 4 ・ 3 1 年能代市大火概要

年 別		2 4 年大火		3 1 年大火	
項 目		2 4 年大火		3 1 年大火	
月 日		2 月 2 0 日		3 月 2 0 日	
時 刻	出 火	午前 0 時 3 5 分		午後 1 0 時 5 0 分頃	
	鎮 火	午前 8 時頃		翌午前 7 時 3 0 分頃	
出 火 場 所		能代市清助町 三国樽丸工場作業場付近		能代市島町 2 0 工員 田中方付近	
原 因		ストーブの残り火の不始末とも推定されたが不明。		七輪の残り火の不始末からとも推定されたが不明。	
焼 失 区 域		中央官公庁街及び商店街の大部分並びに材木工場街外、住宅街の東西約 1, 500 m、南北約 800m、面積 825, 000 m ² 凡そ旧市内街区の北側約 4 0 %に亘る。		中央商店街の一部及び住宅街、東西約 1, 200m、南北約 420m、面積 347, 500 m ² 凡そ旧市内街区の中心部から南側約 2 0 %に亘る。	
世 帯 数		1 , 7 5 5 世帯		1 , 2 6 3 世帯	
焼 失 住 家		1 , 2 9 6 棟		1 , 1 5 6 棟	
焼 失 非 住 家		9 4 2 棟		3 1 9 棟	
焼失面積	住 家	1 2 2 , 4 5 9 . 7 m ²		3 5 , 9 0 7 . 2 m ²	
	非住家	1 0 0 , 3 7 9 . 4 m ²		4 3 , 0 2 5 . 4 m ²	
罹 災 人 員		8 , 7 9 0 人		6 , 0 8 7 人	
死 傷	死 者	3 人		0 人	
	傷 者	重傷 1 5 人、軽傷 2 5 0 人		重傷 3 人、軽傷 2 0 人	
気 象		風向 出火当時 西 1 時半より 北西 4 時より 西 風速 出火当時 1 3 m 最大 1 8 m 突風 2 0 m 平均 1 0 m (0 時～ 7 時) 湿度 4 8 % 温度 5 ℃		風向 出火当時 東 1 2 時より 東北東 2 時より 東 3 時より 東北東 風速 出火当時 1 4 . 5 m 最大 1 6 . 8 m 突風 2 1 . 7 m 平均 9 . 8 m (1 0 時～ 6 時) 湿度 6 3 % 温度 3 ℃	
損 害 額		3 , 0 2 5 , 9 0 0 , 0 0 0 円		2 , 0 1 6 , 3 8 0 , 6 2 5 円	

昭和24年2月20日 第一次大火
0時35分頃出火



能代市大火災圖

昭和二十四年二月二十日
昭和三十一年三月二十日

火
火元

昭和58年 日本海中部地震災害概要

発 生 日 時	昭和５８年５月２６日		１２時００分１８秒	
震 源 地	能代沖約１００km 北緯４０度４０分		深さ約１０km 東経１３９度１０分	
規 模	マグニチュード７．７		震度５ 強震	
津 波	岩館漁港	第１波	１２時１５分頃	(波の高さ 約 ４．３m)
	釜谷浜	第１波	１２時１８分頃	(波の高さ 約 ８．５m)
	落合海岸	第１波	１２時２６分頃	(波の高さ 約 １１．０m)
	水沢海岸	第１波	１２時２６分頃	(波の高さ 約 １４．０m)
人 的 被 害	死 者 ５７人		負傷者 １７０人 (軽傷１４５人)	
住 宅 等	住 家	全壊８５４棟、半壊１，７９３棟、一部破損１，３４７棟		
		床上浸水６０棟、床下浸水２５１棟		
	非 住 家	全壊４８６棟、半壊５９２棟、一部破損６１１棟		
		浸水７０棟、文教施設８５棟		
	住宅等被害額合計		１７，３１６，０００千円	
商 工 業	被 害 額		８，８００，０００千円	
農 林 水 産	津波による被害（漁船３９８隻を含む漁具等		２，８８１，９０３千円)	
	農林水産被害額合計		８，６０４，０００千円	
公共土木・施設	被 害 額		６９７，８６１千円	
消 防 施 設	貯水槽	１８ 箇所	器具置場	７ 箇所
消 防 機 関 の 活 動 人 員	消 防 職 員 延 べ		１，３９９ 人	
	消 防 団 員 延 べ		１，５８８ 人	
能代山本広域 圏 の 被 害	被 害 額 の 合 計		３９，９６０，０００千円	